



順天堂大学

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1 Tel.03-3813-3111(代表)
<https://www.juntendo.ac.jp/>



順天堂大学

2022-2023

大学院

医学研究科	修士課程／博士課程
スポーツ健康科学研究科	博士前期課程[修士課程]／博士後期課程[博士課程]
医療看護学研究科	博士前期課程[修士課程]／博士後期課程[博士課程]
保健医療学研究科	博士前期課程[修士課程]

(令和5年度開設 ※2022年8月31日文科科学省設置認可)

大学

医学部	医学科
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科
医療看護学部	看護学科
保健看護学部	看護学科
国際教養学部	国際教養学科
保健医療学部	理学療法学科／診療放射線学科
医療科学部	臨床検査学科／臨床工学科
健康データサイエンス学部	健康データサイエンス学科

(令和5年度開設 ※2022年8月31日文科科学省設置認可)

堂 元 順 頁
J U N T E N D O





学是

仁

人在りて我在り、他を思いやり、慈しむ心。これ即ち「仁」

理念

不断前進

現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力を続ける姿勢のこと

学風

三無主義

出身校・国籍・性別の差別のないこと

Contents 堂天順

医学部	03
スポーツ健康科学部	07
医療看護学部	11
保健看護学部	15
国際教養学部	18
保健医療学部	22
医療科学部	26
健康データサイエンス学部 <small>令和5年度開設 ※2022年8月31日文部科学省設置認可</small>	29
順天堂の歩み	32
大学院 医学研究科	33
大学院 スポーツ健康科学研究科	39
大学院 医療看護学研究科	41
大学院 保健医療学研究科 <small>令和5年度開設 ※2022年8月31日文部科学省設置認可</small>	43
キャンパス・附属病院へのアクセス	47



医学部 | Faculty of Medicine

本学医学部では、医師になろうと努力する学生に対して、6年間で卒業し、ストレートで医師国家試験に合格できるよう教育します。さらに、人格的に優れ、知性と教養と感性溢れる医師になるための教育も行います。本学では、教員と学生の距離が近いことから、医学教育や課外活動などにおいて、一人ひとりの個性を尊重した教育が行われており、すべての学生が、大学生活を楽しく充実して過ごせるよう随所に教育的配慮がなされています。



学部DATA

[2022.5.1現在]

取得できる学位	学士(医学)	人数	専任教員数(研究科含む)	1,581名
			入学定員数	138名
学科	医学科		学生数	828名
学生男女比		取得可能な資格	医師国家試験受験資格	
	59%	キャンパス	1年次	さくらキャンパス
	41%		2~6年次	本郷・お茶の水キャンパス
男: 491名				
				女: 337名

学部の特徴

受験生のチャンスを広げる多様な入学試験

入学試験には、本学独自の一般入試、大学入学共通テストを利用した入試、それら両方を併用した入試があります。地域枠選抜では、「将来、医師として地域医療に貢献したい」という強い意志をもつ学生を募集しています。世界的な研究医を志す方を対象とした国際臨床医・研究医選抜では、国際的な視野を持った人材の発掘を目的とした入学試験を実施しています。

常にトップクラスの医師国家試験合格率

本学では、学力を重要視することはもちろんですが、面接試験、小論文試験、小中高に至る評価表等を重視し、受験生の感性や医師となるべき人物・識見・教養などを見極めていきます。このことは、本学入学者において退学や留年をする学生が非常に少なく、そして高い医師国家試験合格率が維持されている現状からも証明されています。

医学部の学び

近年の医学の進歩は目覚ましく、医学部の学生が修得しなくてはならない知識・技能は膨大なものとなっています。したがって、限られた授業時間のなかで十分な学習効果をあげるためには、「学び」に対するactiveな姿勢が重要になってきます。

医学部の6年間では、将来自分が医師や研究者として活躍するために必要な知識・技能・態度を勉強することになりますが、実は医学部卒業後も生涯を通じてこの「学び」に対するactiveな姿勢を保持し続けることが求められます。

医学研究のエリート育成

将来、研究医を目指す方のために、本学医学部には医学研究のエリート育成を目的とした『基礎医学研究者養成プログラム』があります。本プログラムでは1年次から特別カリキュラムが設けられるので早期に自身の研究をスタートでき、卒業までに大学院の単位を前倒して取得します。大学院を修了し、博士号取得後には本学の助教として自らの研究を継続することができます。

本学が誇る6つの附属病院

医学部には6つの附属病院があり、総病床数は3,559床と日本最大規模を誇ります。6病院は、先進医療、地域医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、がん治療など、医療ニーズに幅広く対応する高い専門性と総合力に秀でています。このような附属病院にて、医学部生は様々な症例を臨床実習で学びます。

医学部教育において最も大切なことは、受動的に知識を取得するのではなく、自ら学び、考え、問題を解決する能力を育成することです。皆さんには自ら学習する習慣（passiveなものからactiveなものへ）を培ってもらいたいと思います。



学びのポイント

最先端のICT教室

1年次の終盤からは本郷・お茶の水キャンパスで医学専門教育が始まります。教育棟であるセンチュリータワーにはICTを駆使した最先端の教室が完備されており、ICTを活用した授業が行われています。



少人数教育

4年次の臨床コア実習および5・6年次の臨床エキスパート実習では、4～5人1グループのきめ細かな指導体制のもと、病状を正確に把握するための問診の方法や診察法の技能、態度などを習得していきます。このように少人数教育を導入し、きめ細かな指導によって、医療現場での的確な状況判断と問題解決能力を高めています。



病院見学

1年次の6月に授業の一環で順天堂医院を訪問し、病院内での見学を行っています。

病院見学では、初めて白衣に袖を通すことで医学部生としての自覚を高め、病院内で働く様々な職種の人々の姿や院内の多様な機能を見学することでチーム医療の実際を学ぶ貴重な経験ができます。



基本手技実習

基本手技は医師にとって必須の技術であり、軽重を問わず救急場面において必要とされる外科的基本手技を学びます。実習では、注射器・注射針の取り扱い、結紮法（糸結び）・縫合法、心肺蘇生法などについて学びます。授業は講義と実習を連動させて行い、実習で教わった基本手技を繰り返し自習することにより、技術を完全に習得することを目指します。

さらに、基本手技実習では技術を習得することも重要ですが、医師として患者に接する態度、患者を救おうとする誠実な態度を養うことが目標となります。



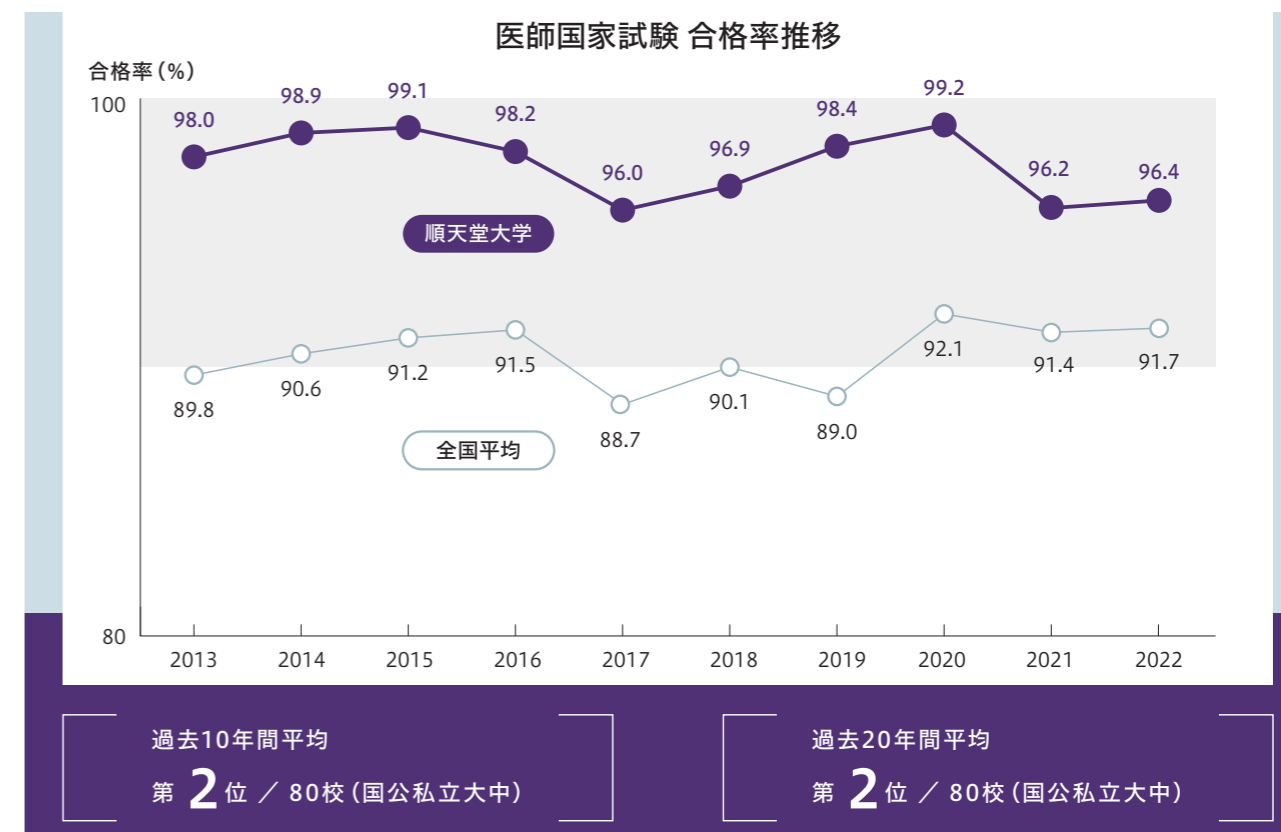
グローバルスタンダードな医師を目指して世界へ

6年次の学生インターンシップ実習では、学内・学外のみならず海外の施設においても、学生自身が

望む領域について学修することを認めています。最終学年となり、自分の興味をもった学問領域にて、2～8週間、思いきり海外実習に臨めます。この海外実習により、国際性を育むと共に知的好奇心を満足させ、医学の面白さを肌で感じることができます。

卒業後の進路

医学部を卒業した学生は、医師国家試験合格後、厚生労働省が認可する基幹型臨床研修病院のプログラムにて2年間の初期臨床研修を行うことを基本としています。



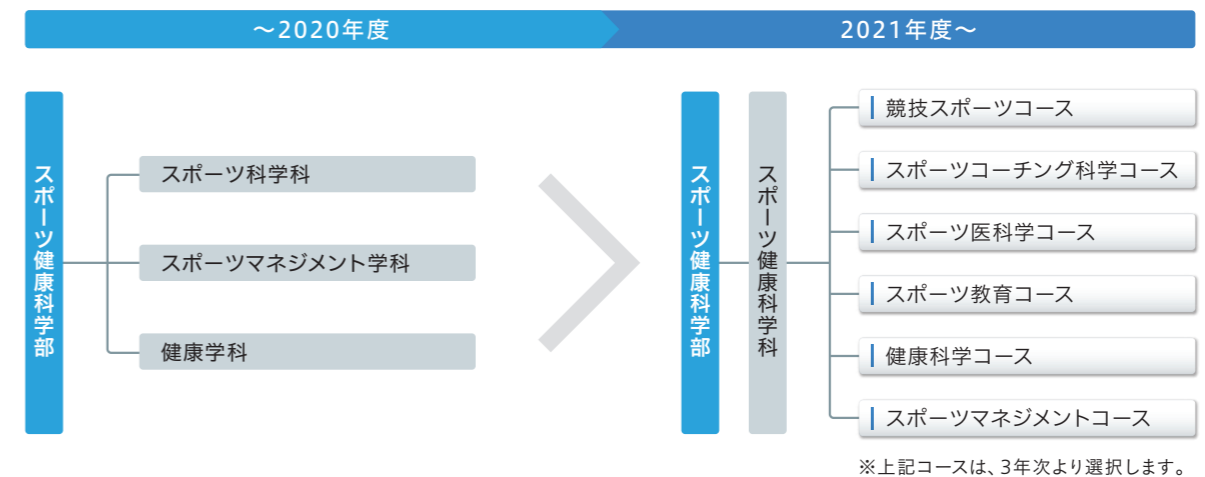
医師国家試験合格率

医師国家試験の合格率は、国公立医科大学80校中、過去10年間および過去20年間の平均合格率で第2位という高い合格率を維持しています。

スポーツ健康科学部は 1学科6コース制に生まれ変わり、 1学年の定員は600名に増員しました。

変化の著しい現代社会において、社会が大学に求めるものも変化してきています。社会の変化やニーズを踏まえ、3学科から1学科6コースへの改組、1学年の定員を410名から600名に増員、学びのあり方の見直し、キャンパスの環境整備など、あらゆる取り組みを強化しています。

[改組に伴う組織図の変更]



スポーツ健康科学部 Faculty of Health and Sports Science

スポーツ健康科学部では、多彩な講義と、数多くの実技・実習、医学部をはじめ他学部との連携により、健康総合大学としての特性を生かした学際的な取り組みを通じて、豊富な知識と教養を身につけていきます。

「スポーツと健康」に関する多角的な視点、専門性並びに高い倫理観を備え、スポーツを通じて持続可能な社会の構築に貢献できるとともに、スポーツ健康科学を基盤として、人を支え、地域をつなぎ、社会を牽引する人材を育むことに取り組んでいます。



学部DATA

[2022.5.1現在]

取得できる学位	スポーツ健康科学科： 学士(スポーツ健康科学)	スポーツ健康科学科
人 数	専任教員数(研究科含む) 87名 入学定員数 600名 学生数 2,045名	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校教諭一種免許状(保健体育) ● 中学校教諭一種免許状(保健体育) ● 特別支援学校教諭一種免許状 ● 小学校教諭二種免許状[通信課程] ◆ 公認障がい者スポーツ指導員(初級) ● アスレティックトレーナー(受験資格) ● 健康運動指導士(受験資格) ● イベント検定(受験資格) ● 第一種衛生管理者免許状 ●
学生男女比	64% (男)	36% (女)
	男：1,307名	女：738名

● 開講する科目を履修することで取得可能な資格
◆ 他大学(玉川大学通信課程)での履修が必要な資格

学部の特徴

世界のスポーツ界をリードする 人材の育成

スポーツ健康科学部は世界のスポーツ界をリードする選手、監督、指導者などの人材を輩出し、オリンピック・パラリンピックでの日本の活躍に貢献しています。また、スポーツ行政、教育界、研究分野にも大きくはばたく人材を育成しています。

最新のスポーツ・教育研究環境

スポーツ健康科学分野の最先端をいく研究施設・設備を備え、教育研究の分野を牽引し、授業(講義・実習)を展開しています。また、世界レベルの選手の育成、国際交流の拠点となるOGAWA GYMNASTICS ARENAには、体操競技場のほか、スカッシュコート、ATR(アスレティック・トレーニングルーム)も整備し、さらなるスポーツ施設の充実を進めています。



豊かな人間性を育むキャンパスライフ

スポーツ健康科学部と医学部の1年生による1年間の寮での共同生活は、授業だけでは得ることのできない体験学習の場として位置づけられています。共同生活を通じて、「仁」の精神に基づく豊かな人間性を育てています。



丁寧なキャリア支援と充実した就学サポート

担任(3~4年次はゼミナールの指導教員)のほか、専任スタッフが学生一人ひとりの希望に沿った手厚い進路選択のサポートを行っています。また、4年間安心して学生生活を継続していただくため、さまざまな奨学金制度を取り入れています。



学びのポイント

スポーツによる社会貢献を目指す

スポーツの効果と可能性を理解し、得られた知見(教育や健康・体力づくりに適切なプログラムの開発など)を社会へ還元できる人材を育成します。

「健康」について深く多面的に捉える

ダイバーシティを踏まえ、身体的・精神的・社会的な側面から「健康」に関する知識を修得し、人々の健康づくりと健康支援に必要な技能を育みます。

医科学的知識・素養を身につける

医学部・病院と連携したスケールメリットを生かし、医科学的知識を身につけるとともに、スポーツパフォーマンスを正しく測定・分析できる能力を養います。

スポーツ団体・産業界で国際的に活躍する

フィールドワークを通じ、スポーツにおける「ヒト・モノ・カネ・情報」という経営資源を理解し、国内外を問わず、実践的なマネジメント能力を身につけます。

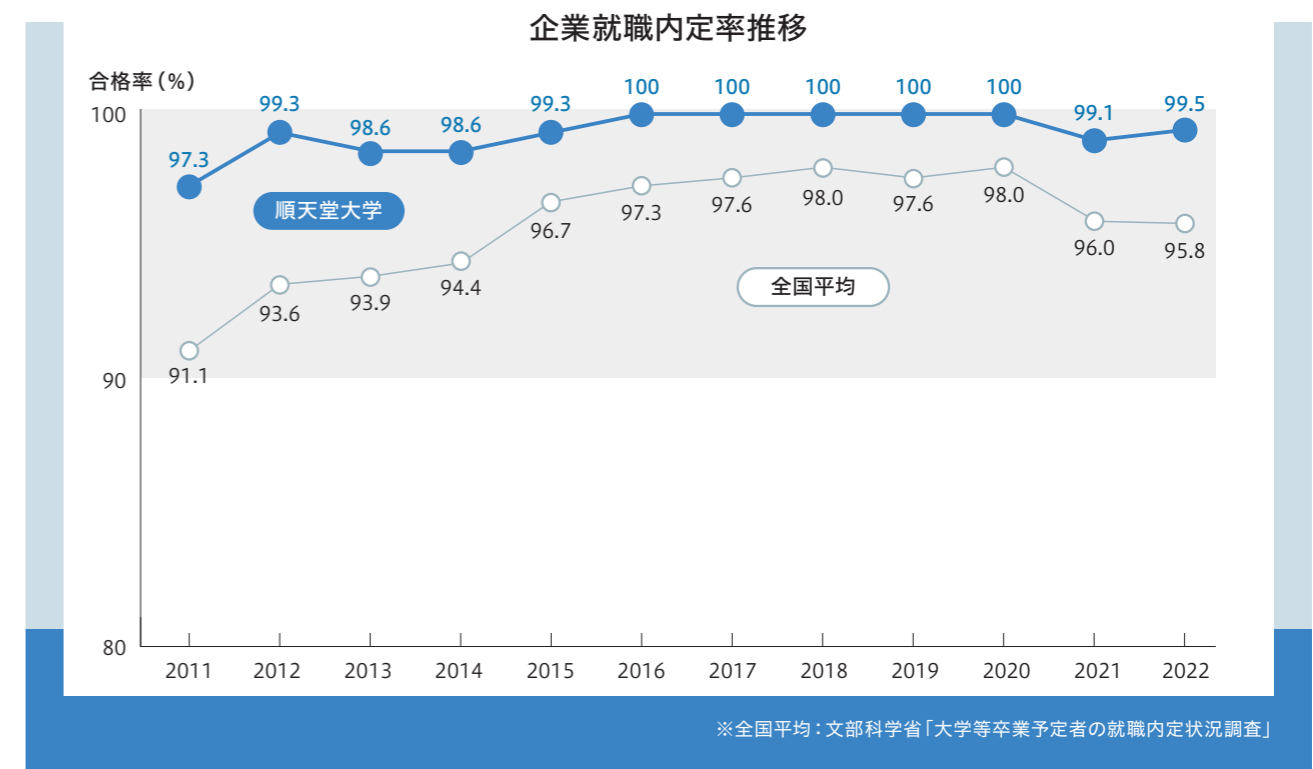
トップアスリートを育成・サポートする

科学的なコーチング理論と最新のトレーニング方法により、卒業後もスポーツの世界で活躍できる優秀な競技者と指導者を輩出します。

卒業後の進路

企業就職内定率99.5%!

就職課を中心としたきめ細やかな指導と、学生と教員の密なコミュニケーションにより、常に全国平均を大きく上回る就職内定率を維持しています。

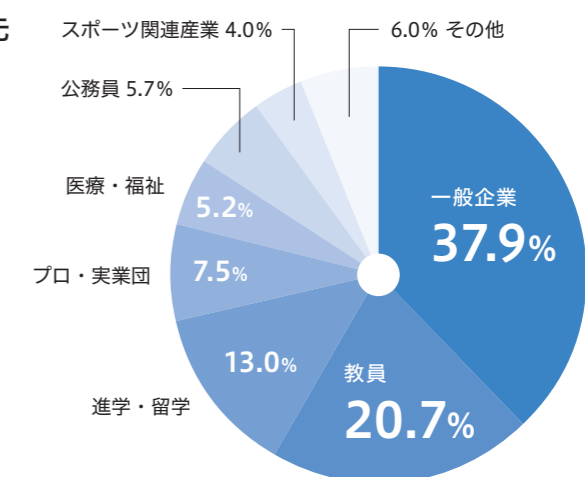


教員採用試験合格者数

「教職の順天堂」の伝統を受け継いで、2022年の教員採用試験では114名(現役生49名・既卒者65名)の合格者を輩出。全国の教育現場で多くの卒業生が活躍し、「恩師が卒業生だったから」という理由で順天堂大学を志望する学生も少なくありません。



主な進路先



学部の特徴

100年以上にわたって、
卒業生を医療現場へ

順天堂大学は、常に他人の気持ちを思いやり、慈しむ心を意味する学是「仁」の精神を基盤に、身体のみならず「心を癒す看護」を理念とした全人教育を行っています。120年以上に及ぶ歴史と伝統のある「順天堂の看護」は、先輩から後輩へと脈々と受け継がれ、患者・家族の皆様から高く信頼され、評価されています。



全国平均を大きく上回る
国家試験合格率！

医療看護学部の国家試験合格率は、他の大学ではなかなか見られないほど高い合格率であり、全国平均を10%近く上回ることもあります。国家試験対策オリエンテーションや補講、模擬試験、アドバイザー教員の学習支援など、医療看護学部全体で国家試験合格を全力でサポートしています。



医療看護学部

Faculty of Health Care and Nursing

医療看護学部は看護師、保健師、助産師を志願する学生に対して、4年間で卒業し、国家試験に合格できるように教育しています。順天堂看護学教育は126年の歴史を持ち、この間に培われた全人教育の伝統を守りながら、知性と教養と心優しい人間味あふれる看護職者となるための教育を行います。

本学部の教育理念は身体のみならず「心を癒す看護」です。これは学是である「仁」の精神(人在りて我在り、他を思いやり、慈しむ心)を基盤にしています。具体的には看護学教育や課外活動等を通じて、教職員や学生間の距離が近く、各々の個性が尊重され、学生生活を楽しく充実したものとなるように教育的配慮をしています。



学部DATA

[2022.5.1現在]

取得できる学位	学士(看護学)	人数	専任教員数 69名 入学定員数 220名 学生数 814名
学科	看護学科	取得可能な資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格(選択制・希望者は全員) 助産師国家試験受験資格(選抜制) 衛生管理者資格(保健師資格取得後申請制) 養護教諭2種免許(保健師資格取得後申請制)
学生男女比	3% 男:26名 97% 女:788名	キャンパス	浦安キャンパス

医学部附属6病院に
優先的に就職できる！

医学部附属6病院の希望部署へ優先的に就職することが可能です。毎年、80%以上の学生が順天堂大学医学部附属6病院から就職内定を得ています。附属病院以外の医療機関や、保健師として地方自治体等に就職する学生だけでなく、「更に専門的に看護を学びたい！」と大学院進学を希望する学生へのサポートも行っており、全員が卒業前にその後の進路を決定しています。

専門看護師コースも充実の大学院！

医療の高度化・専門化が進み、より高度な看護が求められています。順天堂大学の大学院医療看護学研究科には、「専門看護師」と「認定看護管理者」の資格認定制度に対応するコースが充実した博士前期課程と、更に高度な研究能力を身に付けられる博士後期課程を設置しています。大学を卒業した後も継続的に専門性の高い学修を続けることができる環境を整えています。



医療看護学部の学び

看護に必要な知識と技術を学び、それらすべてを統合して看護実践能力として発展させる

看護学科では、学生に看護専門職としての基礎能力をしっかりと身に付けてもらうためのカリキュラムを提供しています。学年に合わせて段階的に編成された科目群の中で、看護に必要な教養知識、身体の健康、看護実践に必要な知識と技術を学び、それらすべてを統合して看護実践能力として発展させることを学ぶこ

とが可能です。学生の将来の進路や目的、興味のある分野などに応じて、アドバイザー教員が親身になって履修計画を支援します。

授業は、内容に応じて220人の合同授業から、2～10人のグループ学習まで、多彩な編成で行います。さらに異文化を理解して国際的な視野も養えるよう、希望者には海外研修の機会を設けています。また、保健師、助産師の国家試験受験資格取得のための科目を選択することもでき、保健師、助産師を希望しない学生には高度な看護専門科目を用意しています。

学びのポイント

複数の看護職の国家試験受験資格が得られる！

医療看護学科では、卒業時に看護師国家試験受験資格を始めとする複数の看護職の受験資格が得られます。

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格（希望者は全員）
- 助産師国家試験受験資格（1学年10名程度の選抜制）
- 第一種衛生管理者免許（保健師資格取得後申請可能）
- 養護教諭二種免許（保健師資格取得後申請可能）

教員アドバイザー制度で細かく学習をサポート！

教員1名が約10名の学生のアドバイザーを担当し、学習面だけでなく、進路や就職、生活面の相談にもきめ細かく対応しています。



医学部附属6病院で行う、充実した臨地実習

医学部附属6病院はもちろん、数多くの施設で豊富な実習を行うことができます。最先端のロボット手術や年間3,000例にもおよぶ出産、高齢者への専門的な医療などに対応している医学部附属病院での実習を通して、将来、医療現場で働く際に役立つ実践能力を着実に身に付けることができます。

臨地実習

臨地実習は、静岡病院を除いた附属5病院を中心にを行います。講義や演習で学んだ基礎的な知識や技術を臨床の場で応用し、看護の実践力を身に付けることが目的です。1年次から4年次にかけて行われ、学年が進むごとに質、量ともにレベルアップしていきます。

- 基礎看護学
- 小児看護学
- 母性看護学
- 精神看護学
- 助産学
- 高齢者看護学
- 成人看護学
- 在宅看護学
- 公衆衛生看護学
- 総合実習

海外研修

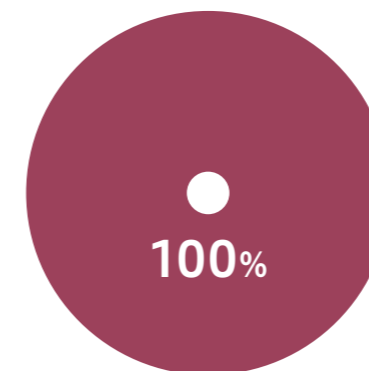
医療看護学科はイギリス、タイ、アメリカなど複数の国での研修を行っています。例えばイギリスではデモントフォート大学(DMU)での13日間の語学・看護研修を2014年度から行っています。2、3年次が対象となり、英語の集中講義、医療・看護の講義や演習に現地の看護学生と共に参加し、地域奉仕活動で英国のコミュニティや文化に触れる機会も設けています。

研修前からDMU看護学生とのビデオ通話による交流プログラムを準備しているため、英語によるコミュニケーション能力の向上やイギリスに友人を作る機会にもつながります。研修中は日常英会話、医療英語やディスカッションなどを含んだ様々な課題に取り組み、最終日にはプレゼンテーションを行います。イギリスの社会や文化に触れ、イギリスの看護について学ぶことは貴重な経験となり、その後の学生生活と卒業後のキャリアアップにつながります。

卒業後の進路

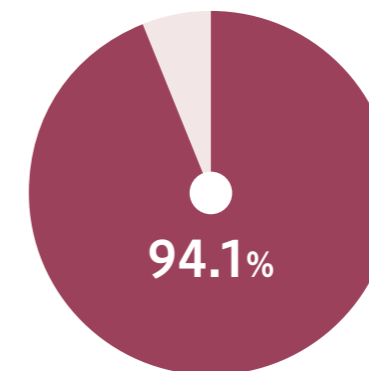
看護師国家試験合格率

(2022年3月25日発表)



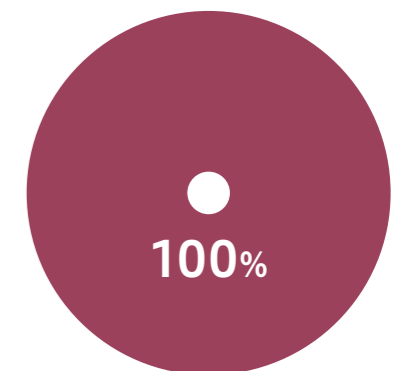
保健師国家試験合格率

(2022年3月25日発表)



助産師国家試験合格率

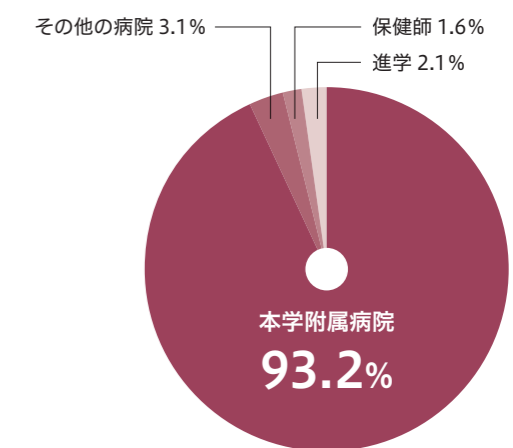
(2022年3月25日発表)



主な進路先

本学部を卒業することで、特色のある機能を備えた高度先進医療を行っている順天堂大学医学部附属6病院に優先的に就職することが可能です。また、各分野のキャリアを重ねることで、認定看護師や専門看護師としてさらに活躍の場が広がります。大学院医療看護学研究科に進学すると、より高度な看護教育と研究指導を受けられます。

卒業生の内定状況(2021年度)





学部の特徴

カリキュラム

本学部では、4年間の学修を通じて、豊かな人間性と、看護職者として活躍していくための知識を体系的に学ぶことができます。

また、全学生が保健師と看護師の受験資格が取得可能なカリキュラムを採用しています。

実習

順天堂附属静岡病院などの実習先で「実」のある経験を積み、多くの看護師が今も、医療の現場で活躍しています。

教員

医療・看護に力を入れてきた順天堂の、専門性の高い教員達が教育にあたります。国家試験対策、進路の相談まで、看護を志す学生の力強い味方になります。

アドバイザー制

教員が少人数の学生を担当し、学生一人ひとりにきめ細かく学修面および生活面の指導・支援を行います。各学年の学生が7人程度のグループに編成され、2人のアドバイザー教員が学修や進路、学生生活全般について助言や指導を行います。

アドバイザーは、1年次から4年次まで継続フォローできるよう、原則交代しない体制をとっています。各グループの懇親会も行っており、学年を超えた交流が持てる支援が可能となっています。



保健看護学部

Faculty of Health Science and Nursing

静岡県三島市の整備された教育環境の中で、教育経験・看護臨床経験ともに豊富で優れた教員が、より安心安全で質の高い看護を提供するために必要な看護基礎教育を行います。また、看護学実習(臨地実習)は順天堂大学医学部附属静岡病院を中心に行いますが、看護臨床教員が臨床現場の実習指導者を兼任し、卒業後もスムーズに現場に溶け込めるよう、看護実践現場と学内教育の連携を密にとりながら進めていきます。



学部DATA

[2022.5.1現在]

取得できる学位	学士(看護学)	人数	専任教員数	37名
			入学定員数	130名
学科	看護学科		学生数	506名
学生男女比		取得可能な資格	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格 第1種衛生管理者資格(保健師資格取得後申請制) 養護教諭2種免許(保健師資格取得後申請制)	
7%	93%	キャンパス	三島キャンパス	
男: 37名	女: 469名			

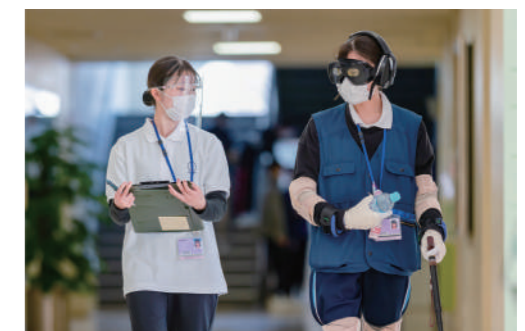
保健看護学部の学び

心身ともに健全に、多様な価値観と国際性に対応できる次世代の看護を担う

保健看護学部では、講義・演習・臨地実習の有機的な連携による学びのプロセスを経て、看護師・保健師としての心と技術を習得します。

また、心身ともに健全に、多様な価値観と国際性に対応できる次世代の看護を担う看護職者になるために、

幅広い教養や語学教育、スポーツ教育に力を入れています。



学びのポイント

4年間の学びのプロセスを着実に進められるステップがある

基礎から徐々に高度な内容へと、スムーズかつ段階的に理解を深めていけるように、学びのプロセスが用意されています。

最新鋭の設備・機器のある環境

最新の設備や良質の環境で学べることは、看護の道に進む人間にとって大きなアドバンテージとなります。本学部の実習では最新鋭の設備や機器に触れ、より先進的な医療技術への理解が深まります。

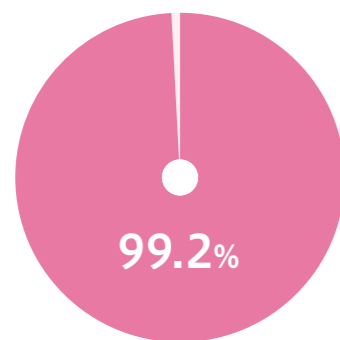
看護職者としての核となる臨地実習

1年次より臨地実習を組み入れています。病院、保健センター、保育所、訪問看護ステーション、産業健康管理室などさまざまな保健・医療・福祉の場で学修をします。

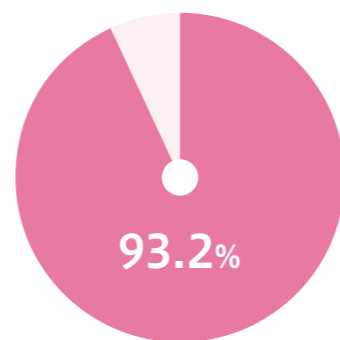
卒業後の進路

順天堂大学医学部附属の6病院をはじめ、静岡県内外の看護の現場で高い就職率を誇ります。また卒業後の進路について、学生をサポートする体制を整えています。

看護師国家試験合格率
(2022年3月25日発表)



保健師国家試験合格率
(2022年3月25日発表)



英語 I

大学グローバル化への対応策の一環として、本学の英語教育ではTOEFLのスコアアップを目指しています。TOEFLは全世界130カ国が採用している英語能力試験であり、まさしく世界標準となります。皆さんも本学入学を契機に世界に通用する英語の習得にチャレンジしましょう。

地域包括ケア実践統合実習

4年間の集大成としての臨地実習です。担当教員のアドバイスを受けながら、選択した領域において看護や保健の今日的テーマや課題を設定し、その領域の実習目標や臨地実習施設の状況を踏まえながら、自ら主体的、計画的に学びます。4年間で学修した知識・技術・態度を総合し、看護実践能力の向上を目指します。



国際教養学部 | Faculty of International Liberal Arts

国際教養学部は、国際社会で幅広く活躍するために必要な教養や高いコミュニケーション能力を習得するためのカリキュラムを通して、多様な価値観の中で自律し、周りの人々と共生し、主体的に生きることができる人＝グローバル市民(Global Citizen)の養成を目指しています。順天堂大学がこれまで培ってきたグローバルヘルスに関する知識や、異文化コミュニケーションに関する専門性も習得することができます。



学部DATA

[2022.5.1現在]

取得できる学位	学士(国際教養学)	人数	専任教員数	33名
学科	国際教養学科		入学定員数	240名
学生男女比	41% (男) / 59% (女)		学生数	945名
	男: 390名		取得可能な資格	中学校教諭一種免許状(英語) 高等学校教諭一種免許状(英語) 社会福祉主事任用資格
	女: 555名		キャンパス	本郷・お茶の水キャンパス

学部の特徴

注目のグローバルヘルスを学べる専門教育

本学部の学生は3年次から「グローバル社会領域」「異文化コミュニケーション領域」「グローバルヘルスサービス領域」の3つから、興味や目指す進路に応じた専門的領域を選べます。特に学部レベルでグローバルヘルスを学べる大学は、現在、日本では本学部だけです。

少人数で実力を養う外国語学修

外国語の授業では、少人数クラスをさらにグループに分けた協同学習を採用。他の学生と外国語で活発に意見を交わすことで、聞く力、伝える力を着実に養っていきます。また、英語以外の外国語も学ぶ「複言語主義」を導入していることも、本学部の大きな特徴です。

夢を後押しする充実したキャリア教育

グローバル市民として幅広い舞台での活躍を目指す学生の就職・キャリア形成を支援するために、本学部では次の6つの特徴を有するキャリア教育を展開しています。

- ① 1年次から就職支援をスタート
- ② 豊富なキャリア教育科目と多くの職業人との出会い
- ③ 経験豊かなキャリア教育担当教員
- ④ 全教員が協働して学生のキャリア支援
- ⑤ 国家資格キャリアコンサルタントによる個別進路相談
- ⑥ 充実した就職支援活動

国際教養学部の学び

基礎を築き、知識を深め、国際対応力の強化を図る

入学からの1～2年次は、国際教養の全体像を把握すると同時に学問の基礎となる考え方やスキルを

グローバルな視野を広げる立地・環境

キャンパスを置く東京の御茶ノ水・水道橋周辺地域は、古くから多数の有名大学が集まる学生街であると同時に、国際的な観光スポットや名所も豊富です。外国からの留学生、ビジネスマン、観光客の姿も多く、グローバルな視野や経験を広げる機会にも恵まれています。

豊富な経験と実績を持つ教員陣

本学部で指導にあたるのは、グローバリズムや異文化コミュニケーション、グローバルヘルスなどに関連する分野で、豊富なキャリアと実績を持つ教員陣です。その専門分野は、医療・保健、言語・コミュニケーション、通訳・翻訳、途上国支援など、多岐にわたっています。

大学は教育と研究の場

大学は教育と研究の場であり、新しい研究の成果が、より良い教育の基礎になります。健康、スポーツなどを授業科目にもつユニークな国際教養学部として、教員全員がそれぞれ自由に研究成果を発表し、広く学会、教育界そして一般社会に発信しています。文系・理系の多様な専門性をもつ教員・研究者間での意見交換と互いの刺激が領域を越えた新しい知を生み出すことを期待し、学部開設初年度より、毎年「順天堂グローバル教養論集」を発行しています。

身に付けます。

3～4年次では、築いた基礎に加え、それぞれの興味・関心、キャリア設計に応じて知識を深め、国際対応力を強化していきます。

学びのポイント

場所と目的が選べる、多彩な海外研修プログラム

国内での充実した外国語授業に加え、海外でしかできない貴重な体験を提供する、豊富な研修プログラムを用意しています。研修先は北米、欧州、オセアニア、アジアと多岐にわたり、その内容も、語学力向上を目的とするものから、グローバルヘルスに関わるワークショップ形式のものまであり、一人ひとりの興味に応じて選ぶことができます。

カウンセリングや個別学修など多様に利用できる言語学修センター

学生の自律した言語学修をサポートする本学部専用の施設です。カウンセリング・ブースで常駐する教員に気軽に学修の相談ができるほか、オープンスペースでは教員や友人とくつろいだ雰囲気の中で意見の交換や討論を行えます。e-learning用パソコンや、映画などのDVD、CD、書籍、英字新聞なども豊富にそろっており、個別ブースでは音声教材やオンライン教材を使ってリスニングの練習ができます。プレゼンテーション練習用コーナーも設置するなど、語学学修を効果的に進めるための環境が整っています。



国際的教養を備えた英語教員を目指せる教職課程を設置

グローバル化が進む中、英語教員の役割は非常に重要なものとなっています。国際教養学部では、中学校と高等学校の教諭一種免許状（英語）を取得できる教職課程のカリキュラムを設置。教室での授業を通して学ぶ「理論」と、教育実習などによる「実践」をバランスよく取り入れることで、教員としての実践的指導力を育てていきます。本学部の教職課程で学ぶことにより、単に英語の技能だけでなく、文化的な背景に関する知識など幅広い国際的な教養も身に付けた英語教員を目指すことができます。



UNHCR難民映画祭・学校パートナーズ

国連難民高等弁務官（United Nations High Commissioner for Refugees）駐日事務所は、2006年から毎年「UNHCR難民映画祭」を開き、映画上映による難民問題の啓発活動を行っています。順天堂大学国際教養学部は、2016年度より「UNHCR難民映画祭・学校パートナーズ」として、毎年、公開講座の形で学内で上映会を開催し、多くの学生、一般市民の方々が参加しています。

海外研修・留学

外国語は本学の教育課程の中でしっかりと身に付け、海外では現地ではできない体験を提供していきます。本学部では、学生の興味・関心に合わせたさまざまなプログラムを用意しています。現地では語学を学ぶことはもちろんですが、普段の観光旅行では体験することのできない地域・施設への訪問なども組み込まれており、より深くその国の文化・歴史を体感することができます。

国	研修先	研修名
タイ	マヒドン大学	グローバルヘルス短期研修
インドネシア		インドネシアでの異文化体験短期研修
台湾	国立台湾師範大学	中国語短期研修
カナダ	プリテッシュ・コロンビア大学	グローバル体験短期プログラム
スペイン	サラマンカ大学	スペイン語短期研修
中国	大連理工大学	中国語短期研修
アメリカ	ハワイ大学マノア校 カリフォルニア大学アーバイン校	HELP研修(Hawai'i English Language Program) 特別留学プログラム
フィンランド	ユヴァスキュラ応用科学大学	異文化マネジメントプログラム
オーストラリア	西シドニー大学	英語&ヘルスプロモーション短期研修、英語短期研修
シンガポール	シンガポール国立大学	シンガポールで学ぶグローバルヘルス短期研修
フィリピン	語学学校(First English, CPILSなど)	セブ島短期英語研修
フランス	語学学校(French in Normandy)	フランス語・文化短期研修

ヨーロッパ最古の大学の一つ、サラマンカ大学でのスペイン語短期研修

ヨーロッパ最古の大学の一つであるサラマンカ大学は、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学などと並び、伝統ある大学で「知識を欲する者はサラマンカ

へ行け」と言われるほどの名門大学です。順天堂大学国際教養学部はサラマンカ大学と学术交流に関する覚書を締結し、交流を進めています。毎年春季・夏季それぞれ10名以上の学生が参加をし、中には、長期留学する学生も。

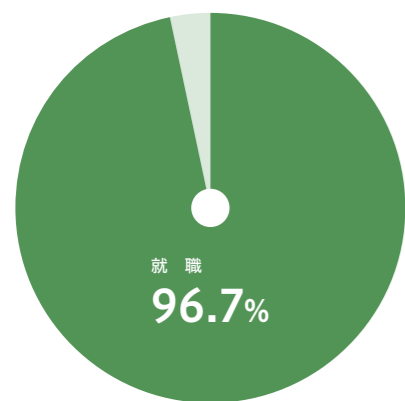
情熱の国スペインを体験し、さらなる学びを深めます。

卒業後の進路

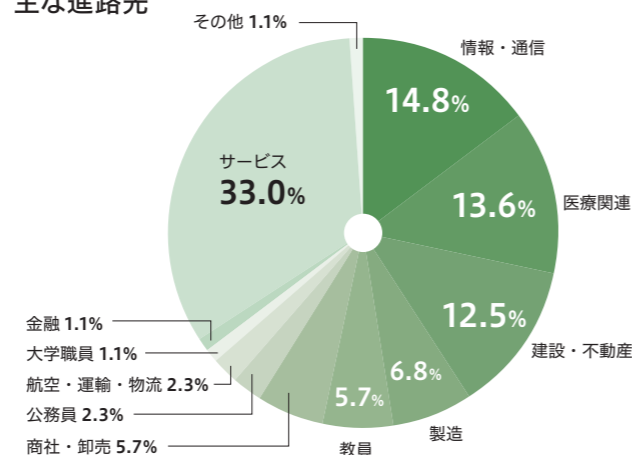
就職率96.7%、大学院進学8名

各学年にキャリア教育科目を配置、卒業まで複数回の集中キャリアガイダンス、毎週の就職支援行事を全学年の学生に公開し、キャリアカウンセラーによる個別相談や、企業人事担当者との交流会等産学協同してのキャリア支援、毎週のキャリアニュースレター発行するなど、全教職員あげて学生の進路を支援しています。

就職率(就職者/就職希望者)



主な進路先



保健医療学部

Faculty of Health Science

保健医療学部は順天堂医院をはじめとする附属病院と密に連携し、高度先進医療に対応する最新設備を備えた環境の中で経験を積み、確かな技術力と高い実践力を身に付けることができます。

経験豊かな教員が、学生一人ひとりの希望進路に合わせて丁寧にサポート。高度な専門知識と技術を持ち、多岐にわたるフィールドで活躍できる理学療法士・診療放射線技師を養成します。



学部DATA

[2022.5.1現在]

取得できる学位 理学療法学科：学士(理学療法学)
診療放射線学科：学士(放射線技術学)

人数 専任教員数 40名
入学定員数 240名
学生数 961名

学科 理学療法学科
診療放射線学科

取得可能な資格 理学療法学科
・理学療法士国家試験受験資格(厚生労働省)
診療放射線学科
・診療放射線技師国家試験受験資格(厚生労働省)
・放射線取扱主任者(原子力規制委員会)

学生男女比
男：400名 女：561名

キャンパス 本郷・お茶の水キャンパス

学部の特徴

順天堂大学の基幹キャンパスで学ぶ

保健医療学部は順天堂大学の基幹キャンパスである本郷・お茶の水キャンパスにあります。高度な専門知識と技術を持って、多岐にわたるフィールドで活躍できる理学療法士・診療放射線技師を養成していきます。

附属病院と直結

順天堂医院をはじめとする医学部附属病院のリハビリテーション科、放射線科と緊密に連携。これまでにない環境のなかで経験を積み、確かな技術力と高い実践力を身に付けていきます。

最新設備の整った充実した教育環境

高度先進医療を提供する附属病院には最新設備が整備されています。また、附属病院に蓄積された豊富な研究成果も活用されるなど、最高の教育環境のもとで講義や演習・実習を行っています。

理学療法学科 学びのポイント

医療技術の高度化、多様化の中で、全身管理ができる資質と能力の高い理学療法士の育成を目指します。

互いに協働する連携体制

附属病院の現役理学療法士が実習科目での指導を担当し、本学科の教員は附属病院での臨床業務を兼務するなど、相互に協働する連携体制は順天堂ならではです。

経験豊かな教員による充実の教育指導体制

高度な知識や豊富な臨床経験を持つ教員が、学生一人ひとりの希望進路に合わせて丁寧にサポート。4年間で卒業し、国家試験にストレートで合格できるようきめ細かい指導を行っています。

海外協定校を通じた国際化とグローバル人材の育成

順天堂大学は円滑な国際交流を推進するために多くの海外の大学と協定を結んでいます。海外協定校との交流・連携により、知性と教養溢れ、発信力と行動力のあるグローバルな視点をもった人材を育成します。

スポーツロジックでつなぐ理学療法と診療放射線学

スポーツロジックをキーワードに、理学療法と診療放射線学をつなぎ、けがや病気の早期発見・診断から早期復帰までの一翼を担う人材を育成します。
※スポーツロジック (Sportology)：スポーツと医学そして健康の関わりを科学的にアプローチすべく、順天堂が新たに定義した学問体系です。



教員自ら医療の最前線に身を置き、研鑽を積む

全教員が順天堂医院の臨床業務を兼務。学生一人ひとりの特徴や性格を理解した教員が直接指導する機会を作ることで、実習でのミスマッチを少なくし、知識や技術の定着を促進します。



診療放射線学科 学びのポイント

診断部門・核医学部門・放射線治療部門の全部門で活躍できる診療放射線技師を養成します。

本学科教員と診療放射線技師との強固な協力体制

本学科の専任教員と診療放射線技師が協力し合い、円滑なカリキュラム運営に努めます。本学部校舎・実習棟と附属病院が隣接する環境を十分に活用し、最新の放射線医学領域の知識が身に付きます。



医学部の現任教員が行う専門基礎医学が充実

理学療法に対する理解を深めるためには基礎医学の知識が重要です。解剖学や生理学では医学部の実習室を共有し、医学部さながらの授業を行います。医学部の第一線の教員の授業は生涯の記憶に残るものになるでしょう。



教員は臨床経験豊富なプロの医療人ぞろい

臨床経験や教育研究が豊富な医師や診療放射線技師が専任教員として在籍。附属病院での診療を共にしていることから、チーム医療教育の基盤も形成し、学生一人ひとりを丁寧に指導します。

国際化を意識した教育

今後、海外からの患者さんに接する機会が多くなります。診療放射線技師は直接患者さんと会話し、体に触れる機会が多いため、グローバルな能力や視点を持ち、コミュニケーション能力を備えた人材の育成します。

保健医療学部 学びを共有

解剖学 I・解剖学実習 I (理学療法学科)、 解剖学・解剖学演習 (診療放射線学科)

理学療法士も診療放射線技師も医療従事者として、人の体の構造と機能を十分に理解することが大切です。保健医療学部には、本学医学部で長年にわたって解剖学教育を担当してきた教員が専任教員として在籍していて、授業や演習・実験を通して、身体を動かす骨格・関節・筋肉や、生命を維持する様々な臓器について教育指導を行います。

救命救急学 (理学療法学科・診療放射線学科)

保健医療学部では、「救命救急学」が1年次必修科目として設定されています。救命救急学の授業は本学医学部の第一線の教員が担当し、授業のなかでAED実習も行っています。授業を通じて適切な救命処置の方法と大切さを理解し、医療従事者としての基礎的な知識を身に付けることができます。

卒業後の進路

保健医療学部では、経験豊かな教員が学生一人ひとりに対してきめ細かく丁寧に教育指導を行います。確かな実践能力と態度、そして主体的に学修を継続することのできる能力を身に付けて、将来的には以下の資格取得や進路を目指すことが可能です。

理学療法学科

取得可能な資格

- 理学療法士国家試験受験資格 (厚生労働省)

卒業後の進路

病院・診療所等の医療施設、スポーツリハビリテーション関連施設、福祉施設、医療系企業、国内外の大学院進学など

診療放射線学科

取得可能な資格

- 診療放射線技師国家試験受験資格 (厚生労働省)
- 放射線取扱主任者 (原子力規制委員会)

卒業後の進路

病院・各種検査・健診センター、医療系企業、国内外の大学院進学など



医療科学部 | Faculty of Medical Science

医療科学部は、2022年4月、順天堂大学に第7番目の学部として開設されました。「確かな診断に導く検査のスペシャリスト」臨床検査技師と、「医療の安全を保ち、いのちを守るエンジニア」臨床工学技士を育成します。

豊富な臨床経験と高い研究能力を兼ね備えた教授陣が、学生一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行います。キャンパスは順天堂大学で最も新しく、千葉県浦安市日の出に位置します。医療現場でも実際に使われる設備や検査機器を用いた実習の中で、最新鋭の医療を学び、現場で生かせる実践力を身につけることができます。



学部DATA

[2022.5.1現在]

取得できる学位	臨床検査学科：学士 (臨床検査学) 臨床工学科：学士 (臨床工学)	人数	専任教員数 17名 入学定員数 180名
学科	臨床検査学科 臨床工学科	取得可能な資格	臨床検査学科 ・臨床検査技師国家試験受験資格 (厚生労働省) 臨床工学科 ・臨床工学技士国家試験受験資格 (厚生労働省)
学生男女比	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; text-align: center;">26%</div> <div style="background-color: #e69d00; padding: 5px; text-align: center;">74%</div> </div> <p>男：47名 女：135名</p>	キャンパス	浦安・日の出キャンパス

学部の特徴

開学以来の医療識者養成の経験と実績

開学以来、順天堂大学には永年にわたり蓄積してきた医療識者養成の経験と実績があります。医学部や他の医療系学部と相互に連携しあい、教育を行います。

国際性を有する次世代のリーダーを育成

新型コロナウイルス感染症の収束をめざす医療現場で、ますます必要とされ活躍が期待される「臨床検査技師」と「臨床工学技士」。新学部では、グローバル時代に対応するため、充実した外国語教育等により、どのような時代が訪れても活躍することができる、国際性を身につけた次世代のリーダーを育てることを目標としています。

臨床に強い教授陣に学ぶ

圧倒的な臨床力を有する、本学医学部と医学部附属病院のバックアップにより、臨床経験豊富な教授陣から専門的知識と医療技術を学びます。

臨床検査学科 学びのポイント

医学系他学部と連携した実践能力をつける教育

一般教養や基礎医学の基礎知識を身につけ、徐々に専門知識・実践的技術を学びステップアップします。そして、医学部をはじめとする医療系他学部と連携し、4年間トータルで段階的に理解が深まるカリキュラム構成になっています。

最先端の医療教育が可能

順天堂は、6つの附属病院の総病床数3,559床。日本最大規模を誇ります。各病院は、先進医療、地域医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、がん治療など、医療ニーズに幅広く対応する高い専門性と総合力に秀でています。学部の講義や学内実習には、本学が蓄積してきた豊富な研究成果が活用されるため、最先端の知識を学ぶとともに、医療現場の実践的な経験を得ることができます。

大学附属病院を中心に行う臨地実習および臨床実習

臨地実習および臨床実習は、医学部附属5病院、医学部関連病院や本学卒業生の運営する病院・施設を中心に行い、講義と実習との一貫性の確保を図ります。特に、医学部附属浦安病院は、新学部のキャンパスと同じ浦安市内に位置しているため、緊密な連携によって、より専門的な知識・技術の修得が可能です。

国際性を高める教育環境

充実した外国語教育、海外研修等により、世界に羽ばたくことのできるスペシャリストを育成します。

医療現場で実際に使われる設備や検査機器が充実

キャンパス内には、生理機能検査室や臨床検査用の実習室など、最新鋭の医療を学ぶ施設が完備されており、医療機器・設備や検査機器も充実。実際に医療現場で使用されているものを揃えており、授業や実習の中で、現場で活かせる実践力が身につきます。

臨床工学科 学びのポイント

「医学」×「工学」をバランスよく学べるカリキュラム

医学系の科目は、医学系他学部との連携により十分な医学教育の修得が可能です。工学系の科目は、医用工学や人工臓器分野で教育・研究実績のある教授陣が揃い、必要な工学・技術を修得することができます。



充実した学習・研究環境

人工透析装置、人工心肺装置、体外循環装置 (ECMOを含む) など、実際に医療現場で使用されるハイテク医療機器を完備。授業は少人数制で学生一人ひとりに応じたきめ細かな指導で、医療現場での実践的な技術が身につきます。また、3,4年時の「卒業研究I・II」では、研究で得た成果をまとめ卒業論文を制作します。本学で最も新しいキャンパス、浦安日の出の地で、実習室や実習準備室を利用して、実験や調査を行うことができます。



卒業後の進路

医療科学部では、経験豊かな教員が学生一人ひとりに対してきめ細かく丁寧に教育指導を行います。確かな実践能力と態度、そして主体的に学修を継続することのできる能力を身に付けて、将来的には以下の資格取得や進路を目指すことが可能です。

臨床検査学科

取得可能な資格

- 臨床検査技師国家試験受験資格 (厚生労働省)

卒業後の進路

病院、クリニック、健診センター、臨床検査センター、医療機器メーカー、製薬メーカー、研究機関、大学院進学等

臨床工学科

取得可能な資格

- 臨床工学技士国家試験受験資格 (厚生労働省)

卒業後の進路

病院、医療機器関連企業・機関、教育・研究機関、大学院進学等

学部の特徴

学生一人ひとりの興味や志が 研究テーマになる学び

データサイエンスは手段。健康データサイエンス学部では「工学」を土台に、コンピュータと数理統計をしっかりと学び、「健康」と「データサイエンス」という将来性の高い2つの強みを専門力として身につけます。

【医療・健康×データサイエンス】

近年、医療分野の情報化の進展等により、リアルワールドデータと呼ばれる日常の診療活動で得られる医療データを活用することで、様々な課題発見と新たな解決策の発見が期待されています。順天堂大学は医学部附属病院の診療活動等により長年蓄積された膨大なデータを保有しています。健康データサイエンス学部では、これらの生きたデータを利活用するためのデータ解析のスキルを講義や演習を通して修得し、医療・健康分野の課題解決に向けて貢献できる人材を養成します。

【スポーツ×データサイエンス】

スポーツにおけるデータサイエンスは近年急速に発展しています。勝敗の分析や戦略支援だけに留まらず、選手の故障後の復帰等にもその活用が期待されています。またスポーツ関連産業、ヘルスケア産業においてもAI（人工知能）の活用により、様々なビジネスやサービスが創出されており、データサイエンスはその基盤となっています。順天堂大学はスポーツ健康科学部の活動を通して蓄積された豊富なスポーツに関するデータを利用して、スポーツ分野で応用可能なデータ分析のスキルを身につけることができます。

健康データサイエンティストを育成する 各分野のスペシャリストたち

コンピュータサイエンス、数理統計、AI・データサイエンス（健康医療データサイエンス、スポーツデータサイエンス）、サイバーセキュリティ。本学部の教壇に立つ教員は、各分野のスペシャリストばかり。トップレベルの教授陣による講義が実現できるのも順天堂大学だからこそできる強みの一つと言えます。

健康データサイエンス学部

令和5年度開設 ※2022年8月31日文科省設置認可

Faculty of Health Data Science

ビッグデータ、AI 医療、ネットワーク、サイバーセキュリティ。順天堂大学は、新たに工学の領域を取り入れ2023年4月に第8番目の学部として、健康データサイエンス学部を開設します。本学は、1838年の開学以来、日本の医学・医療およびスポーツ分野の発展と人材育成に貢献してきました。その豊富な実績と、それぞれの分野における専門知識、さらに現場に蓄積された膨大なデータ。健康総合大学・大学院を志す順天堂大学だからこそ提供できる医学・医療とスポーツに基づいた「健康」の視点から、健康・医療・スポーツ領域の発展に貢献する「健康データサイエンティスト」というスペシャリストを育成します。



学部DATA

[2022.5.1現在]

取得できる学位	学士（健康データサイエンス学）	人数	専任教員数 18名 入学定員数 100名
学科	健康データサイエンス学科	キャンパス	浦安・日の出キャンパス

健康データサイエンス学科 学びのポイント

基礎知識から最先端の学びまで、 実践力を養うカリキュラム。

1年次は一般教養や専門基礎科目によって幅広い知見と教養を深め、2年次には各分野のスペシャリストの講義を通して、数理統計、コンピュータサイエンスといったデータ分析の基礎知識と、健康・医療・スポーツ領域の基本知識を学んでいきます。

3年次以降は、興味や進路に合わせて、コンピュータ

サイエンスおよび数理統計の応用、AI・データサイエンス、サイバーセキュリティの専門性を高めていきます。また、本学附属病院や企業でのインターンシップや実務家講師による授業を通じて、現実の課題に対する実践力を身につけていきます。さらに、本学の医学部やスポーツ健康科学部とも連携した学びを取り入れることで、現場で必要とされる健康データサイエンティスト像をとらえ、即戦力として活躍できる人材を育てていきます。

卒業後の進路

健康データサイエンティストの活躍の舞台は限りなく広い。

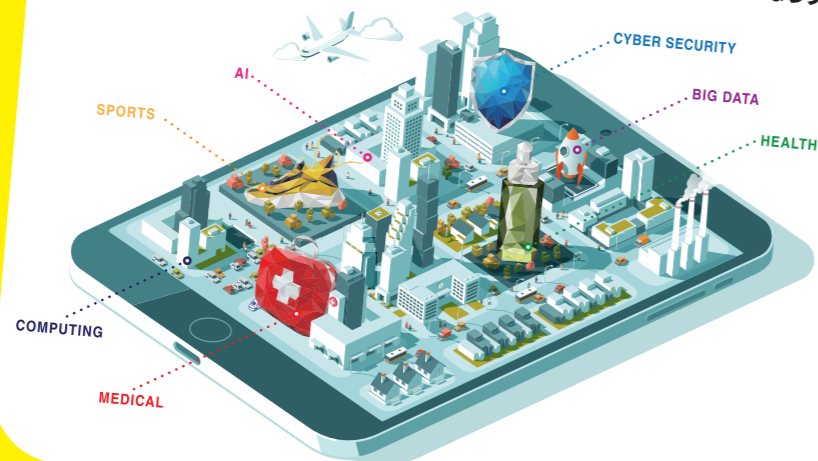
本学部を卒業し、「健康」×「データサイエンス」の2つの専門性を身につけた「健康データサイエンティスト」の未来は限りなく広がっています。すでに世界中でデータサイエンティストの争奪戦が起きていることに加え、人々の暮らしと健康を支える健康・医療・スポーツの分野は、データサイエンスの対象となる領域の幅が広いいため、将来的にさらなる発展の可能性を秘めています。

医療機関や製薬企業、医療・健康・スポーツ関連のメーカーはもちろん、スポーツ運営団体、企業や自治体、シンクタンクにおける健康・医療・スポーツ関連部署でのデータ管理・分析、データ活用、企画立案など、デジタルイノベーション時代を担うスペシャリストとして活躍することができます。

つくるひとになるう。

健康データサイエンス学部
健康データサイエンス学科
2023年4月 開設

世界はいま、答えのない問題であふれている。ないから、あきらめるか。ないから、つくるか。未来を生きる君は、選ぶことができる。順天堂大学の健康データサイエンス学部は、人や社会の健康をつくり、新しい日常をつくるひとを育てる。新しい常識をつくるひとを育てる。学生一人ひとりの興味や志が研究テーマになる学部だ。教授や仲間たちと挑戦し、失敗し、また挑戦する4年間。世界が変わる瞬間を生きる君へ。つくるひとになるう。



順天堂の歩みは、時代のニーズに呼応しています。



順天堂の学祖
佐藤 泰然

順天堂の歴史は、180有余年にわたります。「仁」の理念と「不断前進」の精神で時代のニーズに応えながら、人間の生命と健康を支えるために邁進してきました。そして、21世紀を迎えたいま、順天堂は、医学部、スポーツ健康科学部、医療看護学部、保健看護学部、国際教養学部、保健医療学部、医療科学部を擁するわが国屈指の“健康総合大学”へと大きく成長しています。

医学塾から医学校、そして大学へ

- 1838年 ● 順天堂医学塾創立
- 1873年 ● 順天堂医院開院
- 1896年 ● 順天堂医院看護婦講習所開設

「医学塾を中心に心技ともに良き医師の育成」をめざして

- 1943年 ● 順天堂医学専門学校開設
- 1946年 ● 順天堂医科大学に昇格
- 1951年 ● 新制・順天堂大学の開学、体育学部開設
- 1952年 ● 医学部医学科を開設
- 1954年 ● 看護婦講習所を改組、順天堂准看護婦学院開設
- 1959年 ● 大学院医学研究科(博士)開設
- 1961年 ● 順天堂准看護婦学院を医学部附属高等看護婦学校に改組・改称
- 1964年 ● 高等看護婦学校を順天堂高等看護学校に改組・改称
- 1967年 ● 順天堂伊豆長岡病院(現:静岡病院)開院
- 1971年 ● 大学院体育学研究科(修士)開設
- 1976年 ● 順天堂高等看護学校を順天堂看護専門学校に改称
- 1984年 ● 順天堂浦安病院開院

健康志向のニーズに応え、真の“健康総合大学”を確立し、国際拠点大学・大学院大学へ

- 1988年 ● 創立150周年、さくら新キャンパス誕生
- 1989年 ● 順天堂看護専門学校を順天堂医療短期大学へ改組・開学(浦安)
 - 順天堂越谷病院開院
- 1993年 ● 体育学部をスポーツ健康科学部に改組(さくら)
- 1997年 ● 大学院体育学研究科を大学院スポーツ健康科学研究科に改称
- 2000年 ● 大学院スポーツ健康科学研究科(博士後期課程)開設
- 2004年 ● 順天堂医療短期大学を4年制の医療看護学部へ改組・改称
 - 順天堂東京江東高齢者医療センター開院
- 2005年 ● 順天堂伊豆長岡病院を順天堂静岡病院に改称
 - 順天堂練馬病院開院
- 2007年 ● 大学院医療看護学研究科(修士課程)開設
- 2010年 ● 保健看護学部開設(三島)
- 2013年 ● 創立175周年
 - 大学院医学研究科(修士課程)開設
- 2014年 ● 大学院医療看護学研究科(博士後期課程)開設
 - 同 修士課程を博士前期課程へ改組
- 2015年 ● 国際教養学部開設(本郷・お茶の水)
- 2019年 ● 保健医療学部開設(本郷・お茶の水)
- 2022年 ● 千葉県浦安市に「浦安・日の出キャンパス」を開設
 - 医療科学部開設(浦安・日の出キャンパス)



佐倉の順天堂(1843-1869)



明治初年の順天堂



医学研究科 (博士課程)

文部科学省私立大学
高度化推進事業に
選定された
大学院研究施設



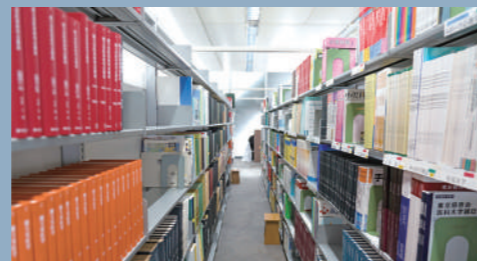
国内外で活躍できる研究者、 高度専門職業人育成を目指す国内拠点順天堂!

順天堂大学大学院医学研究科は、医学を人間に関する総合科学と位置づけ、不断前進する医学的知識・技術を理解、実践し、更にはこれを自ら更新する能力を修学する教育・研究の場です。ここでは、医師・医学者を科学者のみならず感性豊かな教養人として育成することを目的としています。即ち学是「仁」の心を兼ね備えた医学・医療の指導者・実践者を国際的レベルで育成する教育研究の拠点であります。

平成24(2012)年度には、国立がん研究センターと、平成26(2014)年度には、国立国際医療研究センターおよび国立病院機構相模原病院と、それぞれ協定を締結し、新たな画期的取組みとして、連携大学院制度をスタート。さらに、平成24(2012)年度に文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」にも採択される等、がん医療に携わるがん専門医療人の養成を目指すと同時にその姿勢が高く評価されています。また、平成29(2017)年度には文部科学省の「基礎研究医養成活性化プログラム」に採択され、本学および連携大学(東京

大学、福島県立医科大学)をICTと循環型人材交流で結び、地域中核病院において必要とされる死因究明、遠隔病理診断、そしてゲノム医療の知識を身に付けた病理医を育成し、地域における病理医の配置実現を目指しています。このような本学の基本理念と高い倫理観に立脚して、生涯にわたって医学と向き合う姿勢を持った基礎医学者と臨床医学者、或いはその両方を兼ね備えたPhysician-Scientistを育成し、究極的には心身共に病める人々を救済することをその存在目標としています。また、博士論文において、主論文と副論文の掲載される主要国際誌のIF(インパクト・ファクター)の合計が7.0以上である場合などは、3年間で課程を修了することができます。

環境整備の充実も図っており平成24年度から大学院講義は、ICT環境が整備された講義棟(センチュリータワー)にて開講され、各キャンパス、附属病院間を専用のネットワークで結び、遠隔講義を行うことが可能となっています。



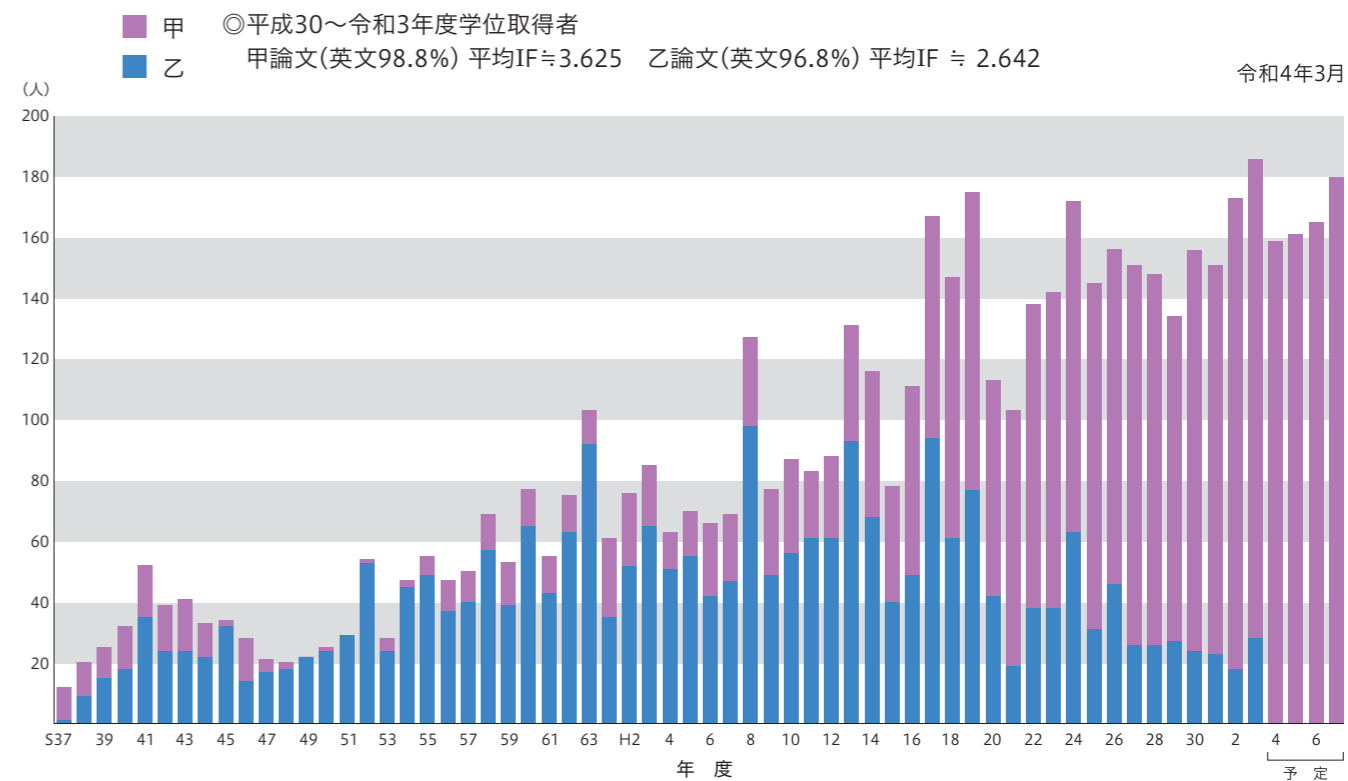
大学院 | Graduate School 医学研究科

順天堂大学大学院医学研究科は、医学を人間に関する総合科学と位置づけ、不断前進する医学的知識・技術を理解、実践し、更にはこれを自ら更新する能力を修学する教育・研究の場です。ここでは、医師・医学者を科学者のみならず感性豊かな教養人として育成することを目的としています。現在、大学院の教育・研究の大部分は、76の研究分野の研究室と15の研究推進センター、13の寄付講座、47の共同研究講座、そして2つの産学協同研究講座と3つの連携大学院コース(国立がん研究センター、国立国際医療研究センター、国立病院機構相模原病院)で行われています。

また、基礎的な医学・生命科学・医療学の概要を習得できるよう修士課程を設置し、創造的で幅広い視野を持ち、生涯にわたって医科学と向き合う姿勢を持ち続け、「志高き医学・医療の研究者・高度専門職業人」を国際的レベルで人材養成します。また、修士課程では、6つの学位プログラム(展開医科学、臨床遺伝学(遺伝カウンセリング)、データサイエンス、公衆衛生学・グローバルヘルス、クリニカル・トランスレーショナルサイエンス、ヘルスコミュニケーション)を開講しています。



順天堂大学 博士(医学)学位授与者数推移 甲 2,577号 乙 2,514号 (計:5,091号)





医学研究科 (修士課程)

文部科学省「大学院教育改革支援プログラム」により、
医学研究科(博士課程)のプログラムの組織的展開を大幅に強化しました

学 年	カリキュラム		研究支援
	コアプログラム	専門プログラム	
1 年次	入学式 / オリエンテーション		専 門 研 究
	基礎教育 (必修)	レクチャーシリーズ (必修・選択必修・選択)	
	実践教育 (選択必修)	専門コース (必修)	
	研究進捗状況評価(8月)	研究進捗状況評価「研究計画書・研究指導計画書」の作成・提出	
1年次到達目標に基づく成績評価(自己評価/教員による評価)			研 究 基 盤 セ ン タ ー ・ 研 究 戦 略 推 進 セ ン タ ー
2 年次	基礎教育 (必修)	専門研究 (必修)	
研究進捗状況評価(3月)	「研究進捗状況報告書」の作成・提出		
2年次到達目標に基づく成績評価(自己評価/教員による評価)			
3 年次	研究進捗状況評価(3月)	「ポスターセッション」による中間評価	
3年次到達目標に基づく成績評価(自己評価/教員による評価)			
4 年次	学位論文の作成・投稿		
研究進捗状況評価(11月申請締め切り)		学位審査[最終試験](12月~2月頃)	
4年次到達目標に基づく成績評価(自己評価/教員による評価)			
修了要件 30単位			
学位授与			

医師免許の有無に関わらず“志高き医学・医療の研究者・高度専門職業人”を国際レベルで人材養成

平成 25 (2013) 年度より修士課程を設置し、医学部以外の教育を受けた学生に対して、基礎的な医学・生命科学・医療学の概要を修得できるようにしました。医科学専攻カリキュラムを履修することで、創造的で幅広い視野を持ち、生涯にわたって医科学と向き合う姿勢を持ち続け、「仁」の心を兼ね備えた、“志高き医学・医療の研究者・高度専門職業人”を国際的レベルで人材養成します。

また、平成 31 (2019) 年度より疫学、生物統計学、社会科学・行動学、保健行政・医療管理学などを修め、臨床研究を実施するための実務・運営能力を身につけた高度専門職業人および保健施策、健康指導、国際保健活動などグローバルヘルスの現場に必要とされる実践的能力を持った専門家等を養成するために公衆衛生学コースを新設しました。

令和 2 (2020) 年度より認定遺伝カウンセラー養成課程となる遺伝カウンセリングコース、令和 3 (2021) 年度からは医療通訳技能認定試験の受験資格が得られるヘルスコミュニケーション (医療通訳) コース、AIに関する知識とスキルを修得しビッグデータを解析分析・課題解決策や新たな価値を創造できる人材を養成するデータサイエンスコースを新設しました。

現在は学位プログラム制とし、取得学位に合わせた6つの学位プログラムを用意しています。修士 (医科学) の学位が取得可能な「展開医科学」「臨床遺伝学 (遺伝カウンセリング)」 「データサイエンス」、修士 (公衆衛生学) の学位が取得可能な

「公衆衛生学・グローバルヘルス」「クリニカル・トランスレーショナルサイエンス」「ヘルスコミュニケーション」の学位プログラムが選択可能です。

本専攻の教育は、基礎教育科目・専門教育科目・研究指導科目の3つで構成されています。昼夜開講制を導入しており、社会人の方でも平日勤務終了後の夜間等に講義出席することで単位を修得することが可能であるほか、各研究分野において、各自のバックグラウンドに応じた個別的教育プログラムが設定されます。

医学分野以外の教育を受けられた方のうち、すでに医学・医療分野で活躍する社会人の方には、専門職者としてリーダーシップを発揮できる医療人として、また、専門性を更に高め、研究者の立場に立って助言できるリサーチアドミニストレーターとして養成します。医学医療の基礎を学んだ経験が無い方にも、基礎医学および基礎臨床医学分野の総合的基礎医学知識を学ぶ機会を提供し、将来、医療関連分野の現場で活躍できるリーダーとして育成します。

研究指導科目において関心のあるテーマを研究指導担当教員と探究し、得られた専門知識を医科学研究の発展のため継続的に活かすことのできる学際的な人材を養成します。博士課程への進学を目指す方は、修士課程修了後、本学大学院医学研究科博士課程へ進学し、将来、大学の研究員・技術員、官公庁、企業、病院等医療分野への就職も期待されます。

基礎教育科目

基礎教育科目では、多様な背景を持つ方が、医学・公衆衛生学の各分野を学習するために必要な基礎知識を得られる科目を開講しています。既に医学医療分野・公衆衛生学分野での基礎的な知識を持つ方に対しては、その知識を再認識でき、また最新の知識を修得できる科目構成となっています。

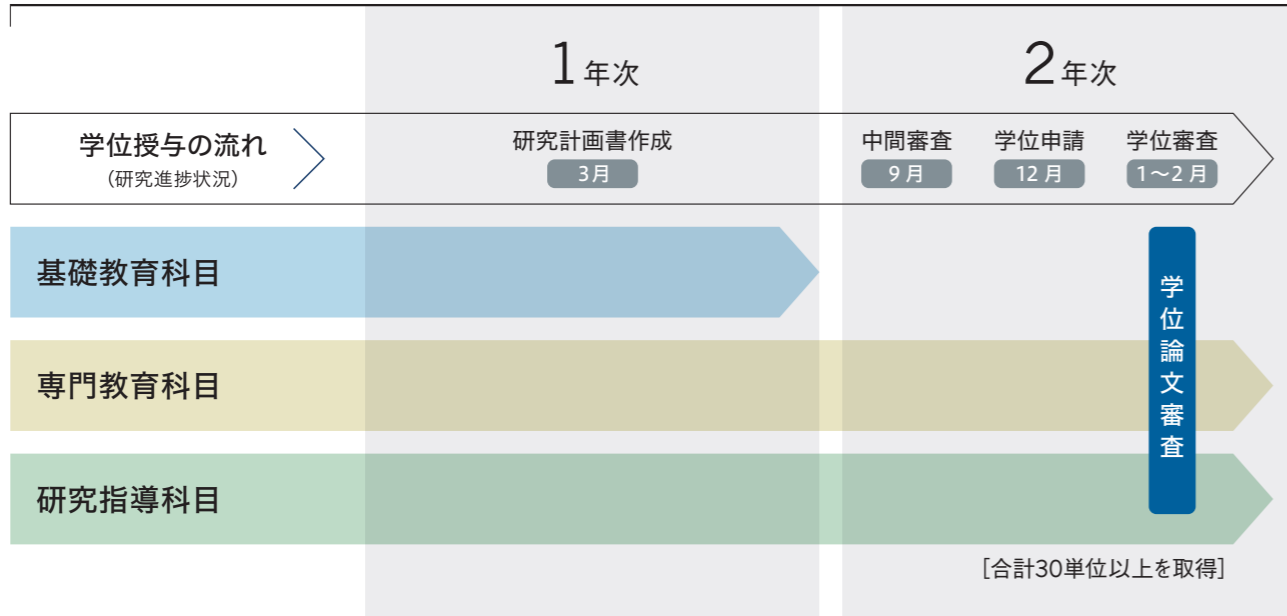
専門教育科目

専門教育科目では、基礎・臨床および公衆衛生学の専門的知識を多用な研究者の指導から修得することができます。同時に、研究の幅を広げながら、最先端の知識の修得を図ります。大学院セミナーでは Current Topics として設定された多くの講義等を履修することで、より専門的知識を得ることができ、医学医療等の分野で活躍できる人材を育成するための教育が行われています。

研究指導科目

研究指導科目では、多様な教育研究分野から関心のある分野を探究し、修士論文としての研究成果とするため、質の高い研究指導が行われます。各研究分野の研究指導教員のみならず、複数の教員から研究指導を受けられるようになっており、基礎医科学研究の幅を広げながら修士論文を作成することのできる指導体制が整備されています。

医学研究科 (修士課程)



展開医科学 授業科目 取得学位:修士(医科学)

- 基礎教育科目**
- 医科学概論Ⅰ(生化学・生理学) ● 医科学概論Ⅱ(人体機能構造学) ● 医科学研究方法論Ⅰ ● 医科学研究方法論Ⅱ ● 医療倫理学
 - 基礎生物統計学 ● 健康行動科学概論 ● 臨床遺伝学概論 ● ヘルスポモーション ● ヘルスコミュニケーション
- 専門教育科目**
- 基礎疫学 ● 医科学概論Ⅲ(内科系分野) ● 医科学概論Ⅳ(外科系分野) ● 低侵襲な診断と治療技術概論 ● 感染症の基礎と臨床
 - 医科学研究の最先端 ● 検査医学と病理 ● 脳科学の基礎と臨床 ● リハビリテーション医学 ● がん遺伝子 ● 免疫の仕組みと疾患
 - 老人性疾患の病態と治療 ● メタボリックシンドロームの基礎と臨床 ● 人体の構造と機能の基本と演習 ● 人体の組織細胞学演習
 - 大学院セミナー

臨床遺伝学(遺伝カウンセリング) 授業科目 取得学位:修士(医科学)

- 基礎教育科目**
- 医科学概論Ⅰ(生化学・生理学) ● 医科学概論Ⅱ(人体機能構造学) ● 医科学研究方法論Ⅰ
- (展開医科学学位プログラム開講科目)
- 基礎生物統計学 ● 健康行動科学概論 ● 臨床遺伝学概論 ● ヘルスポモーション ● ヘルスコミュニケーション
- (公衆衛生学学位プログラム開講科目)
- ※認定遺伝カウンセラー®となるための専門研修を受ける前に該当する科目については大学レベルの教育を受け単位取得していない場合は必修とする。
- 専門教育科目**
- 基礎人類遺伝学(1) ● 基礎人類遺伝学(2) ● 臨床遺伝学(講義・演習) ● 遺伝サービス情報学 ● 遺伝医療と社会
 - 遺伝医療と倫理(講義) ● 遺伝医療と倫理(演習) ● 医療カウンセリング概論 ● 遺伝カウンセリング学(講義)
 - 遺伝カウンセリング学(演習) ● 遺伝カウンセリング実習 (●必修科目)

データサイエンス 授業科目 取得学位:修士(医科学)

- 基礎教育科目**
- コンピュータ概論(原理・歴史) ● プログラミング演習Python ● 人工知能概論(機械学習・深層学習含)
 - 情報法制(知財・個人情報保護・セキュリティ、研究倫理含) ● 基礎数学概論(数理科学) ● 基礎数学(線形代数・微積分)
 - 臨床疫学 ● 統計学実践 ● 力学系・非線形科学入門 ● 自然言語処理 ● 統計モデリング(確率・統計) ● 基礎生物統計学
 - MATLABを活用した宇宙画像解析 ● スポーツデータとAI ● 脳の仕組みと人工知能
- 専門教育科目**
- 医療データの2次利用概論 ● 多変量データ解析 ● 健康寿命延伸とデータサイエンス ● サイバーセキュリティ特講
 - 医用画像とデータサイエンス概論 ● データサイエンス演習Ⅰ(データハンドリング) ● データサイエンス演習Ⅱ(Web)
 - データサイエンス演習Ⅲ(セキュリティ) ● データサイエンス研究演習Ⅰ(画像診断)(事例研究)
 - データサイエンス研究演習Ⅱ(医療データ解析)(事例研究) ● データサイエンス研究演習Ⅲ(ヘルスデータ解析)
 - 多次元データビジュアライゼーション ● 計算論的神経科学 ● 応用生物統計学 ● データサイエンス概論
 - 医用画像解析入門(医用画像解析の基本と臨床応用) ● データサイエンス特別招聘講義 ● AIヘルスイノベーションと起業
 - 産学連携講座

公衆衛生学・グローバルヘルス 授業科目 クリニカル・トランスレーショナルサイエンス 授業科目 取得学位:修士(公衆衛生学)

- 基礎教育科目**
- 基礎疫学 ● 基礎生物統計学 ● 産業環境保健学概論(環境保健・産業保健) ● 健康行動科学概論 ● 医療保健福祉法・政策概論
- 専門教育科目**
- 臨床疫学 ● 臨床試験概論 ● 疫学研究デザイン演習 ● 応用生物統計学 ● 疫学研究データ管理学 ● 医療情報学
 - 臨床遺伝学概論 ● 遺伝サービス情報学 ● データ解析演習 ● 医療情報学演習 ● 公共政策学 ● 医療経済・経営学
 - 医療管理・安全学 ● グローバルヘルス概論 ● グローバルヘルス演習(フィールドワーク) ● 国際保健学 ● 国際感染症学
 - グローバルヘルスセミナー ● 国際母子保健学 ● 国際老年政策学 ● ヘルスポモーション ● ヘルスコミュニケーション ● 精神保健学
 - 医療カウンセリング概論 ● 健康行動科学演習 ● 環境保健学 ● 産業保健学 ● 産業保健関連法規 ● 産業保健学演習

ヘルスコミュニケーション 授業科目 取得学位:修士(公衆衛生学)

- 基礎教育科目**
- 医療通訳概論 ● 基礎医科学概論Ⅰ(生化学・生理学) ● 基礎医科学概論Ⅱ(人体機能構造学) ● 医学と社会医療Ⅰ(医療倫理学)
 - 医科学研究方法論Ⅰ(医学研究デザイン・演習) ● 医療保健福祉法・政策概論 ● 健康行動科学概論
- 専門教育科目**
- 臨床医学概論Ⅰ(内科系分野) ● 医療コミュニケーション ● 健康と文化・社会 ● 国際感染症学 ● 医療カウンセリング概論
 - がん遺伝子 ● 医療通訳演習 ● 臨床医学概論Ⅱ(外科系分野) ● 感染症の基礎と臨床 ● メタボリックシンドロームの基礎と臨床
 - 免疫の仕組みと疾患 ● 検査医学と病理 ● 医療通訳病院実習 ● 大学院セミナー





大学院 | Graduate School

スポーツ健康科学研究科

本研究科は、私立大学における日本初の体育系大学院として開設されました(1971年)。現在は、「スポーツ科学」「スポーツ社会科学」「健康科学」の体系的理解と、その応用を通じた深化と統合を目指しています。博士前期課程(定員61名)においては、これらの体系的な理解とそれに基づく研究により、スポーツ健康科学研究の土台

を築くとともに、広く社会において活躍できる課題発見力、問題解決力を備えた人材を育成します。博士後期課程(定員10名)においては、スポーツ科学、スポーツ社会学、健康科学の3つの学問領域の研究を先鋭化・深化させ、これらの有機的な統合によるスポーツ健康科学の完成を目指し、優秀な博士の養成に努めています。



スポーツ健康科学研究科

スポーツの科学的基礎および 社会科学的価値とヘルスプロモーションの追究

順天堂大学では昭和46(1971)年、私立大学の体育系大学院として日本初の体育学研究科を開設しました。その後、体育学部をスポーツ健康科学部に改組したことに伴い、大学院もスポーツ健康科学研究科と名称変更しました。

さらに平成12(2000)年には、博士課程設置が認可されました。現在、大学院は定員61名の博士前期(修士)課程と、定員10名の博士後期(博士)課程で構成されています。

平成18(2006)年から社会人のリカレント教育を目的として、博士前期(修士)課程【夜間クラス】を東京本郷・お茶の水キャンパスにおいても開講しました。医学研究科、医療看護学研究科との連携を図り、健康総合大学院大学としての特性を生かしたスポーツ健康科学の専門家を養成しています。

本研究科は、本学の学是「仁」と「不断前進」の理念のもと、スポーツと健康の医科学研究を行い、人々の健康で文化的な生活形成に貢献できる実践的かつ創造的な人材を育成することを目的としています。スポーツ健康科学部の3学科に対応する3つの研究領域、即ち「スポーツ科学」「スポーツ社会科学」「健康科学」が大きな柱となっています。

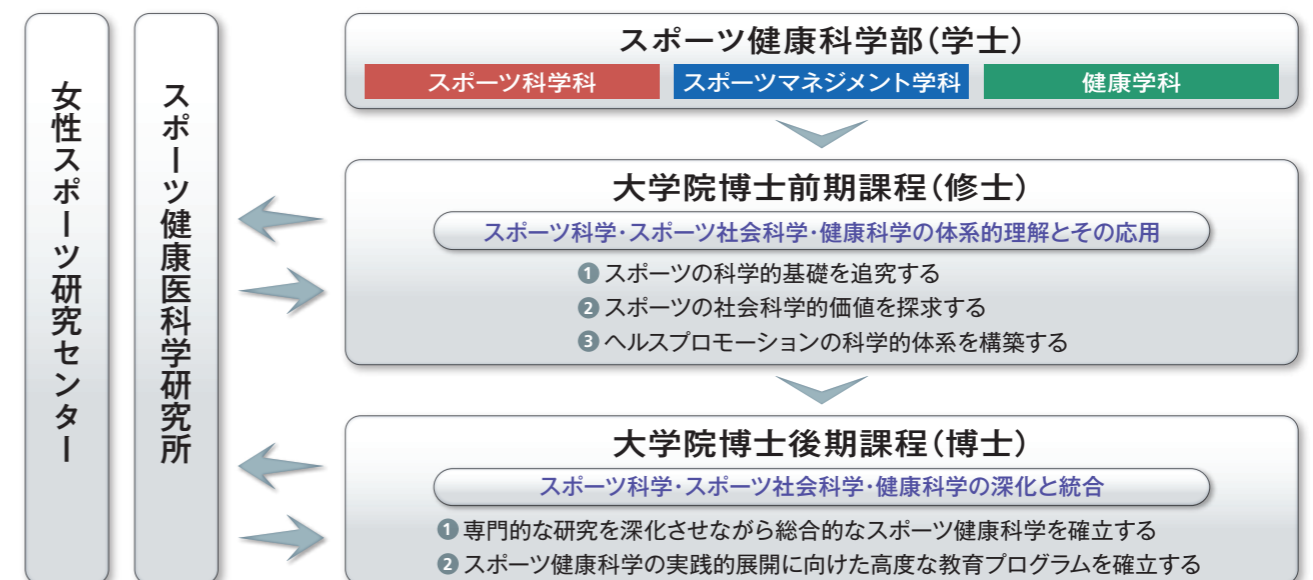
「スポーツ科学」では、国際レベルの競技から一般の人々が気軽に参加できる楽しいスポーツや健康のためのスポーツまで、あらゆるスポーツを対象に、従来の体育学研究の成果と方法論を生かしつつ、その特性や指導の基礎となる科学的原理を追究します。

「スポーツ社会科学」では、スポーツビジネスやスポーツマスコミなど、スポーツと社会に大きな影響力を持つ社会事象を対象に、社会学および経営学を基礎に、コミュニケーション論、組織開発論などの研究成果やその社会科学研究方法の一つである社会調査法を活用して、スポーツの社会科学的価値の本質理解と文化的・経済的効用を探究します。

「健康科学」では、健康な人、障害のある人など、様々な健康水準にあるあらゆる年齢層の人々の主体的な健康の保持増進に関わる生活現象を対象に、生涯を通しての健康的なライフスタイルの形成と快適環境の形成とを意図するヘルスプロモーションの推進と体系的な方法論を確立します。

博士前期課程においては、スポーツの科学的基礎、社会科学的価値並びにヘルスプロモーションの考究に関わる学習と研究を通して、その成果を人々の健康や体力の維持・向上およびスポーツの社会的発展に体系的に応用できる実践的・理論的根拠を身につけた人材を育成することを目的としています。

博士後期課程においては、スポーツと健康の科学に関する知の修得と創造に貢献する研究と教育を通して、独創的かつ先端的な研究を独立して行うことができ、さらに単なる専門分化にとどまることなくその成果をスポーツ健康科学の発展に応用し、より高度な教育プログラムの開発ができる高度な専門家・指導者を育成することを目的としています。





医療看護学研究科

高度な看護実践能力および教育・研究能力を身に付け 国内外の人々の健康に寄与できる看護職者を育成

健康に課題を持つ人の支援や病気を持つ人に質の高い看護ケアを提供するためには、常に新しい知見や諸理論を学び続ける必要があります。研究成果を活用して保健・医療・福祉環境の変化に斬新的・創造的に対応できる看護実践能力を養い、国内および国外の人々の健康に寄与することも大切です。

日々変貌する保健・医療・福祉の場では、科学的根拠に基づいた高度な看護実践能力を発揮する必要性が求められています。また、看護学は、健康を希求する人々に貢献する実践科学として、新たな理論や方法論を開発し発展させる必要があります。さらに、看護職者は対人関係を基盤として成り立つ職業であり、看護する人とされる人が共に学び成長するために、豊かな学識と人間性を生涯にわたり涵養することも重要です。

このような人々のヘルスケアニーズや看護学の学問的発展に応えるために順天堂大学大学院医療看護学研究科では、学是である「仁」の精神に基づき、高度な実践能力を持つ看護専門職者および医療看護学のあり方を探求する教育者・研究者を育成し、国内外の人々の健康に寄与することを目指しています。

本研究科では、医学研究科およびスポーツ健康科学研究科と連携し、健康総合大学としての強みを生かし学際的な視点から看護学を探究できる教育を行っています。また、社会人が仕事をしながら学べるように昼夜開講とし、本研究科で開講している特定科目を履修する科目等履修生も受け入れ、看護職者として継続的にキャリア発達ができるよう支援しています。

大学院 | Graduate School

医療看護学研究科

医療看護学研究科は、多様な価値観を持つ様々な健康レベルにある人々の幸福の追求とQOLの向上を支援することができる、高度な看護実践能力を有する看護専門職者および教育・研究者の育成を目指しています。具体的には、生涯にわたる質の高い看護実践能力、教育能力、

研究能力を培い、国内外を問わず多様な場で社会貢献できる看護職者の育成を目指しています。さらに、健康を幅広く捉えた「健康総合大学」として発展してきた本学・大学院の特徴を生かし、医学研究科やスポーツ健康科学研究科と連携した教育を行っています。





大学院 | Graduate School

保健医療学研究科

令和5年度開設 ※2022年8月31日文部科学省設置認可

本学は学是「仁」の精神を基に、「不断前進」を教育研究の理念とし、他者を思いやり理解する心・感性を持ち、現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力を続ける人材を育成していくことを目指しています。

保健医療学研究科では、理学療法学・診療放射線学における学識をさらに発展させ、高い倫理観をもって直面する問題に対して科学的視点を持ちながら客観的に分析する能力、および高度な専門性や研究能力・教育能力を持ち、社会に貢献できる高度専門職業人および教育者・研究者を育成します。



保健医療学研究科

近年の高齢化の進展や疾病構造の変化、質の高い医療を求める国民の意識の変化等に伴い、理学療法学や診療放射線学に関する高度な専門性や、幅広い知識と技術を持ち、対象者へ最適な保健医療福祉サービスを提供できる能力を持つ人材の養成・確保が急務となっています。

保健医療学研究科には理学療法学専攻と診療放射線学専攻の2つの専攻があります。本研究科では、保健医療学部の理学療法学、および診療放射線学における学識をさらに発展させ、それぞれの学問分野に直面する問題に対して科学的視点を持ちながら客観的に分析する能力、および人体の機能・構造を多面的に理解し、理学療法学や診療放射線学に関する研究に高い倫理観をもって取り組み遂行する研究能力、科学的根拠に裏付けられた高度な理学療法や診療放射線技術を実践でき、研究・教育活動を通じて社会に貢献できる能力を有する高度専門職業人および教育・研究者の育成を目的としています。

本研究科の教育課程は、教育目的・目標を達成するために『共通科目』『専門基礎科目』『専門科目』および『演習・研究指導』に区分し、それぞれの教育が有機的に連動し、各専攻における専門性の高い研究を実施する上での基礎から応用、応用から発展に向けて段階的に関連性を持ち、体系的に学修できるように編成しています。

理学療法学専攻には、「神経理学療法学」、「運動機能制御理学療法学」、「運動器・スポーツ理学療法学」、「内部機能障害理学療法学」の4つの領域、診療放射線学専攻においては、「医療画像技術学」、「診療放射線学」、「生体量子科学」の3つの領域を置き、領域ごとに担当する指導教員により、専門領域における講義・演習を通じて高度な専門的知識の修得を図るとともに、各自の研究テーマに沿った指導を行います。



研究領域を超え自由に活発な交流を生む新研究棟

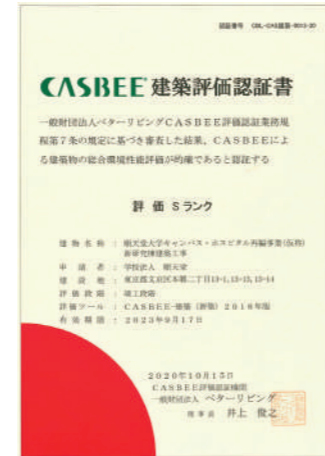
創立180周年（2018年）に、国際レベルで社会貢献できる人材育成を目的に、基礎・臨床研究の領域を越えて活発な交流が出来るオープンな研究設備・施設に加え、講堂や会議室には国際化時代にふさわしい最新のAV・ICT装置を完備した教育・研究棟が完成しました。

4階から12階にわたる研究フロアは、基礎系と臨床系の研究室が同居する、見通しのよいオープラボとなっており、各フロアは中央階段で結ばれているため、9つのフロアが一体感をもって研究に臨める環境になっています。

この建物は環境に配慮した先駆的な建物に与えられる国際的な環境評価・認証システムである米国環境評価指標（LEED-NC）の最高位認証「プラチナ」を取得ならびにCASBEE（日本の第三者機関が建築物の環境性能を評価する制度）Sランク（最高位認証）取得した。

大学研究施設において

最高位のダブル認証を取得する国内初めての施設となります。



CASBEE評価証明書



新研究棟（7号館）

明治時代の順天堂醫院旧本館のファサードを現代に再現したデザインとなっている



7号館（歴史ファサード）



小川講堂（順天堂創立175周年記念小川秀興講堂）



有山登メモリアルホール



カンファレンスルーム・培養室



共同研究室



展示ギャラリー



食堂

キャンパス・附属病院へのアクセス



本部/本郷・お茶の水キャンパス

医学部
医学研究科(修士・博士課程)
国際教養学部
保健医療学部
保健医療学研究科(博士前期課程) 令和5年度開設 ※2022年8月31日文科科学省設置認可

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1
TEL.03-3813-3111(代表)



さくらキャンパス ※医学部の1年次はさくらキャンパスで学びます。

スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学研究科(博士前期課程・博士後期課程)

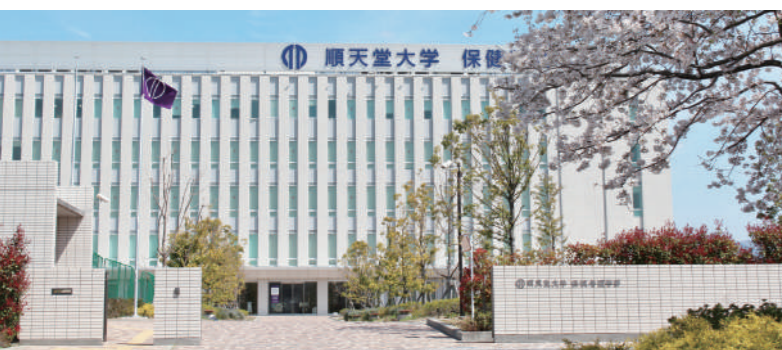
〒270-1695 千葉県印西市平賀学園台1-1
TEL.0476-98-1001(代表)



浦安キャンパス

医療看護学部
医療看護学研究科(博士前期課程・博士後期課程)

〒279-0023 千葉県浦安市高洲2-5-1
TEL.047-355-3111(代表)



三島キャンパス

保健看護学部
医療看護学研究科(博士前期課程・博士後期課程) (サテライトキャンパス)

〒411-8787 静岡県三島市大宮町3-7-33
TEL.055-991-3111(代表)



浦安・日の出キャンパス

医療科学部
健康データサイエンス学部 令和5年度開設 ※2022年8月31日文科科学省設置認可

〒279-0013 千葉県浦安市日の出6-8-1
047-354-3311(代表)



順天堂医院

明治初期の開院以来、常に最先端の知識と技術で日本の医学界をリードしてきた国内屈指の総合病院。外来患者数は1日平均約4,500人にのぼり、その診療圏は広く東南アジア、欧米にもおよんでいます。

病床数 1051床
東京都文京区本郷3-1-3 TEL.03-3813-3111(代表)



順天堂越谷病院

昭和42(1967)年設立の(財)順天堂精神医学研究所の附属病院が平成元(1989)年に医学部附属病院へ改組された精神神経科病院。順天堂医院との密接な連携のもと、精神医学の一貫した卒前・卒後教育を行っています。

病床数 226床
埼玉県越谷市袋山560 TEL.048-975-0321(代表)



静岡病院

昭和42(1967)年、静岡県東部エリアの地域医療中核病院として開院。救命救急センターを重点診療分野とするほか、災害医学研究所との共同研究体制の強化を進めています。平成16(2004)年にドクターヘリも導入され地域救急医療へ絶大な貢献をしています。

病床数 603床
静岡県伊豆の国市長岡1129 TEL.055-948-3111(代表)



順天堂東京江東高齢者医療センター

平成14(2002)年、東京都が高齢者に向けた『福祉・医療の複合施設』として誕生させた医療センターで、平成16(2004)年度以降は、公設民営方式により学校法人順天堂が運営をしています。

病床数 404床
東京都江東区新砂3-3-20 TEL.03-5632-3111(代表)



浦安病院

昭和59(1984)年、千葉県浦安市に開院した附属病院。平成7(1995)年からは浦安市・市川市における高規格救急車の導入による救急医療も引き受けている地域の中核病院です。環境医学研究所も併設され、研究体制の強化を進めています。

病床数 785床
千葉県浦安市富岡2-1-1 TEL.047-353-3111(代表)



練馬病院

東京都練馬区の強い要請で、平成17(2005)年7月に開院した総合病院で、地域医療機関とも十分な連携を図り、災害時の拠点施設としての機能(免震構造、震度8にも対応)をそなえています。院内感染予防にも国内最高レベルの体制を整備しています。

病床数 490床
東京都練馬区高野台3-1-10 TEL.03-5923-3111(代表)

順天堂大学の概要

DATA 編

※ 2021年度事業報告書を転用

PROFILE OF JUNTENDO UNIVERSITY

順天堂大学は、教育機関として社会に対する説明責任を果たすとともに、教育・研究・医療活動の一層の充実と質の向上を図るため、学校教育法施行規則等の一部を改正する省令(平成22年文部科学省令第15号)に基づき、教育や研究にかかわる主要なデータを、当該DATA編のとおり公開しています。



順天堂大学の概要

DATA 編

PROFILE OF JUNTENDO UNIVERSITY 2021



CONTENTS

順天堂大学5キャンパス6附属病院群	53		
順天堂の沿革	54		
1 法人の設置する学校	57	14 卒業後の進路状況	74
2 医学部附属病院	58	15 教育研究活動の主な概要	75
3 研究科・学部一覧	58	16 臨床活動の主な概要	78
4 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター	59	17 国際交流活動	83
5 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等	59	18 文部科学省等採択事業の概要	86
6 役員	61	19 教育研究施設・設備の充実	87
7 評議員	61	20 大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画について	90
8 教職員数	62	21 スポーツ分野での活躍	92
9 研究費・補助金	63	22 プレスリリース	95
10 寄付講座・共同研究講座・産学協同研究講座	66	23 中期的な計画の進捗・達成状況及び令和4年度事業計画策定	102
11 授業料等学生が納付する金額	70	24 令和3年度事業の収支及び財務状況の概要	103
12 学位記授与数	71	25 財務状況の推移	106
13 学部卒業生数	73		

順天堂大学 5キャンパス 6附属病院群

本郷・お茶の水キャンパス
大学・大学院・法人本部
医学部
国際教養学部
保健医療学部
3大学院研究科
順天堂医院(医院の名を継承しています)

練馬病院

順天堂越谷病院

さくらキャンパス
スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学研究科

浦安病院

浦安キャンパス
医療看護学部
医療看護学研究科

三島キャンパス
保健看護学部
医療看護学研究科

静岡病院

**順天堂東京江東
高齢者医療センター**

浦安・日の出キャンパス
医療科学部(令和4年4月開学)

<https://www.juntendo.ac.jp/>

2022年 順天堂創立184周年

開塾：1838年(天保9年)

順天堂の沿革

順天堂は、江戸後期の天保9(1838)年、今から184年前に
学祖・佐藤泰然が江戸・薬研堀に設立したオランダ医学塾
(和田塾)に端を発し、いまに繋がる日本最古の西洋医学塾です。

幕末、攘夷・洋学排斥の動きもあり、江戸より下総国佐倉に
移った順天堂には、全国各地より百数十名を超える俊英が参
集し、「日新の医学、佐倉の林中より生ず」と今に語り継がれ
るが如き、西洋医学研究・教育、そして臨床医学実践の場とな
りました。

順天堂第二代堂主・佐藤尚中は、明治2(1869)年、明治新
政府の要請を受け、佐倉より多数の門下生を率いて上京し、
宮内省「大医典」(明治天皇の主治医団長)・文部省「大学大
博士」第一号を拝命し、大学東校(現 東京大学医学部の前身)
の初代校長として近代医学教育確立に尽力し、西洋医学教育
最高学府(東京帝国大学医学部)の礎を固めました。順天堂
堂主に帰任した佐藤尚中は佐藤進らと順天堂醫事研究会を
設立し、順天堂医院と醫事研究会を基盤に医師の育成を發展
させました。順天堂に学んだ者は医師開業試験を免除されま
した。済生学舎、済衆舎、博愛舎を始めとする多くの医学校の
設立を助け、その学生及び卒業生(野口英世ら)は順天堂で
臨床教育を受けました。これら医学校を母体として、その後
日本医科大学、東京医科大学、東京女子医科大学など多くの
大学が誕生していきます。

佐藤進は、明治2(1869)年、明治新政府発行の旅券第一号
をもってドイツに留学し、明治7(1874)年、アジア人として
最初のベルリン大学医学部卒業生、そして医学博士となりま
した。ドイツより帰国した佐藤進は、佐藤尚中と共に医師育
成を続け、明治8(1875)年10月に日本初の医学雑誌『順天堂
醫事雑誌(現在は欧文誌、Juntendo Medical Journal: JMJと
して)』を発刊し、近代医学情報を日本全国に発信しました。
第三代堂主となった佐藤進は、順天堂医院長在任中に陸軍本
病院院長や日清・日露両戦役の陸軍軍医総監など国家枢要の職

を兼任して国難に対峙しました。明治18(1885)年、順天堂
医院長在任中に、東京大学医学部附属第一医院及び第二
医院の院長、また大韓医院(現ソウル大学医学部)を設立し、
初代院長・医学部長をも兼任するなど、日本そしてアジアにお
ける西洋医学教育普及のリーダーとなりました。

第四代堂主(初代理事長)・佐藤達次郎は、順天堂醫事研究会
を母体に医学専門学校を開設し、順天堂医科大学へと發展さ
せ、昭和26(1951)年、体育学部(現在のスポーツ健康科学部)
を東俊郎を初代学部長として併設し順天堂大学と致しました。
順天堂の院長を続けつつ東京医科大学創立に尽力し、初代
学長、次いで理事長として、その發展を支えました。

第五代堂主(理事長)・有山登は、大学・病院の施設設備を
拡充・整備させ、昭和34(1959)年、大学院医学研究科・博士
課程を開設し、昭和46(1971)年、大学院体育学研究科・修士
課程(現在の大学院スポーツ健康科学研究科・博士前期課程)
を開設しました。更に、昭和42(1967)年、順天堂第2番目の
医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属伊豆長岡病院
(94床)(現在の静岡病院)」を開院し、順天堂大学の地方への
更なる發展を進めました。

第六代堂主(理事長)・東健彦は、昭和59(1984)年、順天堂
第3番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属浦
安病院(250床)」を開院しました。昭和61(1986)年、厳しい
運営事情の中、順天堂創立150周年記念事業として、①医学
部附属順天堂医院本館(新1号館)の建設、②体育学部新キャン
パス移転、③順天堂高等看護専門学校を改組し、医療短期
大学を設立し、本郷より浦安市への移転を計画しました。

第七代堂主(理事長)・懸田克躬は、昭和63(1988)年、体育
学部を習志野キャンパスからさくらキャンパス(現在の印西
市)へ移転し、平成元(1989)年、順天堂医療短期大学を浦安
キャンパスに開学しました。更に、財団法人順天堂精神医学
研究所附属順天堂越谷病院を順天堂第4番目の医学部附属



順天堂の「順天」は、中国の古典『易経』にある「順天応人」(天の意志に順い、人々の期待に応える)と、孟子の言葉の「順天者存。逆天者亡」(自然の摂理に順うものは存続して栄え、天の理法に逆らうものは亡びる)に由来します。



- A法人章** 仁義礼智信…の“仁”をデザイン化したとされ、明治初期の順天堂医院診察券や薬袋、佐藤尚中の肖像や医専の校章に使用されています。
- B法人章** 佐藤の“サ”又はA法人章を大学の“大”へデザイン化したとされています。(1957(昭和32)年制定)



平成21年6月に制定された「ロゴマーク」は、本学の式典旗、発行する印刷物、ホームページ、文具類等の物品、本学公認の学生サークルの団旗等に使用されます。

順天堂の沿革

病院として「順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院(221床)」に改組しました。

第八代堂主(理事長)・石井昌三は、平成5(1993)年、体育学部をスポーツ健康科学部へと改組しました。そして順天堂医院本館(1号館)を完成させ、これにより順天堂創立150周年記念事業が完結されました。この間、静岡病院の拡張・増床など、医学部附属病院群としての地域医療機能充実を図りました。

順天堂の看護師養成の歴史も古く、明治29(1896)年、佐藤進は杉本かね[本邦初の看護取締(総婦長)]を登用し、看護婦養成所を開設し、歴代堂主・理事長は講習所、看護学院、准看護婦学院、医学部附属高等看護婦学校、高等看護学校、看護専門学校、医療短期大学(3年制)へと組織体制の転換を進めつつ看護教育を発展させてきました。

そして、第九代堂主(理事長)・小川秀興は、平成12(2000)年、学長就任を機として、当時の石井理事長の了承を得て、大学運営の抜本的改革を果すべく、全職域横断的“学長室委員会(現大学運営連絡協議会:運連協)”を設立し、“大学改革20のプロジェクト”を掲げ、次々と斬新的改革を提案・説明・実行していきました。平成16(2004)年、理事長就任後、この委員会はプロジェクトをその時代と状況に応じて変えつつ、大学運営連絡協議会と名前を改め、現在も継続しております。その結果として、

- 1.平成12(2000)年、大学院スポーツ健康科学研究科・博士課程が開設されました。
- 2.平成16(2004)年、医療短期大学(3年制)を廃し、順天堂大学第3の学部として4年制の医療看護学部(千葉県浦安市)が開設、拡充されました。
- 3.平成14(2002)年6月、東京都江東高齢者医療センターが開院し、平成16(2004)年4月より東京都から順天堂に運営移管され、順天堂第5番目の医学部附属病院「順天堂東京江東高齢者医療センター」となりました。
- 4.平成19(2007)年、医療看護学部に大学院医療看護学研究科・修士課程が開設されました。
- 5.平成22(2010)年、第4の学部として保健看護学部(静岡県三島市)が開設されました。
- 6.平成25(2013)年には、海外からの留学生や国内の医学士以外の研究者の為に大学院医学研究科・修士課程が開設されました。
- 7.練馬区における病院誘致計画を進め、多数の応募医療機関の中から病院運営者として選定され、平成17(2005)年、順天堂第6番目の医学部附属病院「練馬病院」が開院され

ました。

- 8.大学内に文部科学省(文部省)などの認可・助成を受け、最先端の教育研究基盤として、以下のセンター・研究所が設立されました。

- ①平成10(1998)年:アトピー疾患研究センター
- ②平成11(1999)年:疾患モデル研究センター
- ③平成12(2000)年:老人性疾患病態・治療研究センター
- ④平成14(2002)年:環境医学研究所
- ⑤平成15(2003)年:感染制御科学研究センター
- ⑥平成17(2005)年:スポーツ健康医科学研究所
- ⑦平成19(2007)年:スポーツロジックセンター
- ⑧平成20(2008)年:国際交流センター
- ⑨平成25(2013)年:ゲノム・再生医療センター
- ⑩平成25(2013)年:先導的がん医療開発研究センター
- ⑪平成26(2014)年:女性スポーツ研究センター
- ⑫平成27(2015)年:静岡災害医学研究センター
- ⑬平成28(2016)年:難病の診断と治療研究センター
- ⑭平成29(2017)年:革新的医療技術開発研究センター(オープンイノベーション「GAUDI」)
- ⑮令和元(2019)年:順天堂かゆみ研究センター
- ⑯令和3(2021)年:ジェロントロジー研究センター
- ⑰令和3(2021)年:脳血管内治療学研究センター
- ⑱令和3(2021)年:AIインキュベーションファーム

- 9.平成17(2005)年度から開設した寄付講座、平成28(2016)年度から開設した共同研究講座及び令和3(2021)年度から開設した産学協同研究講座は年々増加し、令和3(2021)年度には共同研究講座47件、寄付講座13件、産学協同研究講座1件の計61講座が設置されています。
- 10.平成27(2015)年、第5の学部として国際教養学部が開設され、国際総合大学・大学院大学としての基盤を固めました。
- 11.平成31(2019)年、第6の学部となる保健医療学部理学療法学科・診療放射線学科が開設されました。
- 12.令和4(2022)年、千葉県浦安市日の出地区の校地に「浦安・日の出キャンパス」が開設され、第7の学部となる医療科学部臨床検査学科・臨床工学科が開設され、第8の学部として健康データサイエンス学部(仮称)の設置が計画されています。

順天堂は、附属6病院合計で総病床数3,533床を有し、日本最大規模の強固なネットワークを形成しています。先進医療、地域医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、がん治療、新規医薬品・医療材料・機器の開発など、国民の

医療ニーズに幅広く対応する高い専門性を発揮し、総合的に秀でた医療機関として発展するとともに、令和元(2019)年7月に外国人患者の急増に対応して国際診療部を設置するなど国際レベルでの病診・病病連携を強めております。

現在、国際連携大学・研究所としては、北京大学、第四軍医大学(西安)、中国医科大学、中日友好医院(北京)、タイ国立皮膚病学研究所(バンコク)、ベトナム軍医大学、メイヨークリニック、MDアンダーソンがんセンター、シャリテ医科(ベルリン)大学などがあり、国際交流協定校も約76校に達し、海外からの留学生・研究生は増え続けています。



本学は「不断前進」の理念のもとに学是「仁」を大切にしながら、出身校・国籍・性別の差別のない“三無主義”を学風として掲げ、7学部3研究科6附属病院からなる「健康総合大学・大学院大学」として教育・研究・医療そしてリベラル・アーツを通じて国際レベルでの社会貢献と人材育成を進めております。

2022年5月15日(創立記念日)
学校法人 順天堂
理事長 小川 秀興

1 法人の設置する学校

研究科・学部名称		所在地	沿革
大学院	医学研究科	修士課程	平成24.11.大学院医学研究科(修士課程)設置認可。 平成25. 4. 同 開設。
		博士課程	昭和34. 3.大学院医学研究科(博士課程)設置認可。 昭和34. 4. 同 開設。
	スポーツ健康科学研究科	博士前期課程	昭和46. 3.大学院体育学研究科(修士課程)設置認可。 昭和46. 4. 同 開設。 平成 9. 4.大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程に改称。
		博士後期課程	平成11.12.大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程設置認可。 平成12. 4. 同 開設。
	医療看護学研究科	博士前期課程	平成18.11.大学院医療看護学研究科(修士課程)設置認可。 平成19. 4. 同 開設。 平成26. 4. 同 修士課程を博士前期課程に名称変更。
		博士後期課程	平成25.10.大学院医療看護学研究科(博士後期課程)設置認可。 平成26. 4. 同 開設。
医学部 医学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	天保9年(1838年)西洋医学塾開塾。以降、江戸(薬研堀)から佐倉(千葉)、東京下谷練堀町、本郷湯島の順天堂醫院にて多くの西洋医学者を育成。 昭和18.12.(財)順天堂医学専門学校設立認可。 昭和21. 5.(財)順天堂医科大学設置認可。 昭和26. 2.(学)順天堂医科大学認可。 昭和26. 6.順天堂大学体育学部Ⅱ類(医学進学コース)開設。 昭和27. 2.新制順天堂大学医学部設置認可。 昭和27. 4.順天堂大学医学部開設。	
スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科 スポーツ科学科※ スポーツマネジメント学科※ 健康学科※	千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地	昭和26. 6.体育学部Ⅰ類(体育学専攻、健康教育学専攻)開設。 昭和46. 1.体育学部(体育学科、健康学科)設置認可。 平成 4.12.スポーツ健康科学部設置認可。 平成 5. 4.体育学部をスポーツ健康科学部へ改組。スポーツ科学科、スポーツマネジメント学科、健康学科設置。 令和 2. 4.スポーツ健康科学科設置届出。 令和 3. 4.スポーツ健康科学科開設。 ※スポーツ科学科、スポーツマネジメント学科、健康科学学生募集停止	
学 部		(看護教育沿革) 明治29.10.順天堂医院看護婦養成所開設。 昭和29. 4.順天堂大学医学部附属順天堂准看護婦学院設置。 昭和36. 3.同高等看護婦学校開設。 昭和38. 4.順天堂高等看護学校へ改組。 昭和51.11.順天堂看護専門学校へ名称変更。	
医療看護学部 看護学科	千葉県浦安市高洲2丁目5番1号	平成元. 4.順天堂医療短期大学開設。 平成15.11.医療看護学部設置認可。 平成16. 4.順天堂医療短期大学を順天堂大学医療看護学部へ改組。 平成19. 6.同短期大学廃止。	
保健看護学部 看護学科	静岡県三島市大宮町3丁目7番33号	平成21. 6.保健看護学部設置届出。 平成21. 9.学部設置に伴う収容定員関係学則変更認可。 平成21.10.保健師看護師学校指定。 平成22. 4.保健看護学部開設。	
国際教養学部 国際教養学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	平成26.12.国際教養学部設置認可。 平成27. 4. 同 開設。	
保健医療学部 理学療法学科 診療放射線学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	平成30. 8.保健医療学部理学療法学科・診療放射線学科設置認可。 平成31. 4. 同 開設。	

2 医学部附属病院

病院名称	開設年月日	病床数	所在地
順天堂医院	明治 6. 2. 2	1,051床	東京都文京区本郷3丁目1番3号
静岡病院	昭和42. 4. 1	577床	静岡県伊豆の国市長岡1129番地
浦安病院	昭和59. 5.15	785床	千葉県浦安市富岡2丁目1番1号
順天堂越谷病院	平成元. 4. 1	226床	埼玉県越谷市袋山560番地
順天堂東京江東高齢者医療センター	平成14. 6. 3	404床	東京都江東区新砂3丁目3番20号
練馬病院	平成17. 7. 1	490床	東京都練馬区高野台3丁目1番10号
合 計		3,533床	

※病床数は令和4年3月31日現在の稼働数

3 研究科・学部一覧

研究科・学部・学科名称	取得学位	研究科長・学部長・学科長	
大学院	医学研究科	修士(医科学) 博士(医学)	服部 信 孝
	スポーツ健康科学研究科	修士(スポーツ健康科学) 博士()	吉村 雅 文
	医療看護学研究科	修士(看護学) 博士()	植木 純
学 部	医学部 医学科	学士(医学)	服部 信 孝
	スポーツ健康科学部	学士(学位名は下記のとおり)	吉村 雅 文
	スポーツ健康科学科	学士(スポーツ健康科学)	—
	スポーツ科学科※	学士(スポーツ科学)	中村 充
	スポーツマネジメント学科※	学士(スポーツマネジメント学)	廣津 信 義
	健康学科※	学士(健康学)	久保原 禅
	医療看護学部 看護学科	学士(看護学)	植木 純
	保健看護学部 看護学科	学士(看護学)	大熊 泰 之
	国際教養学部 国際教養学科	学士(国際教養学)	加藤 洋 一
	保健医療学部	学士(学位名は下記のとおり)	代田 浩 之
理学療法学科	学士(理学療法学)	藤原 俊 之	
診療放射線学科	学士(放射線技術学)	京 極 伸 介	

※スポーツ科学科、スポーツマネジメント学科、健康学科は令和3年4月学生募集停止

4 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター

研究センター名称	センター長	開設時の文部科学省補助事業	開設年月日	初代センター長
アトピー疾患研究センター	奥村 康	学術フロンティア推進事業	平成10.11.19	小川 秀興
疾患モデル研究センター	服部 信孝	学術フロンティア推進事業	平成11. 4. 1	小川 秀興
老人性疾患病態・治療研究センター	内山 安男	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成12. 3.21	水野 美邦
環境医学研究所	高森 建二	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成14. 9.19	小川 秀興
研究基盤センター	服部 信孝	—	平成15.10. 1	木南 英紀
スポーツ健康医学研究所	内藤 久士	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成17.10. 1	小川 秀興
スポーツロジセンター	河盛 隆造	ハイテク・リサーチ・センター整備事業	平成19. 4.24	小川 秀興
国際交流センター	小川 秀興	—	平成20.11. 1	小川 秀興
ゲノム・再生医療センター	新井 一	戦略的研究基盤形成支援事業	平成25.10. 1	新井 一
先導的がん医療開発研究センター	服部 信孝	研究拠点形成費等補助金	平成25.11. 1	新井 一
女性スポーツ研究センター	小笠原悦子	戦略的研究基盤形成支援事業	平成26. 8. 1	小笠原悦子
静岡災害医学研究センター	佐藤 浩一	戦略的研究基盤形成支援事業	平成27.10. 1	佐藤 浩一
難病の診断と治療研究センター	岡崎 康司	—	平成28. 4. 1	新井 一
ジェロントロジー研究センター	佐藤 信紘	—	令和 3. 1. 1	佐藤 信紘
脳血管内治療学研究所	大石 英則	—	令和 3. 6. 1	大石 英則
AIインキュベーションファーム	服部 信孝	—	令和 3.12. 1	服部 信孝

(単位:名)

研究科・学部・学科名称	修業年限	入学定員	入学者※1	収容定員	在籍者※2・3							
					1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次		
医学部 医学科	6年	136	136	818	824	136 (136)	135 (135)	141 (140)	141 (140)	135 (137)	136 (130)	
スポーツ健康科学部	4年	600	608	1,830	1,827	607 (600)	416 (410)	403 (410)	401 (410)	—	—	
スポーツ健康科学科	4年	600	608	600	607	607 (600)	—	—	—	—	—	
スポーツ科学科※4	4年	—	—	750	742	—	253 (250)	246 (250)	243 (250)	—	—	
スポーツマネジメント学科※4	4年	—	—	240	238	—	81 (80)	78 (80)	79 (80)	—	—	
健康学科※4	4年	—	—	240	240	—	82 (80)	79 (80)	79 (80)	—	—	
医療看護学部 看護学科	4年	200	201	800	799	204 (200)	201 (200)	198 (200)	196 (200)	—	—	
保健看護学部 看護学科	4年	120	126	480	491	126 (120)	123 (120)	124 (120)	118 (120)	—	—	
国際教養学部 国際教養学科	4年	240	243	840	832	242 (240)	237 (240)	234 (240)	119 (120)	—	—	
保健医療学部	4年	240	242	720	724	241 (240)	242 (240)	241 (240)	—	—	—	
理学療法学科	4年	120	121	360	363	121 (120)	122 (120)	120 (120)	—	—	—	
診療放射線学科	4年	120	121	360	361	120 (120)	120 (120)	121 (120)	—	—	—	
学部 計			1,536	1,556	5,488	5,497	1,556 (1,536)	1,354 (1,345)	1,341 (1,350)	975 (990)	135 (137)	136 (130)

※1 入学者欄は令和3年4月に入学した学生数

※2 在籍者欄は令和4年3月31日における学生数

※3 在籍者欄下段は、該当年次入学時の入学定員数

※4 スポーツ科学科、スポーツマネジメント学科、健康学科は令和3年4月学生募集停止

5 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等

(単位:名)

研究科・学部・学科名称	修業年限	入学定員	入学者※1	収容定員	在籍者※2・3							
					1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次		
大学院 医学研究科	修士課程	2年	60	77	100	141	78 (60)	63 (40)	—	—	—	—
	博士課程	4年	180	177	660	659	173 (180)	158 (180)	165 (160)	163 (140)	—	—
大学院 スポーツ健康科学研究科	博士前期課程	2年	61	63	122	121	61 (61)	60 (61)	—	—	—	—
	博士後期課程	3年	10	14	30	50	13 (10)	18 (10)	19 (10)	—	—	—
大学院 医療看護学研究科	博士前期課程	2年	25	27	50	51	27 (25)	24 (25)	—	—	—	—
	博士後期課程	3年	10	10	30	37	10 (10)	10 (10)	17 (10)	—	—	—
大学院 計			346	368	992	1,059	362 (346)	333 (326)	201 (180)	163 (140)	—	—

6 役員

区分	氏名	主な役職
理事長	小川 秀興	
	新井 一	学長
理事	木南 英紀	学長特別補佐
	服部 信孝	医学部長、大学院医学研究科長
	吉村 雅文	スポーツ健康科学部長、大学院スポーツ健康科学研究科長
	植木 純	医療看護学部長、大学院医療看護学研究科長
	大熊 泰之	保健看護学部長
	加藤 洋一	国際教養学部長
	代田 浩之	保健医療学部長
	高橋 和久	順天堂医院長
	佐藤 浩一	静岡病院長
	田中 裕	浦安病院長
	鈴木 利人	順天堂越谷病院長
	宮嶋 雅一	順天堂東京江東高齢者医療センター院長
	児島 邦明	練馬病院長
	宮野 武	練馬病院名誉院長
	高森 建二	大学院医学研究科環境医学研究所長
	佐藤 信紘	大学院医学研究科ジェロントロジー研究センター長
	天野 篤	大学院医学研究科教授
	内藤 久士	大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康医科学研究所長
	多田 宏	非常勤
	永田 良一	非常勤
監事	辛島 睦	非常勤
	濱本 英輔	非常勤

7 評議員

〈選任条項順に記載〉

児島 邦明	田中 裕	村上 晶	桑鶴 良平	坂本 一博	池田 志孝	清水 俊明
青木 和浩	鈴木 大地	和氣 秀文	ニヨンサバ フランソワ	細谷 芳三	小林 忠彦	岡田 綾
佐藤 潔	長岡 功	高森 建二	代田 浩之	中澤 真逸	澤木 啓祐	土屋 清子
小川 秀興	新井 一	服部 信孝	吉村 雅文	植木 純	大熊 泰之	加藤 洋一
高橋 和久	佐藤 浩一	多田 宏	佐藤 信紘	木南 英紀	宮野 武	鈴木 利人
宮嶋 雅一	天野 篤	丸木 親	奥村 康	岡田 隆夫	吉田 幸洋	小林 茂人
内藤 久士	稲富 恵子	岩淵 和久	宮川 政久	加納 實	永田 良一	幅下 貞美

(計 49名)

8 教職員数

(令和4年3月31日現在)

(1) 教員数

学長
1

(単位:名)

	教授	先任准教授	准教授	講師	助教	助手	常勤計	非常勤	計	
大学院	234	18	59	4	62	7	384	281	665	
(内訳)	医学研究科	203	14	58	4	60	345	210	555	
	スポーツ健康科学研究科	20	2	0	0	2	25	9	34	
	医療看護学研究科	11	2	1	0	0	14	62	76	
学部	45	122	354	25	426	436	1,408	2,911	4,319	
(内訳)	医学部	5	91	291	11	360	432	1,190	2,519	3,709
	スポーツ健康科学部	4	13	18	0	21	58	132	190	
	医療看護学部	0	5	21	2	26	54	66	120	
	保健看護学部	12	4	5	6	8	37	55	92	
	国際教養学部	11	4	11	3	3	32	112	144	
保健医療学部	13	5	8	3	8	37	27	64		
法人・総務局	4	0	0	0	0	0	5	0	5	
合計	283	140	414	29	488	443	1,797	3,192	4,989	

※上記内、併任教員数

教員数合計(本務・併任合計)

	教授	准教授	講師	助教	計
大学院本務教員 内学部併任教員	178	54	0	30	262
学部本務教員内 大学院併任教員	4	382	7	37	430

	教員数
大学院	1,095
学部	4,581

(2) 職員数

事務職	技術職	医療職	教務職	その他	計
793	17	4,921	35	63	5,829

教職員合計
10,819

〈参考:令和3年度臨床研修医受入数(括弧内は令和3年度新規受入数)〉

順天堂医院	静岡病院	浦安病院	練馬病院	計
85 (42)	53 (24)	85 (45)	70 (33)	293 (144)

9 研究費・補助金

(1) 補助金

① 文部科学省・(独)日本学術振興会:科学研究費助成事業

研究種目名	区分	採択件数(件)		直接経費(千円)		間接経費(千円)	
新学術領域研究 (研究領域提案型)	新規	0	8	0	93,600	0	28,080
	継続	8		93,600		28,080	
基盤研究(A)	新規	3	7	42,600	67,700	12,780	20,310
	継続	4		25,100		7,530	
基盤研究(B)	新規	18	47	78,100	174,000	23,430	52,200
	継続	29		95,900		28,770	
基盤研究(C)	新規	127	344	157,600	356,400	47,280	106,920
	継続	217		198,800		59,640	
若手研究	新規	52	207	77,800	214,600	23,340	64,380
	継続	155		136,800		41,040	
挑戦的研究(萌芽)	新規	5	11	12,800	22,500	3,840	6,750
	継続	6		9,700		2,910	
研究活動スタート支援	新規	19	29	22,600	32,900	6,780	9,870
	継続	10		10,300		3,090	
国際共同研究強化(A)	新規	1	1	12,000	12,000	3,600	3,600
	継続						
国際共同研究強化(B)	新規	0	6	0	21,200	0	6,360
	継続	6		21,200		6,360	
特別研究員奨励費	新規	2	9	1,800	8,155	300	1,906
	継続	7		6,355		1,606	
奨励研究	新規	3	3	1,410	1,410	0	0
	継続						
合計	新規	230	672	406,710	1,004,465	121,350	300,376
	継続	442		597,755		179,026	

② 文部科学省:科学技術人材育成費補助金

事業名	採択件数(件)	決定額(千円)
卓越研究員事業	1	13,999
合計	1	13,999

③ 文部科学省:大学改革推進等補助金

事業名	採択件数(件)	決定額(千円)
大学・大学院及び附属病院における人材養成機能強化事業 (基礎研究医養成活性化プログラム)	1	557
感染症医療人材養成事業	1	102,212
合計	2	102,769

④ 文部科学省:人工知能等社会実装研究拠点事業費補助金

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
統計エキスパート人材育成プロジェクト	1	3,850	1,150
合計	1	3,850	1,150

⑤ 厚生労働省:厚生労働科学研究費補助金、厚生労働行政推進調査事業費補助金

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
政策科学総合研究事業(臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業)	1	23,077	6,923
女性の健康の包括的支援政策研究事業	1	6,924	2,076
新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業	1	1,202,000	306,660
エイズ対策政策研究事業	1	9,539	2,861
地域医療基盤開発推進研究事業	3	5,771	1,729
労働安全衛生総合研究事業	1	2,424	726
合計	8	1,249,735	320,975

⑥ 厚生労働省:労災疾病臨床研究事業費補助金

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
労災疾病臨床研究事業費	1	10,000	3,000
合計	1	10,000	3,000

⑦ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
医療技術実用化総合促進事業	1	190,455	19,045
合計	1	190,455	19,045

(2) 委託費

① 厚生労働省

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
認定再生医療等委員会の審査の質向上事業	1	13,838	0
合計	1	13,838	0

② 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費等(千円)
次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業	1	40,000	12,000
創薬基盤推進研究事業	2	75,077	13,523
再生医療実用化研究事業	3	119,477	35,843
再生医療実現拠点ネットワークプログラム	3	59,870	17,961
革新的がん医療実用化研究事業	1	15,000	4,500
次世代がん医療創成研究事業	1	14,700	4,410
障害者対策総合研究開発事業	1	6,220	870
脳とこころの研究推進プログラム	2	121,500	36,450
難治性疾患実用化研究事業	2	55,386	16,615
免疫アレルギー疾患実用化研究事業	1	10,000	3,000
革新的先端研究開発支援事業	4	112,736	33,820
医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業	2	2,908	872
ゲノム創薬基盤推進研究事業	1	31,500	9,450
創薬支援推進事業・創薬総合支援事業	1	10,600	1,060
新興・再興感染症研究基盤創生事業	1	7,600	2,280
脳とこころの研究推進プログラム (精神・神経疾患メカニズム解明プロジェクト)	2	100,000	30,000
合計	28	782,574	222,654

③ 国立研究開発法人科学技術振興機構

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
未来社会創造事業	1	2,400	720
研究成果展開事業(COI)	1	23,800	5,950
ムーンショット型研究開発事業	1	38,772	11,632
創発的研究支援事業	4	34,650	10,395
合計	7	99,622	28,697

④ 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

事業名	採択件数(件)	直接経費(千円)	間接経費(千円)
希少疾病用再生医療品等開発支援事業	1	38,262	5,738
合計	1	38,262	5,738

10 寄付講座・共同研究講座・産学協同研究講座

(1) 寄付講座

講座名	寄付者	設置期間	責任者等
先進糖尿病治療学講座	(非公開)	H18. 4. 1 ～R 5. 3.31	代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝
地域総合診療研究講座(越谷市)	埼玉県越谷市	H23. 5. 1 ～R 5. 3.31	医学研究科 研究科長 服部 信孝
運動障害疾患病態研究・治療講座	日本メドトロニック株式会社 ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社 帝人ファーマ株式会社(共同研究) アッヴィ合同会社 (1社非公開)	H24. 4. 1 ～R 6. 3.31	神経学 教授 服部 信孝
脳神経血管内治療学講座	テルモ株式会社 日本ストライカー株式会社 株式会社カネカメディックス 日本メドトロニック株式会社	H24. 8. 1 ～R 6. 7.31	脳神経外科学 教授 近藤 聡英
パーキンソン病病態解明研究講座	大塚製薬株式会社 山岸広太郎 アッヴィ合同会社 Meiji Seika ファルマ株式会社 小野薬品工業株式会社 富士フィルム和光純薬株式会社	H25. 4. 1 ～R 4. 3.31	神経学 教授 服部 信孝
遺伝子疾患先端情報学講座	大塚製薬株式会社 ジェネシスヘルスケア株式会社 日本新薬株式会社 株式会社食文化 ロート製薬株式会社	H26. 4. 1 ～R 5. 3.31	泌尿器外科学 教授 堀江 重郎
心血管睡眠呼吸医学講座	株式会社フィリップス・ジャパン フクダ電子株式会社 レスメド株式会社	H27. 4. 1 ～R 6. 3.31	循環器内科学 教授 南野 徹
乳酸菌生体機能研究講座	明治ホールディングス株式会社	H27. 4. 1 ～R 6. 3.31	免疫学 特任教授 奥村 康
糖尿病治療標的探索医学講座	(非公開)	H28. 4. 1 ～R 4. 3.31	代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝

腸内フローラ研究講座	森永乳業株式会社	H29. 4. 1 ～R 5. 3.31	特任教授 佐藤 信紘
マイクロバイオーーム研究講座	アサヒグループホールディングス株式会社	H30. 3. 1 ～R 6. 2.29	医学研究科 研究科長 服部 信孝
先進血液病態学講座	ファーマエッセンシアジャパン株式会社	R 3. 3. 1 ～R 6. 2.29	血液学 特任教授 小松 則夫
脳疾患連携分野研究講座	イドルシアファーマシューティカルズジャパン株式会社	R 3. 4. 1 ～R 6. 3.31	脳神経外科学 教授 近藤 聡英

(2) 共同研究講座

講座名	共同研究者	設置期間	責任者等
戦略的手術室改善マネジメント講座	株式会社ホギメディカル	H28.10. 1 ～R 3. 9.30	心臓血管外科学 特任教授 天野 篤
次世代血液検査医学講座	シスメックス株式会社	H28.12. 1 ～R 4.11.30	次世代血液検査医学講座 教授 田部 陽子
次世代細胞・免疫治療学講座 (江川記念 SETA講座)	医療法人社団湊志会	H29. 4. 1 ～R 4. 3.31	学長 新井 一
オートファジー調節化合物探索研究講座	大日本住友製薬株式会社	H29. 4. 1 ～R 5. 3.31	神経学 教授 服部 信孝
居住環境神経生理学研究講座	株式会社フジタ	H29. 7. 1 ～R 5. 3.31	病院管理学 教授 小林 弘幸
創傷治癒学先端研究講座	佐藤製薬株式会社	H29.10. 1 ～R 4. 9.30	形成・再建外科学 教授 水野 博司
認知症診断・予防・治療学講座	エーザイ株式会社 日本メジフィジックス株式会社	H30. 1. 1 ～R 5.12.31	神経学 教授 服部 信孝
グラノーラ健康科学・予防医学講座	カルビー株式会社	H30. 5. 1 ～R 3. 4.30	心臓血管外科学 特任教授 天野 篤
抗加齢皮膚医学研究講座	株式会社ファンケル総合研究所 キリンホールディングス株式会社 (R3.6.1～)	H30. 6. 1 ～R 5. 5.31	環境医学研究所 特任教授 高森 建二
データサイエンス推進講座	株式会社4DIN	H30.12. 1 ～R 6.11.30	放射線診断学 教授 桑鶴 良平
神経変性・認知症患者共同研究講座	キリンホールディングス株式会社 (～R3.11.30) グローリー株式会社 日本生命保険相互会社 (～R3.11.30) 三菱UFJ信託銀行株式会社	H30.12. 1 ～R 4.12.31	神経学 教授 服部 信孝
オルガノイド開発研究講座	エーザイ株式会社	H31. 4. 1 ～R 4. 3.31	神経学 教授 服部 信孝
循環器遠隔管理学講座	パラマウントベッド株式会社	R 1. 5. 1 ～R 4. 4.30	循環器内科学 特任教授 代田 浩之

講座名	共同研究者	設置期間	責任者等
超高精細画像医療応用講座	(非公開)	R1. 6. 1 ～R 4. 5.31	特任教授 佐藤 信紘
ICT制御に基づく在宅医療開発講座	株式会社サンウェルズ	R 1.10. 1 ～R 4. 9.30	神経学 教授 服部 信孝
デジタルヘルス・遠隔医療研究開発講座	株式会社フィリップス・ジャパン 東邦ホールディングス株式会社 旭化成株式会社 インターリハ株式会社	R 1.11. 1 ～R 4.10.31	保健医療学部 学部長 代田 浩之
腸内細菌療法研究講座	キリンホールディングス株式会社	R 1.12. 1 ～R 4.11.30	消化器内科学 教授 永原 章仁
先端予防医学・健康情報学講座	株式会社クレディセゾン	R 2. 1. 1 ～R 4.12.31	総合診療科学 教授 内藤 俊夫
集団感染予防学講座	大幸薬品株式会社	R 2. 1. 1 ～R 4.12.31	小児思春期発達・病態学 教授 清水 俊明
パーキンソン病治療薬開発講座	大原薬品工業株式会社 株式会社PARKINSON Laboratories	R 2. 4. 1 ～R 5. 3.31	神経学 教授 服部 信孝
デジタル医療講座	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケアカンパニー	R 2. 5. 1 ～R 5. 4.30	眼科学 教授 村上 晶
脳機能代謝研究講座	テルモ株式会社 株式会社フィリップス・ジャパン アンファー株式会社 株式会社メディカライン 日本メドトロニック株式会社 日本ストライカー株式会社 Integra Japan株式会社 (1社非公開)	R 2. 5. 1 ～R 5. 4.30	脳神経外科学 教授 近藤 聡英
リアルワールドエビデンス評価研究講座	株式会社新日本科学	R 2. 6. 1 ～R 5. 5.31	放射線診断学 教授 桑鶴 良平
気分障害分子病態学講座	大日本住友製薬株式会社	R 2.10. 1 ～R 5. 9.30	精神医学 教授 加藤 忠史
アフェレシス治療技術と生命科学講座	旭化成メディカル株式会社	R 2.10. 1 ～R 5. 9.30	膠原病・リウマチ内科学 教授 山路 健
スポーツ医学・再生医療講座	セルソース株式会社	R 2.11. 1 ～R 5.10.31	整形外科・運動器医学 教授 石島 旨章
健康寿命学講座	株式会社カーブスジャパン	R 2.11. 1 ～R 5.10.31	スポーツロジセンター 特任教授 河盛 隆造
マルチスケール脳構造イメージング講座	株式会社ニコンソリューションズ	R 2.11. 1 ～R 5.10.31	医学研究科 研究科長 服部 信孝
高齢者身体運動機能研究開発講座	株式会社ハーフ・センチュリー・モア	R 2.12. 1 ～R 5.11.30	病院管理学 教授 小林 弘幸

講座名	共同研究者	設置期間	責任者等
パーキンソン病臨床データ解析研究講座	小野薬品工業株式会社	R 3. 1. 1 ～R 5.12.31	神経学 教授 服部 信孝
骨髄増殖性腫瘍治療薬開発講座	Meiji Seika ファルマ株式会社	R 3. 2. 1 ～R 6. 1.31	血液学 特任教授 小松 則夫
免疫病・がん先端治療学講座	ワイズ・エー・シー株式会社	R 3. 4. 1 ～R 6. 3.31	免疫学 特任教授 奥村 康
先進老化制御学講座	株式会社ブルボン	R 3. 4. 1 ～R 6. 3.31	循環器内科学 教授 南野 徹
プロバイオティクス研究講座	株式会社ヤクルト本社	R 3. 4. 1 ～R 5. 3.31	医学研究科 特任教授 山城雄一郎
遺伝子転写制御医学講座	EIDOS Medicine	R 3. 4. 1 ～R 8. 3.31	学長 新井 一
シヌクレイノパチー創薬探索研究講座	協和キリン株式会社	R 3. 4. 1 ～R 6. 3.31	神経学 教授 服部 信孝
神経疾患におけるPROに基づく統合データ解析講座	武田薬品工業株式会社	R 3. 4. 1 ～R 6. 3.31	神経学 教授 服部 信孝
免疫診断学	日本抗体医薬株式会社	R 3. 4. 1 ～R 6. 3.31	免疫学 特任教授 奥村 康
運動器疾患病態学講座	サントリーウエルネス株式会社 日本ストライカー株式会社 株式会社日本エム・ディ・エム 久光製薬株式会社 オリンパステルモバイオマテリアル株式会社 株式会社マティス セルソース株式会社	R 3. 4. 1 ～R 6. 3.31	整形外科・運動器医学 教授 石島 旨章
Pandemic Ready共同研究講座	清水建設株式会社	R 3. 5. 1 ～R 6. 4.30	感染制御科学 教授 堀 賢
救急AI色画像情報標準化講座	凸版印刷株式会社	R 3. 6. 1 ～R 6. 5.31	救急・災害医学 (浦安病院) 教授 田中 裕
低侵襲テロメスキャン次世代がん診断学講座	オンコリスバイオファーマ株式会社	R 3. 6. 1 ～R 6. 5.31	呼吸器内科学 教授 高橋 和久
デジタル指標運動機能研究講座	田辺三菱製薬株式会社	R 3. 8. 1 ～R 6. 7.31	神経学 教授 服部 信孝
ダイレクトリプログラミング再生医療学講座	アステラス製薬株式会社	R 3.10. 1 ～R 6. 9.30	難治性疾患診断・治療学 教授 岡崎 康司
デジタルセラピューティクス講座	株式会社ライフクエスト	R 3.10. 1 ～R 6. 9.30	泌尿器外科学 教授 堀江 重郎
MALDI-TOFMS実用化研究講座	株式会社島津製作所	R 4. 1. 1 ～R 6.12.31	臨床病理検査医学 教授 田部 陽子

講座名	共同研究者	設置期間	責任者等
次世代病院IoTネットワーク共同研究講座	アライドテレシスホールディングス株式会社	R 4. 3. 1 ～R 7. 2.28	医学研究科 研究科長 服部 信孝

(3) 産学協同研究講座

講座名	産学協同研究者	設置期間	責任者等
バイオリソースバンク活用研究支援講座	アボットジャパン合同会社(共同研究) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社(寄付) 三井不動産株式会社(寄付)	R 3.10. 1 ～R 6. 9.30	呼吸器内科学 教授 高橋 和久

11 授業料等学生が納付する金額

(単位:円)

大学院・学部		入学金※1	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	初年度合計	
大学院	医学研究科	博士課程	200,000	400,000	—	150,000	—	750,000
		修士課程	200,000	400,000※2	150,000	—	—	750,000
	スポーツ健康科学研究科	200,000	550,000	—	50,000	—	800,000	
	医療看護学研究科	200,000	550,000	—	50,000	—	800,000	
学部	医学部	1年次	2,000,000	700,000	200,000	—	—	2,900,000
		2年次以降	—	2,000,000	860,000	—	720,000	3,580,000
	スポーツ健康科学部	200,000	700,000	300,000	—	150,000	1,350,000	
	医療看護学部	300,000	900,000	300,000	350,000※3	—	1,850,000	
	保健看護学部	300,000	900,000	300,000	140,000※4	—	1,640,000	
	国際教養学部	300,000	1,000,000	—	—	250,000	1,550,000	
	保健医療学部	300,000	1,000,000	300,000	150,000※5	—	1,750,000	

※1 入学時のみ

※2 データサイエンスコースは1,050,000円

※3 4年次に助産学に関する実習を受講する場合には、実習費として別途350,000円を加算

※4 2年次以降は420,000円

※5 2年次以降は480,000円

12 学位記授与数

※学位記授与数にて甲は課程修了者、乙は学位論文提出者

大学院医学研究科

(単位:名)

区 分	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	備考(累計)
当該年度修了者の入学時入学定員(博士)	120	140	140	140	
入学者数()	142	140	160	178	
博士(医学)甲 学位記授与数	132	128	155	158	《2,577》
満期退学後学位取得者数	0	0	0	0	
博士(医学)乙 学位記授与数	24	23	18	28	《2,514》
当該年度修了者の入学時入学定員(修士)	20	20	30	40	
入学者数()	31	38	41	64	
修士(医科学)学位記授与数	29	35	40	61	《267》

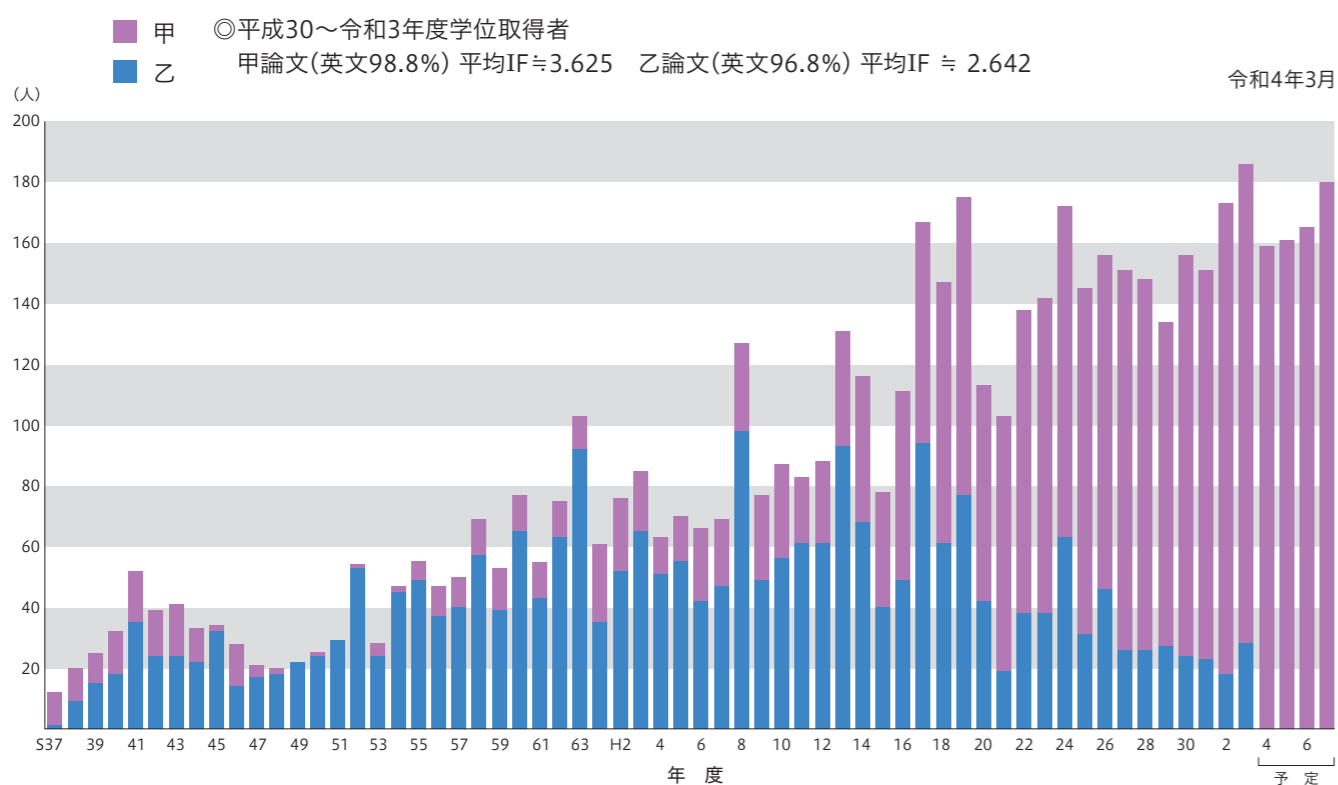
大学院スポーツ健康科学研究科

(単位:名)

区 分	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	備考(累計)
当該年度修了者の入学時入学定員(博士)	10	10	10	10	
入学者数()	16	10	11	21	
博士(スポーツ健康科学)甲 学位記授与数	20	3	8	14	《101》
満期退学後学位取得者数	1	0	0	0	
博士(スポーツ健康科学)乙 学位記授与数	0	1	1	1	《25》
当該年度修了者の入学時入学定員(修士)	61	61	61	61	
入学者数()	67	61	56	62	
修士(スポーツ健康科学)学位記授与数	64	59	51	62	《1,262》

順天堂大学 博士(医学)学位授与者数推移

甲 2,577号 乙 2,514号 (計:5,091号)



大学院医療看護学研究科

(単位:名)

区 分	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	備考(累計)
当該年度修了者の入学時入学定員(博士)	7	7	7	10	
入学者数()	7	6	10	11	
博士(看護学)甲 学位記授与数	6	5	7	11	《43》
当該年度修了者の入学時入学定員(修士)	15	15	20	25	
入学者数()	15	22	26	24	
修士(看護学)学位記授与数	16	20	25	21	《249》

13 学部卒業生数

(単位:名、括弧内()は女子学生数)

学部・学科名称	取得学位(学士)	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	備考(累計)
医学部 医学科	医学	120(38)	126(39)	130(37)	134(41)	医専卒 < 319> 医科大卒 < 89> 学部卒 <5,513> 累計<5,921>
スポーツ健康科学部		328(103)	319(103)	404(158)	401(158)	
スポーツ科学科	スポーツ科学	188(52)	183(54)	247(98)	243(89)	体育学部卒 <5,207> スポーツ健康科学部卒 <8,393> 累計<13,600>
スポーツマネジメント学科	スポーツマネジメント学	69(26)	68(24)	79(30)	79(30)	
健康学科	健康学	71(25)	68(25)	78(30)	79(39)	
医療看護学部 看護学科	看護学	199(193)	203(198)	202(191)	196(192)	講習所 <1,182> 看護学院 < 29> 准看護婦学院< 132> 高等看護学校< 775> 看護専門学校<1,194> 医療短期大学<1,476> 医療看護学部<2,785> 累計<7,573>
保健看護学部 看護学科	看護学	124(113)	119(108)	121(113)	118(113)	累計< 1072>
国際教養学部 国際教養学科	国際教養学	105(67)	114(76)	117(78)	111(61)	累計< 447>

14 卒業後の進路状況

※修了者には博士課程単位取得満期退学者を含む

大学院・学部		進路	人数	修了者数・卒業生数	
大学院	医学研究科	博士課程	大学・研究機関	104名	158名
			医療機関	36名	
		民間企業	7名		
		その他	11名		
	修士課程	大学・研究機関	6名	61名	
		医療機関	4名		
		民間企業	17名		
		進学 その他	25名 9名		
	スポーツ健康科学研究科	博士後期課程	教員・研究機関	11名	19名
			就職(民間企業・公務員等) その他	5名 3名	
博士前期課程		教員・研究機関	18名	62名	
		就職(民間企業・公務員等) 進学 その他	27名 10名 7名		
医療看護学研究科	博士後期課程	大学病院等医療機関・保健医療機関	1名	11名	
		教員・研究機関 その他	10名 0名		
	博士前期課程	大学病院等医療機関・保健医療機関	17名	21名	
		教員・研究機関 進学 その他	2名 1名 1名		
学部	医学部	初期臨床研修医(本学医学部附属病院)	54名	134名	
		◇ (他大学医学部附属病院)	11名		
		◇ (大学病院以外の臨床研修指定病院)	66名		
		その他	3名		
	スポーツ健康科学部	教員・研究機関	83名	401名	
		就職(民間企業・公務員等)	252名		
進学		51名			
その他		15名			
医療看護学部	本学医学部附属病院	179名	196名		
	本学以外の医療機関	11名			
	進学	4名			
	その他	2名			
保健看護学部	本学医学部附属病院	74名	118名		
	本学以外の医療機関	40名			
	進学	3名			
	その他	1名			
国際教養学部	教員・研究機関	0名	111名		
	就職(民間企業・公務員等)	89名			
	進学	13名			
	その他	9名			

15 教育研究活動の主な概要

【法人・大学】

東京2020オリンピック・パラリンピック

東京2020オリンピック・パラリンピックに、13名の学生・卒業生・職員が出場するとともに、医学部附属6病院、スポーツ健康科学部及び保健医療学部から医師・看護師等の医療スタッフを253名派遣しました。また多くの教職員・学生がボランティアとして参加しました。11月21日には東京2020オリンピック・パラリンピック祝賀・報告会を開催しました。出場した選手、スタッフとして参加したスポーツ健康科学部教員、日本オリンピック委員会・日本パラリンピック委員会公認スタッフが出席し、活躍した本学関係の選手及びスタッフの栄誉を讃えました。インターネットによる同時配信により多くの教職員・学生・卒業生が視聴しました。



エコキャンパス・ホスピタルの取り組み

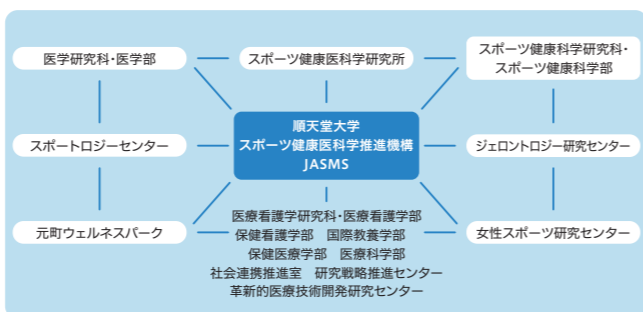
健康総合大学・大学院大学として、4R(Reduce, Reuse, Recycle, Replace)の実践を基本として循環型エコキャンパス・ホスピタルの実現に向けた取り組みを進めています。令和3年度は全学でプラスチック削減を推進しました。各キャンパス・附属病院の取り組み状況をホームページで公表しています。

新型コロナウイルス感染症への対応

授業については、感染の状況を見極めながらオンライン授業と対面授業を併用して実施し、実習についても十分な感染対策のもと実施しました。病院勤務の教職員及び学外実習・病院実習を行う学生については附属病院において優先的にワクチン接種を行い、その他の教職員・学生については職域接種を実施しました。入学式・卒業式は学生・教職員のみで開催し、保護者向けに式の様子をオンラインで配信しました。

スポーツ健康医科学推進機構(JASMS)設置

令和3年4月、様々な社会課題の解決を目指し、スポーツと医学分野の有機的な連携を強化する組織としてスポーツ健康医科学推進機構(Juntendo Administration for Sports, Health and Medical Sciences, JASMS)を設置しました。大学院スポーツ健康科学研究科・医学研究科をはじめとした各学部、研究センターなどによる連携をさらに強化し、学内だけでなく、企業や地域など学外との新たな関係構築も積極的に行います。スポーツ健康医科学の新しい視点のもと、社会課題の解決に向けた活動を加速させていきます。



医療科学部の設置届出

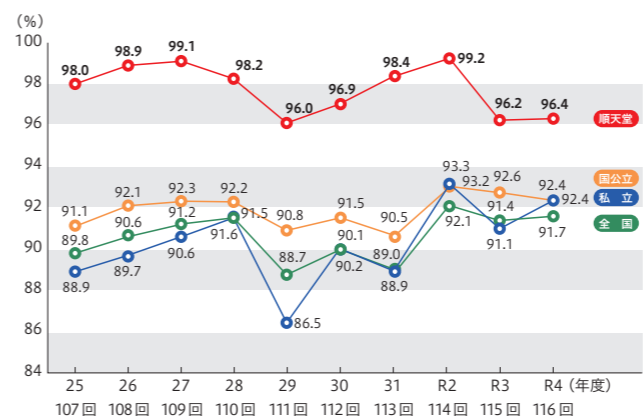
令和3年4月に本学7番目の学部となる医療科学部臨床検査学科(入学定員110名)、臨床工学科(入学定員70名)の文部科学省への設置届出を行いました。本学部は令和4年4月に千葉県浦安市に新たに開設する浦安・日の出キャンパスに設置する予定で、医学・医療の基本的素養を基に高度な専門知識を身につけるとともに、確かな技術を修得し高い実践力を備えた臨床検査技師及び臨床工学技士を養成します。



【大学院医学研究科・医学部】

医師国家試験合格率推移

今年度の第116回医師国家試験の合格率は96.4%で全国国公私立大学81校中14位、直近5年間、10年間の平均合格率は全国2位でした。



医学研究科修士課程ヘルスコミュニケーションコース、データサイエンスコースの開講

大学院医学研究科修士課程は、従来の医科学コース、公衆衛生学コース、遺伝カウンセリングコースに加え、ヘルスコミュニケーションコース及びデータサイエンスコースを新たに開講しました。ヘルスコミュニケーションコースでは、厚生労働省の医療通訳養成カリキュラムに基づく認定医療通訳者養成講座を修め、医療通訳に必要な専門的知識、技法を体得し、医療通訳を必要としている患者や家族に適切な支援を提供して、医療者と患者間のコミュニケーションを支援する重要な役割を果たす人材を養成します。データサイエンスコースでは、医療、健康、スポーツ等各分野のAI及びデータサイエンス領域において、次代の道を切り拓く、トップ&マネジメント層を発掘・育成するため、開設しました。AIに関する知識とスキルを修得し、医療・健康・スポーツをはじめ、様々な場面で蓄積されたビッグデータを解析分析し、課題解決や新たな価値を創造できる人材を養成します。

脳血管内治療学研究センター設置

令和3年6月より、血管内治療における諸課題を検証、推進する拠点として、大学院医学研究科に脳血管内治療学研究センターが設置されました。血管内治療は、組織的に取扱う医療機関が増え、臨床研究中核病院の認定を受けている本学においても脳神経血管内治療学講座(寄付講座)を中心に増加傾向であり、組織的に血管内治療による効果を社会へ情報発信していきます。

AIインキュベーションファーム設置

令和3年12月より、大学院医学研究科にAIインキュベーションファームを設置しました。AIやIoTをはじめとする次世代ヘルスケアは、高齢化や健康・医療ニーズの多様化を背景に市場拡大や雇用創出が見込まれ、本学の成長戦略の柱の一つとして具体的な対応策の検討が喫緊の課題となっています。AIインキュベーションファームでは、アカデミアの知と人材、資金を集め、AIの基礎研究と臨床試験をシームレスに接続し、時代の変化を先取りする形でのイノベーションを起こしていきます。

【大学院スポーツ健康科学研究科・スポーツ健康科学部】

教員採用試験・就職率

教員採用試験は、現役生・既卒生合わせ、114名(補欠合格・私学含む)が合格しました。うち現役生の合格者数は49名でした。企業就職志望者220名の就職内定率は99.5%と、コロナ禍の厳しい環境にありながら、依然高水準を維持しました。

国際交流活動の活性化

スポーツ健康科学部・大学院スポーツ健康科学研究科では、学術交流協定を締結している北京体育大学と日中両国における最新の体育学事情等に関する講演(双方2名ずつ)、意見交換を、Zoomによるオンライン形式にて実施しました。

【大学院医療看護学研究科・医療看護学部・保健看護学部】

看護師・保健師・助産師国家試験合格率

医療看護学部は看護師国家試験合格率が100%、過去5年間平均でも99.1%と高水準を維持するとともに、助産師国家試験は合格率100%を継続しています。保健看護学部は看護師国家試験合格率99.2%で昨年度の合格率100%に続き高水準を維持しています。

	看護師	保健師	助産師
医療看護学部	100%	94.1%	100%
保健看護学部	99.2%	93.2%	—
全国平均(参考)	91.3%	89.3%	99.4%

医療看護学部・保健看護学部定員増認可

医療看護学部及び保健看護学部の収容定員増が認可されました。令和4年度より医療看護学部入学定員が200名から220名に20名増加、保健看護学部入学定員が120名から130名に10名増加します。

専門看護師認定実績

大学院医療看護学研究科(博士前期課程)修了生10名が令和3年度専門看護師(CNS:Certified Nurse Specialist)認定試験に合格しました(慢性疾患看護分野1名、がん看護分野2名、老人看護分野1名、母性看護分野1名、精神看護分野2名、在宅看護分野3名)。これまでのCNS合格者数は、慢性疾患看護分野23名、がん看護分野13名、精神看護分野7名、老人看護分野5名、小児看護分野4名、感染症看護分野8名、母性看護分野2名、在宅看護分野5名の合計67名です。

【国際教養学部】

海外留学・語学オンラインプログラムの実施、海外との交流

コロナ禍で制限がかかる中、徐々に海外留学を再開し、令和2年夏季にアメリカでの長期留学を開始した2名の学生が令和3年度春に修了し、また2名の学生がカナダでそれぞれ半年、1年間の留学を行いました。また現地留学の他、中国大連理工大学半期オンライン留学に1名、カナダ語学学校半期オンライン留学に1名が参加しました。その他、ハワイ・パシフィック大学教員によるオンライン特別講義、シンガポール国立大学日本語クラスやスペインサラマンカ大学とのオンライン交流を行い、コロナ禍においても積極的に海外との交流を行いました。さらに、カリフォルニア大学アーバイン校との間で、特別留学プログラムに関する協定を締結しました。

国際教養特別講義

1年生前期「国際教養概論」では、国際性と「仁」の精神を兼ね備えたグローバル市民となるために、「グローバル社会」「異文化コミュニケーション」「グローバルヘルスサービス」の3領域から、本学部で学ぶ分野の広がりや国際的なリテラシーとの関わりを学びます。後期「国際教養特別講義」は、前期の学びをさらに発展させる形で、多様な分野において活躍、貢献されている特別講師を招聘し、令和3年度は9名の講師に計14回の講義をしていただきました。

「UNHCR WILL2LIVE Chinema パートナース」上映会

国連機関の一つであるUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)は難民を国際的に保護・支援し、難民問題の解決に向けた取り組みを行っており、本学は大学パートナーズとして、毎年授業の中で難民映画を上映しています。コロナ禍となった昨年度からはオンラインで上映会を開催し、公開講座として学外の方々にもご参加いただいています。令和3年度は『シャドー・ゲーム:生死をかけた挑戦(原題:Shadow Game)』の上映会を開催し、上映前には本学部のグローバル社会領域、異文化コミュニケーション領域の教員によるトークセッションを行いました。

企業就職率・教員採用試験・大学院進学

令和3年度4年生の企業・公務員・教員就職志望者92名の就職内定率は96.7%となり、第1期生からの4年間平均内定率は97.6%と高い水準を維持しました。教員志望者のうち2名が公立学校採用試験に合格し、私立学校を含め5名が英語教員として就職しました。進学希望者12名のうち大学院等への進学者は、本学を含め7名となりました。

【保健医療学部】

第1種放射線取扱主任者試験合格実績

第1種放射線取扱主任者試験に診療放射線学科の3年生13名、2年生6名が合格しました。全国の合格率は33.0%と、非常に難易度が高い国家試験ですが、昨年度同試験に合格した本学部の学生がスチューデントアシスタントとなって勉強ノウハウを共有したことが19名の合格につながりました。引き続き学部在学中に当該試験に合格できるよう、今後もサポートを実施していきます。

16 臨床活動の主な概要

●新型コロナウイルス感染症への対応

【順天堂医院】

令和2年度に続き、患者の出入口は1号館正面玄関一か所に絞り、サーマルカメラを設置し発熱者のトリアージを実施しています。基本的に一般患者は1号館、COVID陽性及び疑い患者はB棟と建物毎に動線と滞在エリアの完全分離を図り、さらに必要箇所には空気清浄機を導入するなど院内環境の整備に努めています。また予定入院患者について入院前PCR検査の全件実施、緊急入院等迅速に対応を要する患者には、新たに導入したPOCT検査を実施する等院内感染防止に細心の注意を払っています。

新型コロナウイルス感染症の発生当初よりB棟地上階に「発熱外来」を設置し、文京保健所からの要請に基づき文京区PCRセンターを併設して運営するとともに、令和3年5月から10月には文京区住民の新型コロナウイルスワクチン接種を実施しました。職員には令和3年12月に3回目の接種を行いました。

また東京都の要請に応じて新型コロナウイルス感染症入院重点医療機関として重症患者用14床、中等症患者用30床、計44床をCOVID専用病床として運用する等地域の保健行政に協力貢献しています。

その他、密の回避や利便性の向上を図るため「オンライン診療の導入」、「あと払いクレジットサービス」と「薬剤配送サービス」の連動、「ウォークスルー検査」等を推進しています。特にあと払いクレジットサービスは利用率20%以上を達成し、窓口の混雑緩和に大きく貢献しています。入院診療においては、面会制限の不満を少しでも緩和するためにiPadを利用しての面会を導入し、患者さんの不安や精神的ストレス緩和につながっています。

【静岡病院】

予定入院患者、緊急入院患者、術前患者について全件PCR検査を実施しています。令和3年5月にPCR迅速検査器械(IDNOW)を導入し、迅速に対応を要する患者への検査を開始しました。

増改築工事に伴い発熱外来の建物を移設し、ドライブスルー方式で検体が採取できるような仕組みに改築し、令和3年10月より運用を開始しました。

田方PCR検査センターで行っていた他医療機関からのPCR検査対象者(医師が総合的に判断した結果、新型コロナウイルスを疑う症例)の受入について、令和3年4月から当院で行うこととしました。

新型コロナウイルス確保病床については、令和2年10月30日より2C病棟5床、3A病棟1床で運用を開始し、現在2C病棟10床、救命救急センター2床の計12床をCOVID専用病床として運用しています。

外来においては、オンライン診療・LINE通知システムを導入し、外来患者の密の緩和を行っています。また新棟建築に伴う外来再編を行い、待ち合いスペースの拡充を行いました。入院患者については、オンライン面会の実施、院内面会制限による入室許可書等を運用し、対応しています。

新型コロナウイルスワクチン基本型接種施設として、当院の医療従事者をはじめ、保健看護学部学生、更には一般市民に対し、これまでに延べ約37,000回のワクチン接種を行いました。現在も一般市民を対象に3回目の接種を行っており、令和4年3月14日からは小児(5～11歳)を対象とした1、2回目の接種を行っています。今後、4回目の接種を順次行っていく予定です。

【浦安病院】

千葉県重点医療機関として発熱外来・発熱相談体制を継続するとともに、7C病棟(個室27床)、ICU病棟(最大12床)を専用病床として運用し、新型コロナウイルス感染患者の受入れに協力しました。一般患者に対しては出入口を正面玄関のみに制限し、検温・手指消毒を実施のうえ、発熱患者との動線区分けを継続しています。また感染予防対策として来院を控えている患者に対しては、電話処方対応を行っています。

新型コロナウイルスワクチンに関しては、千葉県指定基本型接種施設として、医師会・歯科医師会及び市内の医療従事者を対象とした先行接種を実施しました。また浦安市と連携を行い、市内の高齢者施設職員、障がい児、小・中学校教職員を対象とした集団接種会場の運営協力や一般市民集団接種に係る問診医師派遣を行いました。

令和3年9月からは、千葉県より新型コロナウイルス感染者宿泊療養施設における患者の健康観察業務を受託し、日中・夜間ともに医師によるオンコール相談を実施しました。また令和4年2月からは千葉県より新型コロナウイルス感染症妊婦モニタリング等業務を受託し、かかりつけ医と連携のもと、分娩監視装置で自宅療養中の妊婦をモニタリングすることにより、非常時にいち早く状況を把握し、適切な入院調整を行えるよう体制整備しました。

院内スタッフの感染対策については、浦安病院独自のリバイバルプラン(STEP1～3)を策定し、千葉県及び周辺地域の感染拡大状況に応じて都度STEPを設定し、スタッフの感染拡大防止に努めています。特にクラスター予防対策として、医局・休憩室・職員食堂などにおいてのマスクを外しての会話を厳重に注意喚起することや全スタッフ(委託職員を含む)を対象としたユニバーサルN95・KN95マスクを義務付けることを徹底しています。

【順天堂越谷病院】

新型コロナウイルス感染症対策のため、毎朝受付開始より職員による外来患者向けの出入口の制限及びトリアージの実施・発熱者専用の臨時診察室の設置・手摺等の定期的な消毒を継続しています。外来においては、対面診察の他、電話再診、オンライン診療による外来診療を実施しました。入院患者には、全例PCR検査の実施と個室管理を徹底し、面会制限や外泊制限を継続し院内クラスターを含む感染者予防に効果をあげています。

令和4年1月には、二酸化炭素濃度の高かった2号館1階及び2階のナースステーションへ排気設備を増設し、換気能力の向上を図りました。

埼玉県や越谷市等からの発熱者PCR検査の医師等派遣要請に対し適宜対応し、宿泊・自宅療養者に対する健康観察業務に協力し、行政や地域医師会との連携強化を図りました。また医療従事者及び一般市民への新型コロナワクチン接種について、週3～4日当院で実施し、更に越谷市の集団接種会場へ医師・看護師を派遣いたしました。

新型コロナウイルス感染症感染後の対応として、全診療科で連携したコロナ後遺症外来を実施しています。

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

来訪者の出入り口を一ヶ所とし、サーマルカメラを設置して、入館前に検温及び手指消毒を行っています。面会は、原則禁止を継続していますが、状況に応じてiPadによる面会を実施しています。外来診療については、薬だけの患者については電話問診を推奨しています。

かかりつけ患者で新型コロナウイルス感染症が疑われる症状がある場合は、PCR検査を実施しています。予定入院患者については、入院前PCR検査を全件実施し、院内感染防止に最大限の対策を講じています。

第5波の感染拡大に伴い、厚生労働省、東京都より病床確保等の協力要請があり、8月下旬に新型コロナ確保病床として14床を届け出ました。その後、第6波の拡大時に4床増床し、18床となりました。高齢者、認知症患者等のコロナ陽性患者を積極的に受け入れています。

また新型コロナウイルスワクチン接種施設として、医療従事者、近隣の高齢者施設の従事者、江東区民への接種を実施しています。

【練馬病院】

令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症に対して、発熱外来を設置し、一般患者との導線を区分する形で自治体・保健所の要請に応じています。練馬区においては、東京都による「練馬区酸素ステーション」が設置され、当院の医師・看護師がリーダーシップをとる形で立ち上げから運営まで支援しました。また入院重点医療機関として、最大で重症患者用2床、中等床患者用51床、疑い患者用9床を専用病床として確保・運用し、妊婦や小児を加えて多数の患者を受け入れました。

新型コロナウイルスのワクチン接種では、「練馬区モデル」という独自の体制のもと、大学病院としての安心感から約1,300人の練馬区民に接種を行いました。基礎疾患等での不安からか、大学病院での接種を希望する患者は多く、区民のワクチン接種率の向上に大きく貢献しました。

こうした医療体制を整えるため、スタッフ全員に対して抗原検査キットによる早期チェックを実施し、職員の体調管理を徹底しました。一方で職員や家族の罹患等に対応するため、早期より診療機能のBCP計画を立案し、適時更新する形で診療機能の維持を図りました。

● その他の臨床活動の概要

【順天堂医院】

超音波センター開設

令和3年11月に超音波センターを開設しました。超音波検査を中央化することで、効率化を図り、検査数の増加を目指しています。現在は消化器内科が主流となっていますが、積極的な広報を行い、多くの診療科で利用し、さらなる活性化を図っていきます。

SOGI相談窓口設置

順天堂医院では、LGBTQsをはじめ多様な性的指向・性自認(SOGI:ソジ)を有する方たちが安心して受診・治療を行なえるよう、院内環境整備を進めています。受付にレインボーフラッグを設置したり多目的トイレ等にレインボーモチーフを貼付する等、通院し易い病院を目指しています。看護師や患者窓口に勤務する職員を中心に、SOGIに関する研修会を修了したスタッフにはレインボーバッジを貸与しており、多様なSOGIを有する方たちに寄り添った対応を心がけています。診療科においてもSOGI支援診療科を設け、多様なSOGIを有する方たちに配慮した診療が行えるよう、各診療科と連携しています。令和3年11月には、医学教育研究室武田教授を中心にレインボーバッジを貸与された看護師で構成されたSOGI相談窓口を毎週月曜日午前にメディカルコンシェルジュ内に開設しています。

看護師による特定行為

当院の第2回目の術中麻酔管理領域における特定行為研修を修了した6名の看護師が誕生しました。他院での研修を修了した看護師と合わせ、現在14名が在籍しています。特定行為が可能な看護師については専用ユニフォームを着用し、他の看護師と容易に判別が出来るようにしています。今後、手術室やICU病棟で配属され、医師の働き方改革や業務の効率化などに貢献することが期待されています。当院では引き続き特定行為研修を実施していきます。

JCI更新審査受審

令和4年1月31日から2月4日の5日間にて、2度目のJCI更新審査を受審しました。今回は新型コロナ感染症の影響もありオンラインと現場のハイブリッド審査となりましたが特に大きな指摘はなく無事更新となりました。

【静岡病院】

静岡病院増改築推進状況

令和3年6月、令和元年2月に着工したH棟Ⅰ期工事が竣工しました。建物は免震構造で地下1階地上7階の災害に配慮した構造を持ち、延べ面積は130%に拡大しました。令和5年のⅡ期工事完成時点では、延べ面積143%となります。地域の医療ニーズ対応のための診療機能の充実化とともに、最先端設備を備え、静岡県東部の基幹病院としての機能が大幅に拡充しています。また新棟建築のコンセプトで、救急・周産期等、重要機能の移転と集約配置を図ったことにより、医療資源の効率的な利活用が可能になりました。

手術室拡張と高機能化

新棟Ⅰ期の竣工に伴い手術室を移転しました。新棟で8室、既存棟6室の計14室が稼働し5室が増室となりました。新棟にはロボット手術室2室と、静岡県東部初のハイブリッド手術室1室を備え、設備には天井懸垂式のディスプレイとシーリングペンダント及び影像切り替え装置を新規導入し、情報共有・提供に配慮するシステムの実現化とともに、防犯・感染対策・医療安全に配慮した構造になっています。

地域医療連携推進法人による病床融通

静岡病院では、地域包括ケアの実現による地域医療構想実現を目的に、近隣の3病院で「地域医療連携推進法人 静岡県東部メディカルネットワーク」を立ち上げ、9月9日付けで県知事の承認を得ました。この取り組みの中で病床機能の適正化を目的に、参加法人間での病床融通に取り組み、12月22日の静岡県医療審議会で、現在の577床から56床を追加し、633床への増床が認可されました。今後の手続きを経て、静岡県東部の基幹病院として必要な病床機能の実現を図ります。

小児外科の開設

令和4年2月1日より、小児外科を開設しました。令和4年4月1日の稼働開始に向け準備を進めています。静岡病院では、年間分娩数800件以上、新生児センター年間入院数450件以上、小児科年間入院数700件以上と、静岡県東部の小児周産期医療の要となっていますが、手術症例は他医療機関に依存する状況にありました。今後は当院で小児外科手術を実施できることになり、患者家族や医師への負担解消、医師確保、教育の充実化に加えて、地域医療の充実化が期待されています。

こどものこころのケアセンター開設

令和4年3月1日より、静岡県における児童思春期精神医療の中核として、小児領域の精神疾患に対応するために「こどものこころのケアセンター」を開設しました。現在、臨床心理士との連携により非薬物療法を実施しています。今後、発達障害センター等からの要請による依頼検査や、フォローアップ等、多数の依頼に対応していきます。

【浦安病院】

小児外科にて手術支援ロボット「ダヴィンチ」を使用開始

令和3年5月より、小児外科にて手術支援ロボット「ダヴィンチ」の使用を開始しました。ロボット手術は一部の疾患のみが保険適用となりますが、低侵襲のため身体への負担が少なく、術後回復が早まるなどのメリットがあります。

膠原病・リウマチセンターの設置

令和3年7月1日より、膠原病・リウマチセンターを設置しました。膠原病患者のQOL向上と地域医療機関との更なる連携を強化し、千葉県における膠原病・リウマチ疾患治療の拠点病院として、最新の医療を提供します。

「地域医療支援病院」(千葉県)に承認

令和3年10月7日付で、千葉県知事より医療法に基づく「地域医療支援病院」として承認されました。地域の皆さまに安心して受診いただける病院として、地域の医療機関との連携を強化します。

大規模災害発生時応急医療活動に関する協定を締結

令和3年11月10日に、浦安市と「大規模災害発生時応急医療活動に関する協定」を締結しました。この協定に基づき、当院は大規模発生時に後方医療施設として傷病者を受け入れ処置を行うほか、院内敷地にて資器材保管のための倉庫を設置しました。

「小児・AYA 世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業」の千葉県指定医療機関に決定

令和3年4月1日付で、「小児・AYA 世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業」の助成対象となる指定医療機関となりました。がん等の患者が妊孕性温存療法を希望し、当院でその治療を受ける場合、費用の一部が助成されます。

集中治療室(ICU)を4床増床(計10床)

令和4年3月1日より、集中治療室を6床から10床へ増床しました。増床した4床(うち2床は陰圧個室)は、術後や容態が急変した患者の集中治療の他、新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて専用病床としても使用します。

「好酸球性鼻副鼻腔炎」の専門外来設立

令和4年3月より、「好酸球性鼻副鼻腔炎」の専門外来を設置しました。難治性・再発性の鼻ポリープを伴う慢性鼻副鼻腔炎で、指定難病となっている好酸球性鼻副鼻腔炎は、当外来で対応します。

血管撮影装置を新規導入

令和4年3月14日より、血管撮影装置を新たに導入しました。従来の装置より、被ばくを抑えながら高画質な画像を得ることができ、かつ造影剤の使用量を抑えることができます。また、脳神経外科領域の回転DA/DSA 機能も装備し、救急医療には欠かせない装置となります。

【順天堂越谷病院】

医療観察法への協力

関東信越厚生局からの要請を受け、令和2年度から引き続き心神喪失者等医療観察法に基づく指定通院医療機関として、埼玉保護観察所との連携の元に対象患者の社会復帰に向けて更なる地域精神医療への貢献を図ります。

精神科医の派遣

平成27年度より開始された越谷市精神保健専門相談事業に引き続き協力し、講師派遣(精神科医派遣)、平成30年度より開始された越谷市自殺対策連絡協議会の運営に協力し、協議会委員として精神科医派遣を受諾しました。また埼玉県精神医療審査会の審査委員として、毎月、精神科医の派遣に対応しています。

広報活動の強化

広報活動の一環として、診療内容を簡単に記載したチラシを埼玉県東部地域及び周辺の医療機関へ送付し、医療連携の強化を図りました。また新型コロナワクチン接種に来院した近隣住民の方へも配布し、認知度アップを図りました。

放射線一般撮影システム更新

令和4年3月19日～24日に放射線一般撮影システムを更新しました。撮影の安全性が向上し、患者への負担が軽減され、効率もアップすることになりました。

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

医療連携強化

医療連携フォーラム、医師会等との連携の会が開催できないため、最新の診療ガイドライン及びエビデンスと医療情報の提供を目的とした学術講演会を近隣3区の医師向けに毎月1回実施しています。

フレイル・サルコペニアへの取り組み

要介護の原因として挙げられる「フレイル(虚弱)」や「サルコペニア(加齢による筋肉量の減少、筋力の低下)」は、内科系の疾患とも密接に関連していることから、「長寿いきいきサポート外来(フレイル・サルコペニア外来)」を開設し、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科の医師が外来を担当しています。プレスリリースや報道機関向けチラシを配布し、広報を強化しました。また臨床研究も1,000名の患者を対象に実施しました。

放射線画像システム(PACS)更新

放射線画像システム(PACS)を更新しました。読影レポートの参照がよりスムーズになるとともに、医療従事者の読影レポート既読状況を確認できる既読管理機能が追加されました。3D画像解析もバージョンアップし、より高度な解析が可能となりました。

【練馬病院】

1号館増床工事と診療機能の向上

平成29年より3号館の新築工事を開始し、令和3年度にかけて実施した1号館の改修工事が無事に完了いたしました。令和3年度に実施した改修工事の主なポイントは次のとおりです。

- ①90床の病床を増設、ICUの拡張、無菌病室の新設
90床の増床を実施するとともに、ICUの12床への拡張及び個室対応を進め、感染症患者や重症患者への救急医療を増強しました。また練馬区内で唯一となる無菌病室12床を設け、血液疾患などの患者により高機能な入院環境を整えました。
- ②小児周産期センター(NICU/GCU)、新生児科の新設、産科病棟の整備
NICU6床、GCU12床を新設し、小児周産期医療センターを立ち上げました。新生児科として新生児への集中治療を進め、拡張した産科と連携し、28週以上の周産期疾患や合併症を有する母体搬送の受入にも取り組みました。
- ③心臓血管外科の新設によるハイブリット手術室の新設
救急医療の充実として、ハイブリット手術室を設けるとともに、心臓血管外科を新設しました。血管撮影装置と手術台を組み合わせた手術室により、心臓大動脈の手術やステントグラフト治療といった高度な医療技術に対応できるようになりました。
- ④手術室の増室
手術支援ロボット「ダヴィンチ」に対応した手術室、感染用陰圧手術室を新たに設けました。泌尿器科の前立腺手術での低侵襲治療、感染症疑い患者への手術など大学附属病院として多様な状況に対応できる環境が整いました。

医療情報システム更新

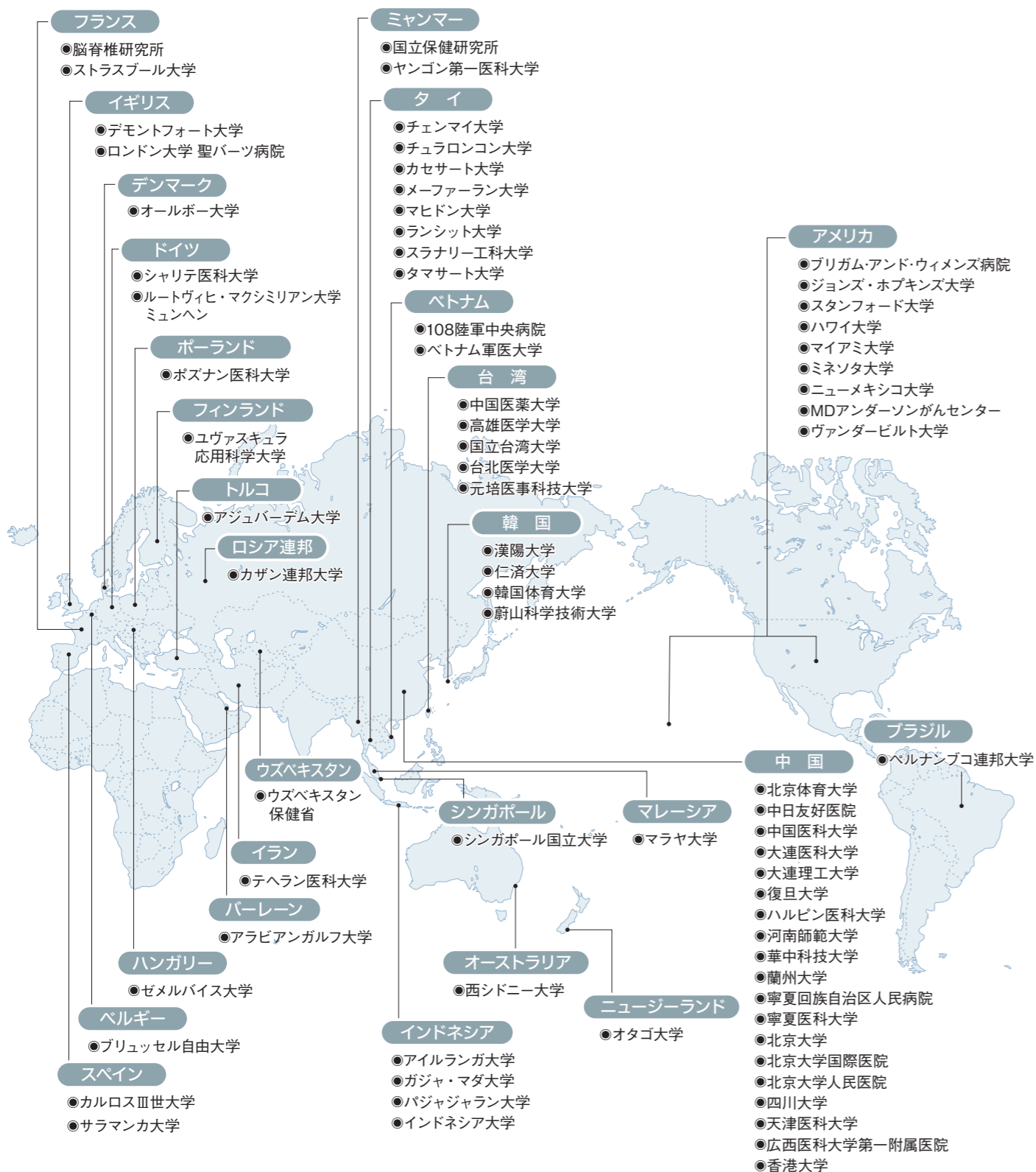
平成25年3月の医療情報システム更新から9年目を迎え、各システムの保守継続が厳しい状況から、8月にシステム更新を行いました。円滑な診療業務の継続を図るため、ハードウェアだけでなく、ソフトウェアによる機能強化を考慮し、基幹システム含め26の部門システムを更新しました。システム更新となる8月13日～15日の期間には、院内の電子カルテシステムが停止する中、紙カルテの運用を徹底し、新型コロナウイルスの流行下においても大きなトラブルもなく、新システムの運用を開始しました。

17 国際交流活動

【大学交流協定について】

大連医科大学、河南師範大学(ともに中国)、元培医事科技大学(台湾)、ランシット大学(タイ)、ヴァンダービルト大学(アメリカ)と協定を新たに締結し、協定機関は27カ国/地域、76機関となりました。

大学交流協定校一覧



【国際研究活動について】

● 順天堂大学教員のサバティカル研修について

教員のサバティカル研修制度を開始しました。サバティカル研修とは、教育・研究の遂行に必要な資質の向上を図るため、教員自らが研究目標を定めて一定の期間にわたり国内外の教育・研究機関において研究活動に専念する研修のことを指します。海外で学位を取得した研究者や海外での教育研究歴を有する者の獲得、または若手教員のキャリア支援にとって有効な制度の一つ

として考えられており、国内外の多くの大学が取り入れています。

本学にとって、国際化を推進し、優秀で多様な人材を育成・確保していくことは喫緊の課題となっています。また優秀な若手教員のグローバル・ファカルティ・ディベロップメントのニーズに応えることは本学の発展に欠かせません。そのためにもこの研修制度は非常に重要なツールとなります。

【学術交流について】

新型コロナウイルス感染症の影響により大学間交流イベント等は全てオンラインでの開催となりました。

開催日	相手先	内容
5月12日	北京大学 (中国)	第7回順天堂大学・北京大学国際シンポジウム (順天堂大学)
5月22日	中日友好医院 (中国)	病理学学術交流会 (人体病理病態学講座)
5月31日	国際大学 (日本)	オンライン授業 (国際教養学部)
6月3日	広西医科大学付属第一医院 (中国)	看護学術交流会 (順天堂医院看護部)
6月23日	北京体育大学 (中国)	客員教授授与記念講演会 (スポーツ健康科学研究科)
7月7日	元培医事科技大学 (中国)	第一回テレカンファレンス (保健医療学部)
7月20日	高雄医学大学 (中国)	第一回テレカンファレンス (保健医療学部)
10月11日	JICA、中日友好医院 (中国)	JICA-中日友好医院インフルエンザ流行及び新発再発感染症診断治療講習会 (順天堂医院)
10月15日	中日友好医院 (中国)	日中臓器提供・移植学術会議 (中日友好医院創立37周年記念シリーズ) (順天堂医院)
10月15日	北京医院 (中国)	中国老年看護連盟主催 第3回高齢者看護フォーラム (高齢者医療センター看護部)
10月21日	中日友好医院 (中国)	2021年中日看護交流大会 (順天堂医院看護部)
10月22日	中日友好医院 (中国)	中日友好医院主催中日病理交流会 (医学部人体病理病態学講座)
10月22日	中国医科大学 (中国)	第2回中国医科大学・順天堂大学共同シンポジウム (順天堂大学)
11月19日	大連医科大学 (中国)	順天堂大学・大連医科大学神経病学術交流会 (医学部・医学研究科)
12月11日	中日友好医院 (中国)	中日友好医院主催日中若手医師心不全学術交流会 (循環器内科学講座)
12月17日	デモンフォート大学 (英国) マイアミ大学 (米国) タマサート大学 (タイ)	第2回国際看護シンポジウム (医療看護学研究所・医療看護学部)
12月19日	河南師範大学 (中国)	河南師範大学交流検討会 (国際教養学部)

【留学生の研修・交流活動について】

「留学」の在留資格を有する長期外国人留学生は18カ国/地域から合計138名在籍しました。また外国人短期留学生は2021年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による日本への入国制限により大幅に減少しました。

○外国人留学生【在留資格:留学】（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

国/地域名	人数	国/地域名	人数	国/地域名	人数
中国	101	マレーシア	2	トルコ	1
台湾	8	バングラデシュ	1	イラン	1
インドネシア	5	インド	1	イタリア	1
韓国	4	ネパール	1	フランス	1
ミャンマー	4	モンゴル	1	ブラジル	1
ベトナム	3	カザフスタン	1	コンゴ民主共和国	1

※学部生、大学院生(修士・博士)、外国人研究生

○外国人短期研修生（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

・国/地域別受入数

国/地域名	人数
中国	1
米国	1
バングラデシュ	1
ロシア	1
合計	4名

※その他は日本国籍保持者で、海外の大学の在学者

・学部別受入数

学部	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
医学部	2	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	2	9
計	2	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	2	9

※延べ人数を各月毎に算出(実人数は4名)

【国外研修・交流活動について】

相手先	期間	参加人数	内容
タマサート大学	8月10日～2日間	6	オンライン研修(医療看護学部)
デモンフォート大学	10月22日～14日間	16	オンライン研修・単位認定(医療看護学部)
マイアミ大学	2月15日～7日間	8	オンライン研修(医療看護学部)

18 文部科学省等採択事業の概要

科学研究費助成事業

令和3年度文部科学省「科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金/科学研究費補助金)」(同省令和4年1月公表)の新規採択率は27.9%、採択件数は666件(継続含む)で私立大学619校中、採択件数は第5位、配分額では第4位となりました。本学の研究活性化に伴い採択件数、配分額ともに増加基調を続けています。

順天堂大学研究ブランディング事業

平成28年度及び平成29年度に採択された文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」を中心に、本学の強みと魅力を生かした研究を積極的に進め、その成果を社会へ発信し続けるプロジェクト「順天堂大学研究ブランディング事業」を令和2年度から開始しました。医学領域、スポーツ領域、医学とスポーツを融合した学際領域の事業を全学で募集し、採択された12の事業を中心に令和3年度より新たに1課題が加わり研究ブランディング事業を展開しています。コロナ禍の影響で、各種シンポジウム、セミナーの現地開催は叶いませんでしたが、順天堂ブランド研究を多様なステークホルダーに発信する取組として、ウェブサイト(The Juntendo Research Branding Project)を新たに立ち上げ、研究課題の紹介コンテンツを月に一度公開するとともに、研究成果のプレスリリースの発信も積極的に行いました。

センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム事業

平成25年度に採択された国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム事業『運動の生活カルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点』」が立命館大学との共同拠点として最終年度を迎え、本学拠点の取組としてロコモ発症・進展予防のためのプログラム開発・技術開発に加え、立命館大学拠点成果の医学的実装推進を行いました。コロナ禍での対策を目的として2件の活動がプレスリリースされました。令和3年8月、一般社団法人生涯健康社会推進機構が主催する有料のオンライン運動教室開講をプレスリリースし、令和3年度は17回開講しました。令和3年12月、新型コロナウイルスワクチン職域接種会場での感染予防アナウンス実験実施が清水建設(株)よりプレスリリースされました。また、令和4年3月に立命館大学大阪茨木キャンパスでシンポジウムを開催し9年間のCOI事業活動を報告しました。事後評価がJSTによって行われ令和4年3月に公開された総合評価ランクはAでした。今後も立命館大学拠点や参画企業と連携しリリースした製品やサービスの医療や社会で実装することをCOVID-19への対応・対策を含めて継続して参ります。

基礎研究医養成活性化プログラム

平成29年度に採択された文部科学省「基礎研究医養成活性化プログラム」が最終年度を迎えました。東京大学、福島県立医科大学と連携し、「福島関東病理法医連携プログラム『つなぐ』」として3大学の病理学、法医学分野の連携により、人材育成を目指す本プログラムに本学の大学院生3名が参加しています。

令和元年度より連携大学での2カ月ずつの交換学生交流や会員専用動画の配信等が開始され、リアルネットワークとICTを活用したバーチャルネットワークで3大学をつなぐ、充実した取組となりました。

令和3年度には新型コロナウイルスの感染拡大に最大限の注意を払いながら、東京大学から1名、福島県立医科大学から2名の交換交流受入れを実現しました。補助金交付事業としてのプログラム運営が終了した後も、プログラム参加者への継続的支援及びキャリアパスの構築を見据えた体系的な教育内容の強化・充実化を図っていきます。

感染症医療人材養成事業

令和2年度に採択され継続事業となった文部科学省「感染症医療人材養成事業」が本格的に実施されました。本事業では、感染症科、呼吸器内科という専門の枠を超え、医学部生看護学生、医師、看護師等医療従事者を対象とした感染症の特性等を踏まえた診療や感染制御に関する実践的な教育プログラムが構築され、感染症に関する高度な知識を身につけた医療人材養成を目指した取組が実施されました。

補助事業終了後も感染症に対する正しい知識、経験を身につけ、感染症に関する高度な知識を身につけた医療人材の養成に取り組んでいきます。

その他

大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所が中核機関となる文部科学省人工知能等社会実装研究拠点事業費補助金「統計エキスパート人材育成プロジェクト」(医学部)の参画機関として、統計エキスパートの育成を実施します。

19 教育研究施設・設備の充実

【法人・大学】

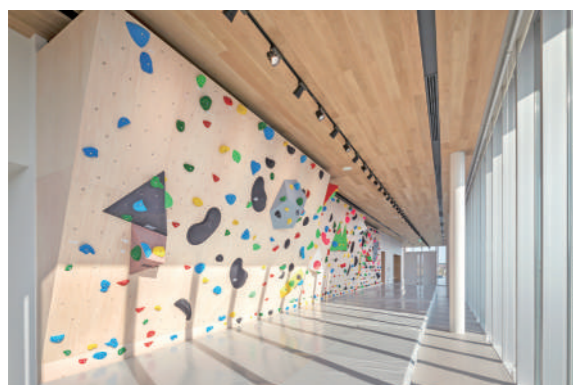
浦安・日の出キャンパス整備

令和3年12月に浦安・日の出キャンパスⅠ期工事が竣工し、令和4年3月には竣工式典が執り行われました。Ⅰ期工事では校舎、体育館、フットサルコート2面、テニスコート3面が完成し、令和4年4月に開設する医療科学部臨床検査学科・臨床検査学科が主

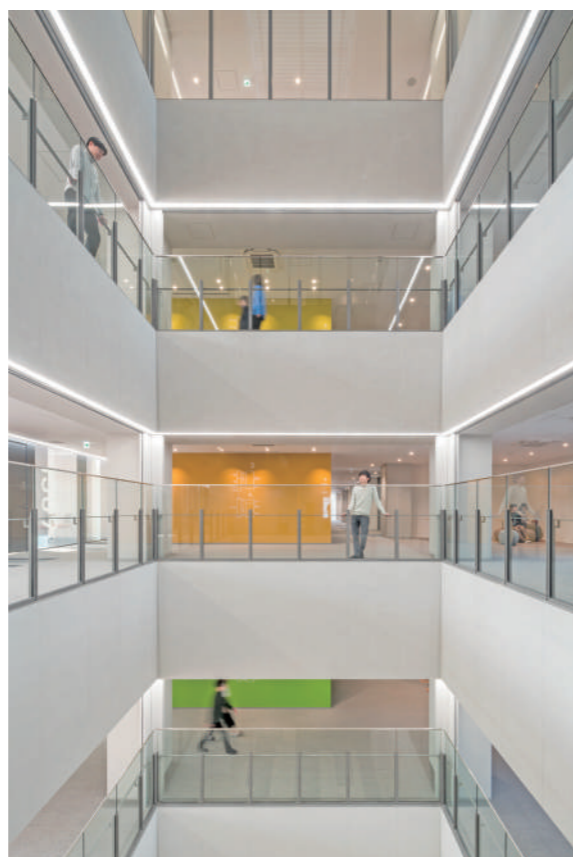
に使用する他、既設学部のスポートや一般教養の授業の一部で使用する予定です。引き続き、新学部設置に向けてⅡ期工事に着手します。



キャンパス正面



体育館のボルダリングウォール



【さくらキャンパス】

3号館（新講義棟）AV/ICT整備Ⅱ期工事（6～8階）

令和3年2月26日に竣工した3号館（新講義棟）について、AV/ICT整備のⅡ期工事（6～8階）を実施しました。これにより全ての

階の整備が完了し、オンライン授業やゼミ活動、学事等に活用されています。



8階カンファレンスホール（大学院入学式の様子）



7階ラーニングcommons

テニスコート新設工事

令和3年9月に着工したテニスコート新設工事が令和4年3月に竣工しました。キャンパス内にドーム型の屋内テニスコート2面、桜坂下に屋外テニスコート4面、同時に整備した駐輪場540台、

バイク置場410台、駐車場90台が完成しました。テニスコートのサーフェイスには、車いすテニスにも対応出来る国際基準に準拠した人工クレイを採用しました。



屋内テニスコート



屋外テニスコート

20 大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画について

大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画の概要と進捗状況は以下のとおりです。

(1) 本郷・お茶の水キャンパス7号館

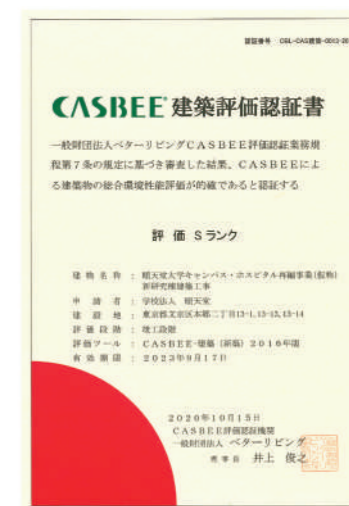
① 認証評価取得

先進性と歴史性を併せ持つ7号館(令和2年9月18日竣工)は、米国発で国際的にグローバルに普及している環境性能認証LEED最上位のプラチナ認証を取得し、大学として国内初の認証施設となります。

また7号館は国内の環境性能評価CASBEE 第三者認証でもSランクの評価を取得済みで(令和2年10月)、日本・米国の最高位の認証のダブル取得は、日本で初めてとなり世界的に優れた環境建築としての高い評価を受けたこととなります。



LEED (米国)



CASBEE (日本)

② カフェラウンジオープン

令和3年11月15日に7号館1階カフェラウンジがオープンしました。このカフェラウンジは、小川講堂のホワイエに繋がる立地で、歴史記念館の外観との一体性を考え、利用者を温かく迎え

入れるモダンカジュアルなインテリアデザインとなっています。教職員、学生の交流の場として、活気・賑わいがあるフォトジェニックなスポットにもなっています。



カウンターまわり



全 景

【浦安キャンパス】

研究設備更新、大学院研究室改装工事

令和4年3月に研究者の学術・研究活動の円滑化を図るべく、研究資料保管データサーバの更新と複合機の整備を行いました。併せて、大学院生の研究環境づくりのために学術メディアセンター1階、2階を改装し、新たに大学院研究室(1階)、大学院会議室(2階)を設置しました。また新マルチメディア教室にあった大学院自習室を改装し、学生が利用目的に合わせて主体的に学習できる環境としてラーニングcommonsを開設しました。



大学院研究室(1階)



大学院会議室(2階)



ラーニングcommons

【三島キャンパス】

教室AV・ICT設備更新

マルチメディア教室、実習室、会議室のAV機器及びICT設備更新しました。液晶レーザープロジェクタ・ディスプレイ、デジタルワイヤレスマイクの導入により、視認性が確保され、安定した通信が可能になりました。また周辺機器の機能強化により、遠隔会議やハイブリッド型授業が円滑に実施できるようになりました。

教育環境の充実

教育環境の充実を図るため、老朽化した教育機器類を入れ替えました。視聴覚教材のコンテンツを更新し、自主学習及びオンライン学習支援を強化しました。令和4年度入学定員増に伴い、中教室の机・椅子を増設する等により学内環境を整備しました。

(2) 保育施設整備

旧元町小学校建て替え計画に伴い、「もともち保育所」「病後児ルームみつばち」を移転し、令和3年7月に運用開始いたしました。

① 順天堂もともち保育所



もともち保育所 (正面入口)



保育室

施設は、利用者が使いやすさを重視したコンパクトな造りで、子どもたちが健やかに育つ保育環境を考え、安全で優しいインテリアデザインとしました。

② 順天堂病後児ルームみつばち



病後児ルームみつばち (正面入口)



保育室

(3) 土地・建物不動産取得

その他キャンパスに近接する複数のビルをサテライトとして購入し活用を図りました。

21 スポーツ分野での活躍

● 東京オリンピック・パラリンピックでの活躍

一年の延期を経て開催された東京オリンピック・パラリンピックには、本学から学部生、大学院生、卒業生、職員と多くの関係者

【体操競技】

体操男子団体の主将を萱和磨選手(平成31年卒、大学院博士後期課程1年生)が務め、谷川航選手(平成31年卒)、橋本大輝(スポーツ科学科2年生)が出場して銀メダル獲得に大きく貢献しました。



萱和磨選手 ©KISHIMOTO

が出場して活躍しました。その活躍は、どんな状況でもスポーツを応援する人たちに力を与えることになりました。

萱和磨選手は種目別あん馬でも銅メダルを獲得し、橋本大輝選手は個人総合においても史上最年少での金メダルを獲得、種目別鉄棒でも金メダルを獲得という快挙を成し遂げました。



橋本大輝選手 ©共同通信社

【陸上競技】

陸上男子では3000m障害で三浦龍司選手(スポーツ科学科2年生)が同種目では日本選手初の7位入賞を果たしました。また

110m障害で泉谷駿介選手(スポーツ科学科4年生)、5000mで松枝博輝選手(平成28年卒)が健闘しました。



泉谷駿介選手 ©共同通信社



三浦龍司選手 ©共同通信社

【その他の競技】

サッカー男子で旗手怜央選手(令和2年卒)が4位入賞、バレーボール男子で藤井直伸選手(平成26年卒)が7位入賞、射撃混合トラップで中山由起枝選手(平成31年大学院博士前期課程修了)が5位入賞と卒業生の活躍が続きました。

【ゴールボール】

パラリンピックでも本学関係者の活躍は続きました。ゴールボール男子で、佐野優人選手(健康学科3年生)が自ら得点を決めて大会序盤からチームを勢いに乗せて5位入賞に導きました。



佐野優人選手 ©KISHIMOTO

【競 泳】

荻原虎太郎選手(健康学科1年生)が競泳男子4種目に出場、うち2種目で日本新記録を出し、4×100m 34ポイントメドレーリレーでは8位入賞を果たしました。



荻原虎太郎選手 ©共同通信社

【パワーリフティング】

パワーリフティング男子72kg級で、アテネ、ロンドン大会にも出場して入賞してきた宇城元選手(事務部職員)が自己最高位の6位入賞を果たしました。



宇城元選手 ©共同通信社

【やり投げ】

陸上男子やり投げ(F46クラス:上肢障害)で、パラリンピック初出場の山崎晃裕選手(事務部職員)が7位入賞を果たしました。



山崎晃裕選手 ©KISHIMOTO

● 全国大会での活躍

オリ・パラでの活躍に後押しされたように、秋以降も運動部の活躍が続きました。

【体操競技部】

体操競技部が第75回全日本学生体操競技選手権で2連覇、橋本大輝選手は個人総合と種目別鉄棒を制して団体と合わせて3冠を達成しました。年末に行われた第75回全日本体操団体選手権でも2大会ぶりの7度目の優勝を果たしました。



体操競技部 団体総合2連覇

【陸上競技部】

陸上競技部は第90回日本学生陸上競技対校選手権大会で2年ぶり29回目の男子総合優勝を果たしました。種目別では泉谷駿介選手が110m障害で自身2度目の優勝。三浦龍司選手が3000m障害で2連覇、1500mで原田凌輔(スポーツ科学科4年生)が初優勝して総合優勝に大きく貢献しました。

正月の箱根駅伝では往路序盤での出遅れを諦めることなく終盤まで粘り強く襷をつないで、15年ぶりのトップ3に入る準優勝を果たしました。さらに2月の男女混合駅伝で2連覇を達成しました。



箱根駅伝準優勝 近藤亮太選手(10区)
©KGRR/Getsuriku



陸上競技部 男子総合優勝

【スカッシュ部】

前年度は、選手権や大会がすべて中止になり、活躍の場がなかったスカッシュ部が、第47回全日本学生スカッシュ選手権大会団体戦で男子チーム、女子チームともに優勝を果たしました。男子の優勝は5大会連続10回目、女子の優勝は2大会ぶり10回目となりました。



スカッシュ部 男子・女子ともに優勝

22 プレスリリース

● 研究成果関係

発信日	タイトル[部門]
3. 4. 7	女性アスリートの遺伝的なケガのリスクが明らかに ～肉離れしにくい選手は疲労骨折しやすい?～ [スポーツ健康科学部]
4.13	乳児の腸内ビフィズス菌の占有率は年上のきょうだいがいると高い ～日本人乳児の腸内細菌叢に影響を及ぼす各種因子の研究から～ [マイクロバイオーム研究講座]
4.20	双極性障害患者神経細胞におけるDNAメチル化変化とその特性を解明 [精神・行動科学]
4.28	非小細胞肺癌におけるインテグリンα11を介するCAFの活性化機序を解明 ～がん間質制御による新規治療法への可能性～ [呼吸器内科学]
5.10	低出生体重児に早期投与したプロバイオティクスが長期的に腸管内に定着 ～持続的な腸内細菌叢の改善に寄与する可能性～ [小児思春期発達・病態学]
5.13	順天堂医院の医療従事者を対象に新型コロナウイルス抗体検査を実施 ～感染症対策の有効性を示す低い抗体陽性率 [臨床検査医学講座]
5.17	新型コロナウイルス患者のバイタルサインを遠隔地でモニタリングするシステムを構築 ～医療スタッフの感染リスクを減らし負担軽減に貢献～ [循環器内科学/保健医療学部デジタルヘルス遠隔医療研究講座]
5.18	患者iPS細胞で遺伝性難聴を再現 ～世界最多の難聴型への薬剤スクリーニングが可能に～ [耳鼻咽喉科学]
5.19	ヒト体外潰瘍性大腸炎モデル作成により、腸上皮再生因子の同定に成功 ～炎症性腸疾患に対する腸上皮移植・再生医療に期待～ [オルガノイド開発研究講座/小児外科学]
5.24	難治性乳癌の抗がん剤への薬剤耐性獲得のメカニズムを解明 ～難治性癌に対するIL-26をターゲットとした新しい治療法の開発へ～ [免疫病・がん先端治療学講座/乳腺腫瘍学]
5.27	熱中症入院患者のAIによる高精度な予後予測モデルを開発 ～熱中症の治療選択サポートや治療の質評価への利用に期待～ [浦安病院救急診療科]
6. 9	アルコールに強い人が糖尿病になりやすいメカニズムを明らかに ～飲酒量が多いと肝臓でのインスリン感受性が低下する～ [代謝内分泌内科学/スポーツロジセンター]
6.22	双極性障害に先天的・後天的デノボ変異がともに関連 ～双極性障害の病態理解が一步前進～ [精神・行動科学]
7. 2	実験用マウスはメラトニンを合成できないので合成できるようにした ～時差ぼけ、成長、繁殖効率、消費エネルギーを調節～ [精神・行動科学]
7. 9	オートファゴソームを効率よく作る仕組みを発見 ～オートファジーの主役の働きが明らかに～ [器官・細胞生理学]

発信日	タイトル[部門]
7.13	悪性高熱症及び重度熱中症に対する新規薬剤を創出 ～より安全な悪性高熱症治療へ向けて～ [細胞・分子薬理学]
7.19	世界クラスの体操競技選手の脳ネットワークの特徴を明らかに ～選手の種目への適性やトレーニング効果の客観的評価に役立つ可能性～ [スポーツ健康科学研究科、放射線診断学、脳神経外科学]
8.12	難治性のユーイング肉腫に強力な抗腫瘍効果のあるiPS細胞由来ネオアンチゲン特異的キラーT細胞の作製に成功 ～希少がんに対する有望な免疫細胞療法開発へ一歩～ [血液内科]
8.24	レモンバーベナ植物由来の精油が皮膚がん黒色腫の増殖を抑えることを発見 ～皮膚がん黒色腫に対する新たな治療法の開発に向けて～ [免疫診断学講座]
9. 3	マルチオミクス解析によりミトコンドリア病未解決症例の原因を特定 ～遺伝性疾患の診断におけるマルチオミクス解析の重要性～ [難病の診断と治療研究センター]
9. 6	炎症を抑え皮膚の恒常性を維持するメカニズムを解明 ～皮膚バリアの破綻における制御性T細胞の役割～ [環境医学研究所 順天堂かゆみ研究センター]
9.14	白血病細胞は周囲の細胞からミトコンドリアを受け取り生き残る ～抗がん剤治療後の再発を防ぐ治療法の開発へ期待～ [臨床病態検査医学]
9.21	脂質RNAにパーキンソン病患者に特有の情報が含まれることを発見 ～脂質RNA情報と機械学習モデルによる新たな検査方法の可能性～ [神経学]
9.22	不適切な行動の抑制に関わる脳の情報処理の回路を発見 ～前頭葉からの2つの独立した神経回路が不適切な行動を抑える～ [生理学第一講座]
9.22	アフリカにおけるアルテミシニン耐性マラリア出現の証拠を発見 ～1滴の血液から簡単に耐性マラリアの出現を早期発見することが可能に～ [生体防御・寄生虫学]
9.27	触刺激による皮膚でのかゆみの発生と調節メカニズムを解明 ～機械的かゆみを誘発する因子エンドモルフィンを同定～ [環境医学研究所 順天堂かゆみ研究センター/免疫病がん先端治療学講座/細胞・分子薬理学講座]
10. 1	牛骨格筋由来CD29陽性細胞による培養肉の肉芽の作成に成功 ～培養肉の実用化技術の開発へ期待～ [難病の診断と治療研究センター]
10. 1	【順天堂大学とアステラス製薬】科学のブレークスルーを目指して 「ダイレクトリプログラミング再生医療学講座」開設 [難病の診断と治療研究センター]
10. 4	ロコモ予防のトレーニング効果を得るためには栄養状態が鍵 ～血清アルブミンがトレーニング効果予測のバイオマーカーに～ [COIプロジェクト室、スポーツ健康科学研究科]
10. 4	花粉症の多様な症状を層別化する手法を開発 ～スマートフォンアプリ「アレルサーチ®」を用いたビッグデータ解析～ [眼科学]

発信日	タイトル[部門]
10.5	小児ミトコンドリア心筋症の遺伝的基盤と長期予後に関する大規模調査報告 ～日本人小児ミトコンドリア病223症例の分析から～ [難治性疾患診断・治療学]
10.14	2つの抗原を標的にできるiPSC由来キメラ抗原受容体T細胞の作製に成功 ～難治性リンパ腫の克服に向けたブレークスルー～ [血液内科学]
11.19	高齢社会における地域に根差したコミュニティ活動の有効性を検証 ～国際基準で評価された「日本モデル」を世界に向けて発信～ [国際教養学部、健康総合科学先端研究機構]
11.25	わずか24時間の不活動により筋肉に脂質が蓄積する ～不活動による骨格筋インスリン抵抗性発生の新規メカニズムを明らかに～ [代謝内分泌内科学、スポーツロジセンター]
12.2	新たなマラリア治療薬として有望な化合物を発見 ～アルテミシニン耐性原虫をも駆逐する新しいマラリア治療薬の開発へ～ [医学研究科生体防御・寄生虫学、スポーツ健康科学研究科]
12.9	防腐剤や大気汚染物質が皮膚の感覚異常を起こす可能性を確認 ～iPS細胞技術でヒト感覚神経に対する新知見～ [環境医学研究所 順天堂かゆみ研究センター]
12.10	老化細胞除去ワクチンの開発に成功 ～アルツハイマー病などの加齢関連疾患への治療応用の可能性～ [循環器内科学]
12.13	新型コロナウイルス抗原検出試薬の性能評価を実施 ～全自動で大規模な検体のスクリーニングを可能に～ [臨床病態検査医学]
12.21	全脳からシナプススケールにズームインするイメージング技術の開発に成功 ～組織透明化技術と電子顕微鏡技術の融合によりシームレスな観察を実現～ [神経機能構造学]
12.21	非標識の細胞形態情報をAIで高速に判別し、目的細胞を分取する技術を開発 [血液学]
4.1.18	スマホアプリから収集した症状とまばたき我慢の時間からドライアイの症状を分類する手法を開発 ～スマートフォンアプリ「ドライアイリズム®」を用いたビッグデータ解析～ [眼科学]
1.25	中学・高校生期と高齢期の両方の運動習慣が女性の骨粗鬆症リスクを低減 ～高齢者を対象とした文京ヘルスタディーで明らかに～ [スポーツロジセンター]
2.25	明治保有の乳酸菌O11073R-1株が産生する菌体外多糖(EPS)が、がんに対する免疫チェックポイント阻害薬の治療効果を高めるメカニズムを解明 ～米国癌学会誌Cancer Discoveryで発表～ [医学研究科 乳酸菌生体機能研究講座]
3.22	花粉症のある人の特徴と花粉症症状の強さと関連する特徴を解明 ～スマートフォンアプリ「アレルサーチ®」を用いた医療ビッグデータ解析～ [眼科学]

発信日	タイトル[部門]
3.23	心筋脂肪酸代謝異常は心不全の要因となり予後が悪いことが明らかに ～原因不明の心不全診断における心臓核医学検査の有用性～ [循環器内科学]
3.30	地下鉄内での音楽聴取によって高まる“スマホ難聴”リスク イヤホンのノイズキャンセリング機能が難聴予防に有用 [順天堂東京江東高齢者医療センター耳鼻咽喉科]

●研究成果以外のトピックス

発信日	タイトル[部門]
3.4.8	「する・見る・支える」スポーツの新たな魅力を動画で競う！ 学生コンペティション「第2回スポーツムービー選手権」の受賞作品が決定 [スポーツ健康科学部]
4.15	順天堂大学とフィリップスが包括的連携協定を締結 [順天堂大学]
4.16	共同研究講座「先進老化制御学講座」開設に関するお知らせ [循環器内科学]
4.22	CO2濃度分布と在室者の位置情報を基に室内の感染リスク分布を可視化 ～マイクロ飛沫感染・飛沫感染を統合した感染リスク評価技術を開発～ [感染制御科学]
4.23	体温検知とAIによる顔認証が同時にできるセキュリティゲートを導入 [総務部総務課／情報センター]
4.27	順天堂大学スポーツ健康科学部に新たな講義棟が完成 ～コロナ禍の感染対策にも配慮。多様な学びから食生活まで学生のキャンパスライフを支える環境を整備～ [さくらキャンパス]
5.12	順天堂大学と株式会社ジョリーグッドが感染症診療VRを共同開発 実際の「COVID-19診療病棟」を舞台に高精度VR実習を医学生らに提供 [総合診療科学]
5.24	本邦初！大学医学部発のコンタクトレンズアプリ「コンタクトダイアリー」iOS版に続いてAndroid版をリリース ～あなたのスマートフォンを通じて、大学の研究に貢献してみませんか？～ [眼科学]
5.31	凸版印刷と順天堂大学、共同研究講座を開設 ～「救急AI色画像標準化講座」を開設し、医学領域における画像データの真正性に関する共同研究を開始～ [浦安病院／救急・災害医学]
6.1	順天堂大学とオンコリスバイオファーマ、共同研究講座「低侵襲テロメスキャン次世代がん診断学講座」を開設 [呼吸器内科学]
6.3	順天堂越谷病院で「パーキンソン病患者さんのためのダンス教室」を開催 [順天堂越谷病院脳神経内科]
6.3	“体ひとつ”でできる筋力トレーニングを順天堂大学と佐倉市が共同で作成。 佐倉市オリジナル体操「Sakura 10 Minutes Exercise ～気軽に10分筋活～」 [スポーツ健康科学部]

発信日	タイトル[部門]
6.11	順天堂大学とセルソース、エクソソームを用いた脳梗塞後遺症・パーキンソン病の治療について共同研究を実施 [神経学]
6.22	学校法人として日本初のLEED - New Construction版・プラチナを取得 [大学キャンパス・ホスピタル再編事業事務局]
6.23	Pandemic Ready 共同研究講座主催 kick off symposium「パンデミックと闘う！」 [Pandemic Ready 共同研究講座]
6.29	保険診療による減量・代謝改善手術治療開始 ～治療抵抗性糖尿病や高度肥満症患者さんたちのQOL向上をめざして～ [順天堂医院糖尿病・内分泌内科/消化器・低侵襲外科]
6.29	スポーツと医学の融合を加速し、社会課題の解決を目指す順天堂大学「スポーツ健康医科学推進機構」が始動 [スポーツ健康医科学推進機構]
7.1	新型コロナワクチン接種を外国人向けに「やさしい日本語」で。 接種現場で使えるフレーズを動画で公開 [医学教育研究室]
7.1	順天堂越谷病院で、COVID-19流行による精神科外来患者の精神症状への影響に関する調査を実施 [順天堂越谷病院メンタルクリニック]
7.2	順天堂大学陸上競技部長距離ブロック(男子駅伝)のユニフォームスポンサーが千葉県印西市に決定 [陸上競技部 長距離ブロック]
7.8	【順天堂大学陸上競技部】泉谷駿介選手、三浦龍司選手Zoomによるオンライン共同取材 [陸上競技部]
7.15	「スポーツにおけるジェンダー平等を促進するための日ASEANワークショップ」を女性スポーツ研究センターが実施機関 としてサポート ～日本から「若手女性スポーツリーダー」として本学学生が参加～ [女性スポーツ研究センター]
8.4	モバイルヘルスアプリを用いたドライアイに関する共同研究を開始 ～モバイルヘルスアプリとゲノムの融合で拓くドライアイのP4 Medicineの実現～ [眼科学]
8.27	オリンピック出場体操・陸上選手への印西市市民栄誉賞等の表彰式について(案内) [スポーツ健康科学部]
9.1	順天堂大学保健看護学部で保健師や看護師を目指す学生が新型コロナワクチン広域集団接種をサポート [三島キャンパス事務局]
9.2	【順天堂】オリンピック出場体操・橋本大輝選手への成田市市民栄誉賞授与式について [スポーツ健康科学部]
9.22	【順天堂大学・ダナフォーム】包括的連携協定を締結 相互協力により科学技術の振興及び医療・産業の発展の寄与を目指す [革新的医療技術開発研究センター]
9.24	漢方診療によるコロナ感染後遺症患者のための「Long COVID漢方外来」を開設 [総合診療科]
10.12	東京2020パラリンピック入賞者(佐倉市民)表彰式について [さくらキャンパス事務局]

発信日	タイトル[部門]
10.20	スマートフォンアプリで慢性疼痛と上手に付き合う！アンドロイド版をリリース！ ～痛みの変化を可視化することで、慢性疼痛の重症化予防とセルフコントロールに～ [練馬病院メンタルクリニック]
10.28	医療現場に多様な性への理解を示す“アライ”を 順天堂医院が研修を実施、受講した職員に「レインボーバッジ」を交付 [順天堂医院]
11.11	受診する患者さんがセクシュアリティに伴う不安を抱えずに治療を受けられるように 多様な性のあり方に配慮した「SOGI相談窓口」を順天堂医院が開設 [順天堂医院]
11.22	医学部生向け感染症専門教育プログラム用LINE Bot「Infection Buster」を公開 [総合診療科学]
11.25	経済産業省「未来の教室」STEAMライブラリー事業に二年連続採択 順天堂大学医学部人体病理病態学講座 小倉加奈子先任准教授の「おしゃべり病理医のMEdit Lab」 [練馬病院 病理診断科]
11.29	【第98回箱根駅伝出場】順天堂大学陸上競技部 Zoomによるオンライン共同取材のご案内 [陸上競技部長距離ブロック]
11.30	若くてやせていても「少食+運動不足」で高まる健康リスクの解消に！ 運動習慣がなくても取り組みやすい“女性のためのエクササイズ”動画が完成 [スポーツ健康科学部]
11.30	「少食で運動不足」の若くてやせている女性に高い糖尿病リスク！ 将来の健康のために今から意識してほしいポイントを動画で紹介 [スポーツ医学・スポーツロジック]
12.1	スポーツドクター有資格者、総勢74名が在籍。所属する診療科も多岐に ～順天堂大学が学内のスポーツドクターの活動実態を調査～ [スポーツ健康医科学推進機構]
12.3	順天堂大学がAMED「次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業 (腸内マイクロバイオーム制御による次世代創薬技術の開発)」に採択 [消化器内科学]
12.22	順天堂大学と読売巨人軍が新プロジェクトを始動 最先端のスポーツ医学の見地から選手のコンディショニング向上を目指す [スポーツ健康医科学推進機構]
4.1.6	第98回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝) 総合準優勝 報告会について [スポーツ健康科学部]
1.21	順天堂大学と楽天メディカル、オープンイノベーションプログラム「GAUDI」を活用したイルミノックス®プラットフォーム発展の ための取組を開始 順天堂医院において、「頭頸部イルミノックス治療(光免疫療法)」を導入 [革新的医療技術開発センター]
1.27	順天堂と東京ガスによるカーボンニュートラル推進に向けた取り組みについて ～CO2削減ロードマップ策定の取り組み/カーボンニュートラル都市ガス導入～ [学校法人順天堂・施設部]
2.1	AMED「医療研究開発革新基盤創成事業(CiCLE)」に採択されました [健康総合科学先端研究機構]

23 中期的な計画の進捗・達成状況及び令和4年度事業計画策定

発信日	タイトル[部門]
2.4	順天堂大学が「最新のがん治療」や「治療と仕事の両立」をテーマとしたオンライン公開講座を開催 [総務部、順天堂医学会]
2.7	慢性頭痛からコロナ禍のビタミンD不足まで。日々の生活につながる“健康のハナシ”を公開 [総務部文書・広報課]
2.8	順天堂大学静岡病院が「アレルギー性鼻炎」に関するミニレクチャー動画を公開 [静岡病院]
2.9	花粉症予防アプリ「アレルギーサーチ@」があなた花粉症タイプを見える化し、おすすめ花粉症対策を提案します ～アップデートで「花粉症タイプの見える化」「おすすめ花粉症対策提案」機能が追加～ [眼科学]
2.21	遺伝性疾患であるライソゾーム病をテーマとした難病医療講演会をオンラインで開催 [難病相談・支援センター]
3.1	内科疾患と関連している“フレイル”、“サルコペニア”について (高齢者医療センター「フレイル・サルコペニア外来」のご紹介) [順天堂東京江東高齢者医療センターフレイル・サルコペニア外来]
3.10	経済産業省「未来の教室」STEAMライブラリー事業に二年連続採択 順天堂大学医学部人体病理病態学講座 小倉加奈子先生准教授の「おしゃべり病理医のMedit Labo-医学にまつわるコトバ・カラダ・ココロワーク」公開！ [練馬病院病理診断科]
3.22	本邦初！順天堂大学が医学部附属3病院で指定難病「好酸球性副鼻腔炎」の専門外来を設立 [順天堂東京江東高齢者医療センター耳鼻咽喉科]
3.31	難病医療講演会「神経難病トリハビリ ～パーキンソン病に合うリハビリって何だろう？～」をオンラインで開催 [難病相談・支援センター]
3.31	入院患者さんの合併症回避や早期回復のためにオーラルマネジメントに取り組む「口腔ケア」を順天堂・浦安病院が開設 [浦安病院]
3.31	医療×ITのさらなる可能性に向けて。次世代のIoT活用方法や新たなソリューション開発のため、順天堂大学とアライドテレシスが共同研究講座を開設。 [次世代病院IoTネットワーク共同研究講座]

1. 中期的な計画の進捗・達成状況について

令和2年度から令和6年度までの事業に関する中期的な計画に対する当期の実施状況をホームページに公表しました。
(<https://www.juntendo.ac.jp/corp/about/information.html>)

2. 令和4年度事業計画について

健康総合大学としての教育・研究・臨床の更なる向上を図るために、次の事項を令和4年度事業計画として策定しました。

【教育に関する計画】

- (1) 従来の授業形態にとらわれない新たな教育手法を確立し、より高い学修効果を得ることができる新たなカリキュラムや効果的な教授法の開発を推進する。
- (2) アドミッションセンターを軸として入学試験の改革を行い、志願者数の増加を図るとともに、引き続き適正な選考を実施する。
- (3) 厳しい環境の中でも学生一人ひとりが希望を実現できるように、個別対応による就職支援を中心に学生支援の充実を図る。
- (4) 浦安・日の出キャンパスに令和5年度健康データサイエンス学部(仮称)開設準備を進めるとともに、令和6年度を目途として薬学部(仮称)設置構想を固める。
- (5) 専門分野の性質及び教育課程に応じて、学生の学修成果をIR(Institutional Research)データを活用し、適切に把握・評価することができる評価方法や指標を導入する。
- (6) 教学運営体制の確立のために、教育研究の質向上に向け、人的・時間的リソースの再検討を図る。
- (7) 社会変化や技術革新に対応した大学院強化を図り、社会人のリカレント教育を見据え、各専攻のコース化を検証する。国際教養学部、保健医療学部を基礎とした大学院設置構想を検証する。

【研究に関する計画】

- (8) 基礎研究の基盤強化・充実に図り、産学連携の推進(共同研究、寄付講座・共同研究講座の設置等)や科学研究費補助金等の競争的研究費獲得をURAを中心とした研究支援を組織的に図り、その成果を国内外に広く広報する。
- (9) 若手研究者の育成や女性研究者躍進のための支援の充実に図る。
- (10) 学術誌への掲載論文数及び被引用数並びに科研費等競争的資金獲得件数の増加のため研究支援職者(URA)による情報収集・発信、応募支援等を行う。
- (11) 研究不正防止体制の拡充として、各部門でのコンプライアンス教育、研究倫理教育等の研究不正防止体制を拡充し、研究の国際化に対応するために、安全保障輸出管理体制の効果的な運用を組織的に図る。

【社会貢献・社会連携に関する計画】

- (12) オープンイノベーション(GAUDI)を推進し、産学連携による知の拠点としてイノベーションを創出するための体制整備を行う。
- (13) 国外の大学との共同研究や人材交流を活性化させる。
- (14) ブランド力を高める戦略的広報の推進を図る。
- (15) 健康総合大学としてSDGs(持続可能な開発目標)「循環型エコキャンパス・ホスピタル」の実現を加速させる。

【国際化に関する計画】

- (16) 国際化の推進を図り、留学生の一層の増員を推進する取組として、大学院・学部への留学生受け入れ態勢を整備し、優秀かつ多様な留学生に対してグローバル化時代にふさわしい教育・居住環境と経済的支援を図る。
- (17) 海外の連携機関と国際FD研修プログラムを実施し、英語による教授法をテーマに国際通用性の在る教授法を開発・共有する。
- (18) 海外大学等研究機関との国際共同研究の推進を図るために、サバティカル制度の積極的な活用を図る。

【臨床に関する計画】

- (19) 高度先進医療の更なる充実と地域医療への貢献を軸として各附属病院の特色を活かした医療を実践する。
- (20) 各附属病院はCOVID-19の影響や政策動向を見極め、医療の標準化の推進を図り、国又は自治体のワクチン接種や臨床研究を始めとしたプロジェクトに積極的に協力し、感染症克服に向けた取り組みを推進する。

24 令和3年度事業の収支及び財務状況の概要

当期の事業収支及び財務状況について、その概況を報告します。なお金額は百万円未満を端数処理(四捨五入)して表記していますので、合計と一致しないことがあります。

(1) 資金収支計算書

(収入の部) (単位:百万円)

科 目	補正後予算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	10,523	10,537	△ 14
手数料収入	553	549	4
寄付金収入	1,102	1,499	△ 396
補助金収入	14,810	18,072	△ 3,263
資産売却収入	9,001	9,470	△ 469
付随事業・収益事業収入	5,205	6,796	△ 1,591
医療収入	160,325	162,470	△ 2,145
受取利息・配当金収入	141	174	△ 32
雑収入	2,835	3,295	△ 461
借入金等収入	6,170	6,190	△ 20
前受金収入	2,745	2,868	△ 123
その他の収入	30,203	31,217	△ 1,014
資金収入調整勘定	△ 31,974	△ 33,691	1,717
当年度資金収入合計	211,638	219,444	△ 7,806
前年度繰越支払資金	48,431	48,431	0
収入の部合計	260,069	267,875	△ 7,806

資金収入は、補正後予算(以下予算という)と比較し、約78億円上回り、約2,194億円となりました。
 主要因として、国や地方自治体からの補助金、企業等からの受託事業、医療収入が増加したこと等があげられます。

(支出の部)

科 目	補正後予算	決 算	差 異
人件費支出	67,644	67,652	△ 8
教育研究経費支出	28,167	27,975	191
医療経費支出	73,383	74,357	△ 975
管理経費支出	5,385	5,239	146
借入金等利息支出	0	0	△ 0
借入金等返済支出	1,370	1,400	△ 30
施設関係支出	15,208	13,681	1,527
設備関係支出	10,846	9,128	1,719
資産運用支出	650	646	4
その他の支出	16,300	16,252	48
予備費	1,643	0	1,643
資金支出調整勘定	△ 11,411	△ 14,035	2,624
当年度資金支出合計	209,184	202,296	6,889
次年度繰越支払資金	50,885	65,580※2	△ 14,695
支出の部合計	260,069	267,875	△ 7,806

資金支出は、予算と比較し約69億円下回り、約2,023億円となりました。主要因としては、経常活動支出は増加しましたが、経常活動外支出である施設の改修工事・医療機器等の購入を翌年度以降に繰り延べたことや、期末の教育活動や設備整備事業に対する実際の支払いが翌期になったこと等があげられます。

当年度資金収支差額※1は約147億円増加し、約171億円のプラスとなり、次年度繰越支払資金※2は約656億円となりました。

当年度資金収支差額	2,454	17,149※1	△ 14,695
-----------	-------	----------	----------

(2) 事業活動収支計算書

(単位:百万円)

科 目		R03年度決算	R02年度決算	差 異	
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	10,537	9,600	937	
	手数料	549	490	59	
	寄付金	1,484	1,875	△ 390	
	経常費等補助金	14,481	15,436	△ 955	
	付随事業収入	6,796	5,255	1,540	
	医療収入	162,470	146,752	15,718	
	雑収入	3,315	2,368	947	
	教育活動収入 計	199,632	181,775	17,856	
	事業活動支出の部	人件費	68,943	65,439	3,504
		(退職給与引当金繰入額)	(3,057)	(2,928)	(129)
教育研究経費		42,696	39,190	3,506	
(減価償却額)		(14,719)	(13,300)	(1,419)	
医療経費		74,357	66,172	8,184	
管理経費		5,990	5,437	554	
(減価償却額)		(771)	(683)	(88)	
徴収不能額等		91	80	11	
教育活動支出 計		192,077	176,318	15,759	
教育活動収支差額	7,554	5,457	2,097		
教育活動外収入の部	収入の部				
	事業活動	受取利息・配当金	157	161	△ 4
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入 計	157	161	△ 4
教育活動外支出の部	支出の部				
	事業活動	借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	5	0	5
		教育活動外支出 計	5	0	5
教育活動外収支差額	152	161	△ 9		
経常収支差額	7,707	5,618	2,089		
特別収支	収入の部				
	事業活動	資産売却差額	5	0	5
		その他の特別収入	3,800	1,166	2,634
		特別収入 計	3,805	1,166	2,639
支出の部					
事業活動	資産処分差額	46	45	1	
	その他の特別支出	15	5	10	
	特別支出 計	61	50	11	
特別収支差額	3,744	1,116	2,628		
予備費	0	0	0		
基本金組入前当年度収支差額	11,451	6,734	4,717		
基本金組入額合計	△ 21,334	△ 19,035	△ 2,299		
当年度収支差額	△ 9,883	△ 12,301	2,417		
前年度繰越収支差額	△ 100,840	△ 88,539	△ 12,301		
基本金取崩額	0	0	0		
翌年度繰越収支差額	△ 110,723	△ 100,840	△ 9,883		
(参考)					
事業活動収入 計	203,594	183,103	20,492		
事業活動支出 計	192,144	176,369	15,775		

教育活動収入は、約1,996億円となり、前年度と比較すると約179億円増加しました。
 主要因として、医療収入が増加したことがあげられます。

教育活動支出は、約1,921億円となり、前年度と比較すると約158億円増加しました。主要因は以下の通りです。
 ①建替えや設備の新規取得に伴う減価償却費の増加。
 ②感染症対策や医療収入の増加に伴う医療経費の増加。
 ③診療体制を更に充実させるため医療スタッフを増員したことによる人件費の増加。

経常的な収支を表す経常収支差額は、約77億円となり、前年度と比較すると約21億円増加しました。

全体の損益を示す基本金組入前当年度収支差額は、前年度より約47億円増加して、約115億円となりました。

(3) 貸借対照表

(資産の部) (単位:百万円)

科 目	R03年度決算	R02年度決算	増 減
固定資産	241,509	241,167	342
有形固定資産	220,367	213,552	6,815
土地	58,954	58,375	579
建物	120,139	109,867	10,272
その他の有形固定資産	41,273	45,310	△4,037
特定資産	13,173	12,703	470
その他の固定資産	7,969	14,912	△6,943
流動資産	98,048	81,530	16,518
現金預金	65,580	48,431	17,149
その他の流動資産	32,468	33,099	△630
資産の部合計	339,557	322,696	16,860

固定資産のうち有形固定資産は、各施設での再編事業の進行や機器の取得により増加しました。
流動資産のうち現金預金は、医療収入が増加したことや、有価証券を取り崩したことにより増加しました。

(負債の部)

科 目	R03年度決算	R02年度決算	増 減
固定負債	39,241	31,982	7,259
長期借入金	5,000	0	5,000
学校債	4,470	3,470	1,000
その他の固定負債	29,771	28,512	1,259
流動負債	21,313	23,162	△1,849
短期借入金	0	0	0
短期学校債	110	1,320	△1,210
その他の流動負債	21,203	21,842	△639
負債の部合計	60,554	55,144	5,410

総資産は、前年度より約169億円増加して、約3,396億円となりました。

負債は、約606億円と前年度対比で約54億円の増加となりました。
主要要因について、長期借入金が増加したこと、その他の固定負債において教職員の増加に伴い退職給与引当金が増加したこと等があげられます。

(純資産の部)

科 目	R03年度決算	R02年度決算	増 減
基本金	389,726	368,392	21,334
第1号基本金	375,987	354,959	21,028
第2号基本金	483	483	0
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	13,256	12,950	306
繰越収支差額	△110,723	△100,840	△9,883
翌年度繰越収支差額	△110,723	△100,840	△9,883
純資産の部合計	279,003	267,552	11,451

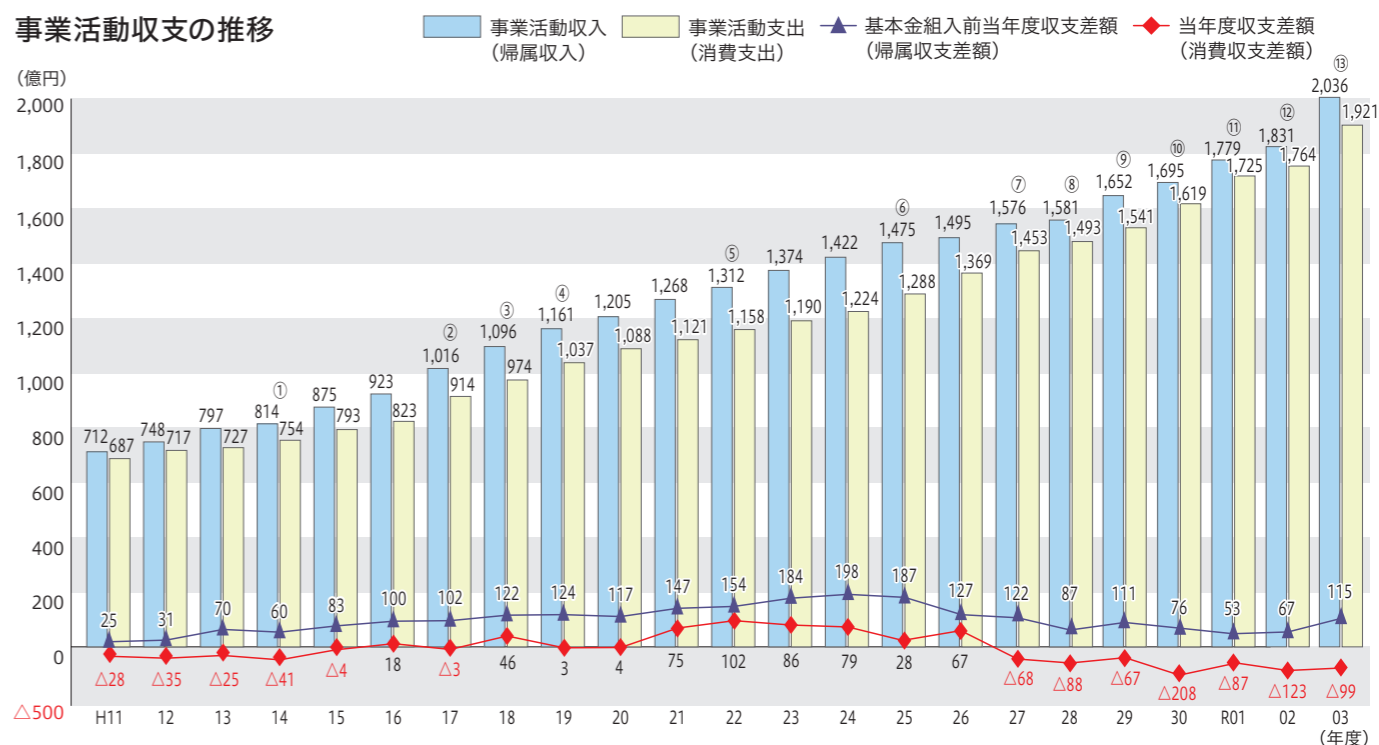
基本金は、固定資産の取得等により約213億円増加して、約3,897億円となりました。

負債及び純資産の部合計	339,557	322,696	16,860
-------------	---------	---------	--------

純資産の部は、基本金組入前当年度収支差額が約115億円増加したことで、約2,790億円となりました。

25 財務状況の推移

事業活動収支の推移

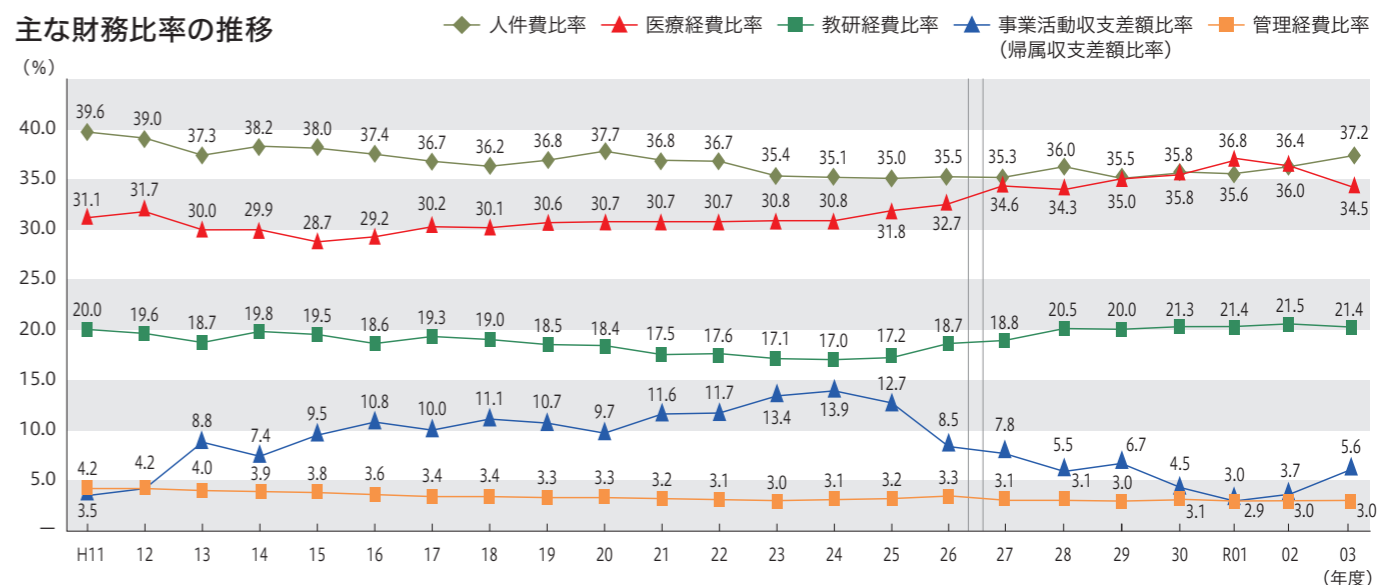


教育・研究・診療の充実を図るため、以下の事業を実施してきました。

- ①平成14年度 順天堂東京江東高齢者医療センター開院、②平成17年度 練馬病院開院、③平成18年度 静岡病院増床、スポーツ健康医学研究所竣工、④平成19年度 スポーツロジセンター設立、⑤平成22年度 静岡県三島市に保健看護学部開設、⑥平成25年度 順天堂医院B棟Ⅰ期竣工、⑦平成27年度 国際教養学部開設、⑧平成28年度 順天堂医院B棟Ⅱ期・C棟竣工、

さくらキャンパス新体操競技場・新女子寮竣工、高齢者医療センター増床、⑨平成29年度 浦安病院3号館竣工、⑩平成30年度 新研究棟(A棟Ⅰ期) 竣工、⑪令和元年度 保健医療学部開設、練馬病院3号館竣工、⑫令和2年度 新研究棟(A棟Ⅱ期) 竣工、さくらキャンパス新講義棟・新女子寮が竣工、⑬令和3年度 浦安・日の出キャンパスⅠ期校舎(医療科学部)及び体育館が竣工しました。

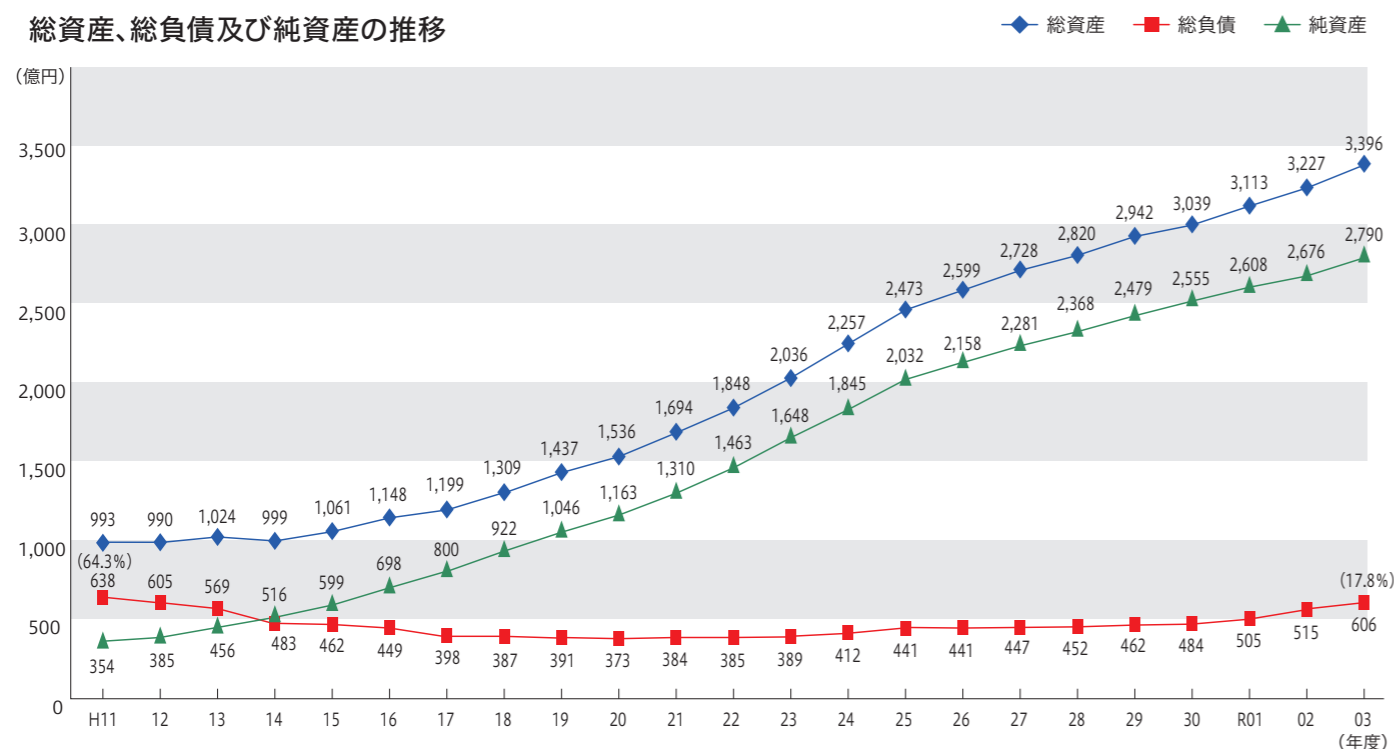
主な財務比率の推移



上記は財務比率の推移を示しています。平成27年度の学校法人会計基準改正に伴い、事業活動収支差額比率を除く各比率の分母を従来の帰属収入(新基準の事業活動収入)から経常収入

に変更しています。医療経費率が年々上昇傾向にありますが、高度先進医療の実施に伴う高額薬品費や診療材料費、感染症流行に伴う検査費等の増加が主要因です。

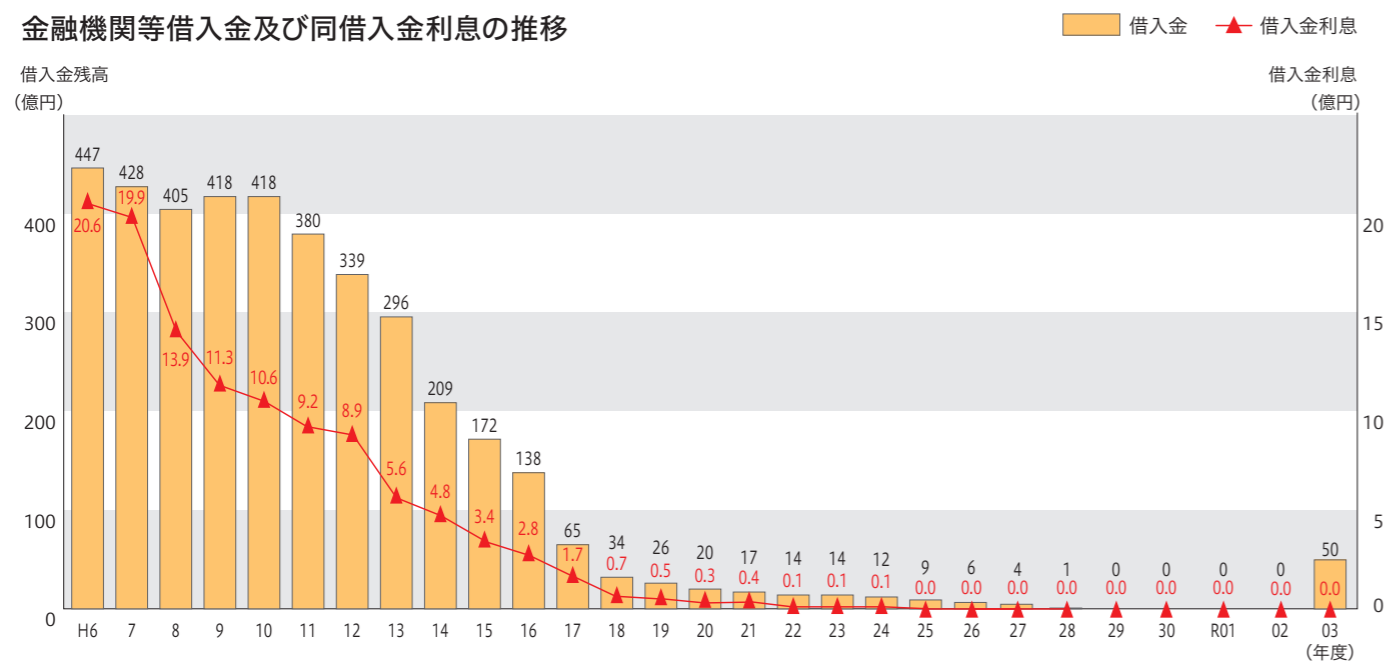
総資産、総負債及び純資産の推移



上記のグラフは総資産、総負債、純資産(平成27年度学校法人会計基準改正以降の呼称)の推移を示しています。平成5年に竣工した順天堂医院1号館建設資金の大半を借入金で賄ったため、平成13年度まで総負債が純資産を上回っていました。その後は堅調な事業活動収支差額(帰属収支差額)を維持しつ

つ、有利子負債の返済を前倒しで行い、施設・設備の拡充を自己資金により行ってきました。これらの成果により総負債比率(総負債/総資産)は平成11年度の64.3%から令和3年度には17.8%と、大幅に改善しています。

金融機関等借入金及び同借入金利息の推移

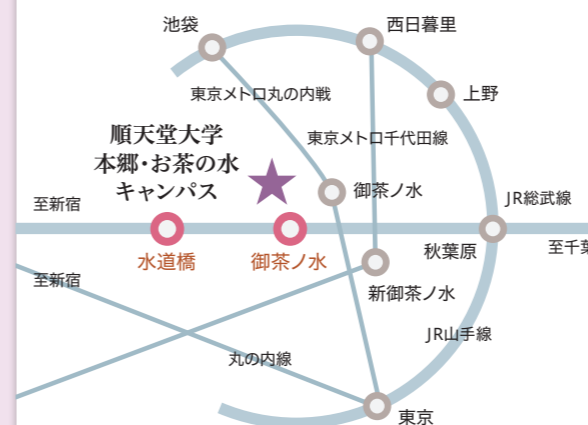


総負債比率改善のため借入金の返済を積極的に進めてきました。令和3年度は新学部設置に係る文部科学省の基準に合致させ

るため、金融機関から借り入れを行ないました。

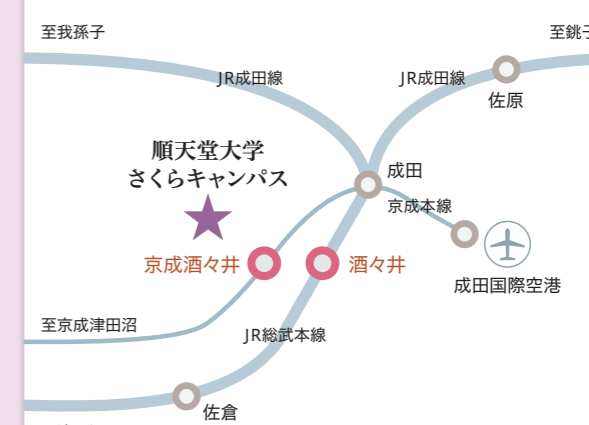
ACCESS

[本郷・お茶の水キャンパス]



- ◎JR御茶ノ水駅・東京メトロ丸の内線 御茶ノ水駅より徒歩7分
- ◎東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅より徒歩9分
- ◎JR水道橋駅・都営三田線 水道橋駅より徒歩7分

[さくらキャンパス]



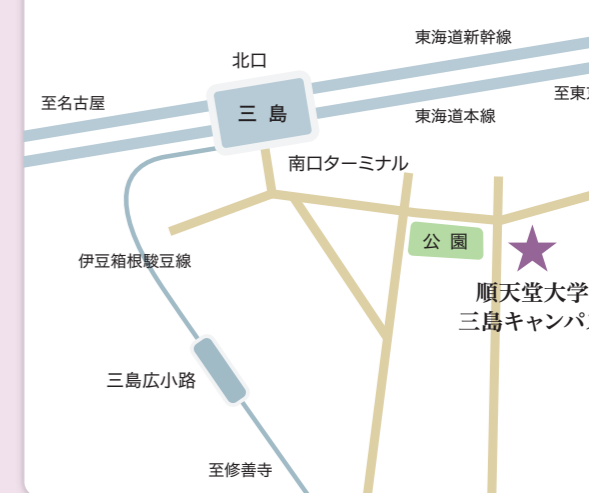
- ◎京成酒々井駅より徒歩20分 バス・タクシー 5分
- ◎JR酒々井駅よりバス・タクシー 10分

[浦安キャンパス] [浦安・日の出キャンパス]



- ◎JR新浦安駅よりバスで5~10分

[三島キャンパス]



- ◎JR三島駅より徒歩10分



Juntendo, Tokyo, Established 1838